

八女市
高齢者に関するアンケート調査
(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

結果報告書

令和8年5月

目 次

第1章 調査の概要.....	1
1. 調査の目的.....	1
2. 実施概要.....	1
3. 調査結果の見方.....	1
第2章 調査結果.....	2
1. 基本属性.....	2
2. 家族や生活状況について.....	4
3. からだを動かすことについて.....	11
4. 食べることについて.....	17
5. 毎日の生活について.....	20
6. 地域での活動について.....	26
7. 就労について.....	30
8. たすけあいについて.....	32
9. 健康について.....	46
10. 認知症について.....	52
11. 生活支援サービスについて.....	60
12. 相談機関について.....	62
第3章 生活機能評価.....	65
1. 生活機能.....	65
2. 老研式活動能力指標.....	72
3. 社会参加率及び孤独感尺度からみる生活機能評価.....	75
参考資料.....	76
1. 調査票.....	76

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

◇本調査は、令和9年度～11年度までを計画期間とする「八女市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定にあたり、市内の高齢者等の暮らし方や健康状態等を把握し、これを計画策定の基礎資料とするために実施したものです。

2. 実施概要

(1) 調査の対象者と配布数

◇調査の対象者と配布数について整理すると、次のとおりです。

調査名	対象者	配布数	回収数	回収率	参考： 前回調査 回収率
介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査	65歳以上の 要介護認定者以外	4,500	3,100	68.9%	61.6%

※基本属性については、入院や施設入所等の理由による調査不能者154名を含みます。

(2) 調査方法

◇郵送による配布・回収

(3) 抽出基準日

◇令和7年12月1日

(4) 調査期間

◇令和8年2月12日～2月28日

3. 調査結果の見方

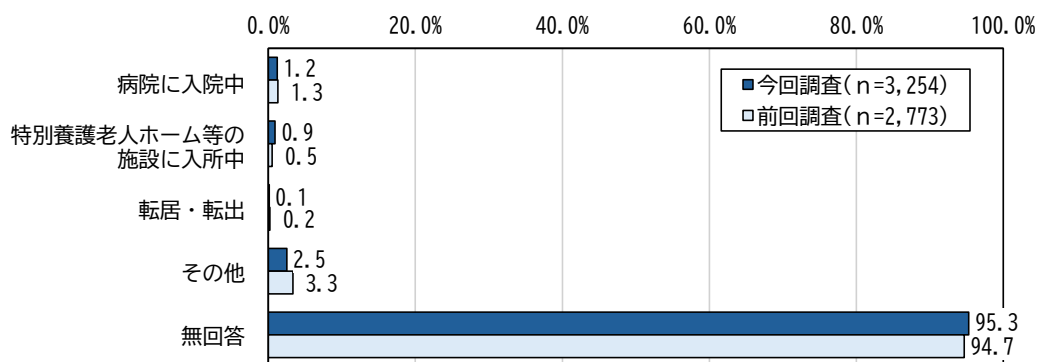
- ◇各設問のカテゴリー（選択肢）等について、表現を短縮・簡略化している場合があります。
- ◇各設問番号は、実際のアンケート調査の番号を用いており、生活機能評価の対象設問等はまとめて後述しているため、設問順になっていない場合があります。
- ◇集計結果のグラフのnの値は、当該設問の回答者数を示しています。
- ◇集計結果のグラフ・表における“無回答”には、当該設問への無回答の他、回答規則違反（例えば、単数回答の設問における複数回答等）の件数（票数）が含まれます。
- ◇集計結果のグラフ・表における比率（%）は、小数点第2位を四捨五入して算出・表示しているため、百分率の合計が100%にならない場合があります。
- ◇2つ以上の回答を要する質問（複数回答）の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合があります。
- ◇表においては、その種別の第一位の項目（無回答を除く）を色付けして示しています。
- ◇文中の選択肢の表記は「 」で行い、選択肢のうち2つ以上のものを合計して表す場合などは『 』としています。
- ◇属性別の分析等において、基数（調査数）が少ないものについては、その結果は参考程度に留め、分析コメントを省略する場合があります。

第2章 調査結果

1. 基本属性

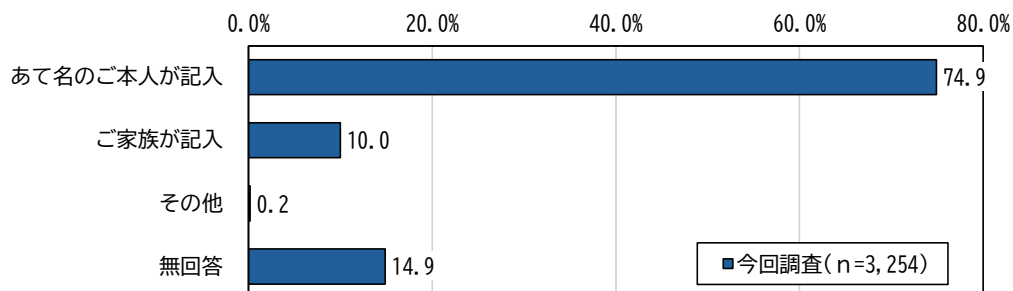
(1) 回答できない理由

図表1 回答できない理由



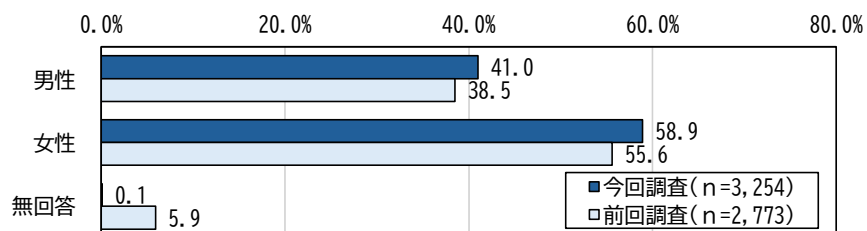
(2) 回答者

図表2 回答者



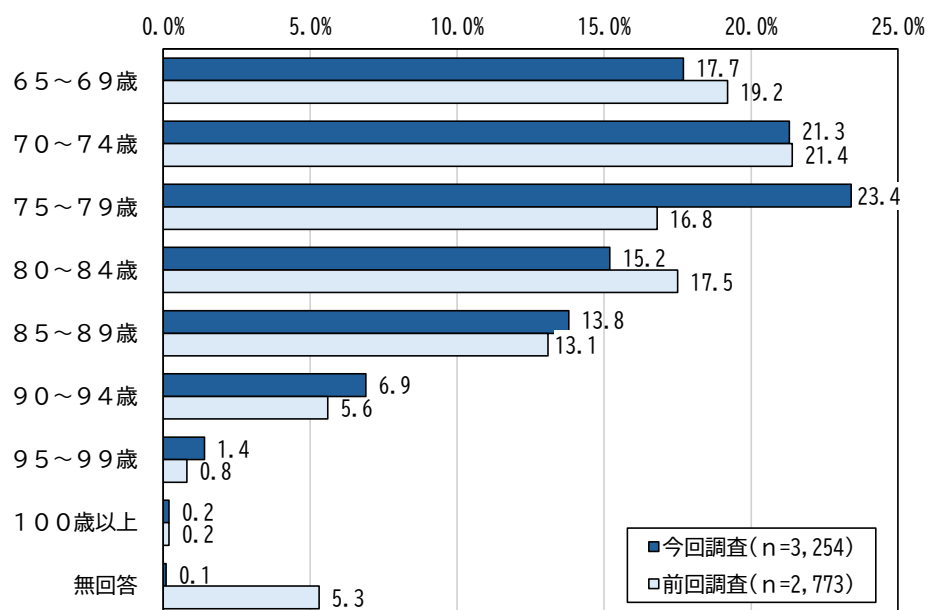
(3) 性別

図表3 性別



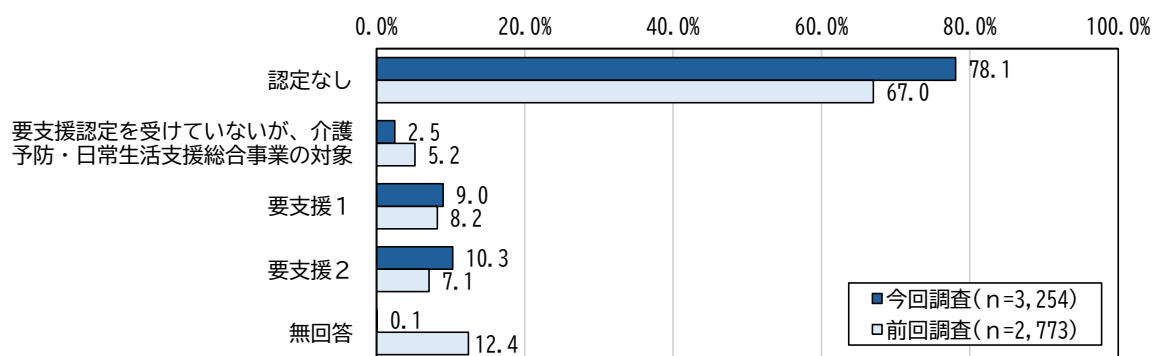
(4) 年齢

図表4 年齢



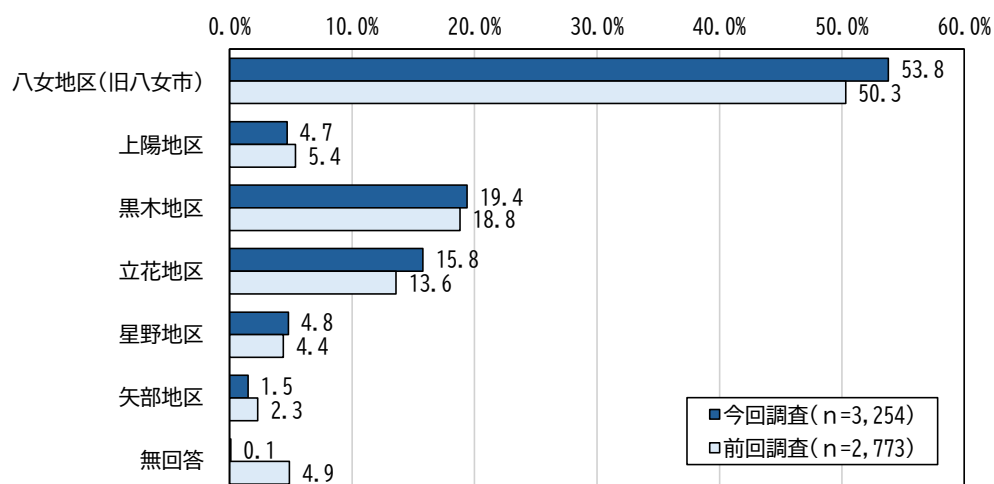
(5) 要介護度

図表5 要介護度



(6) 日常生活圏域

図表6 日常生活圏域

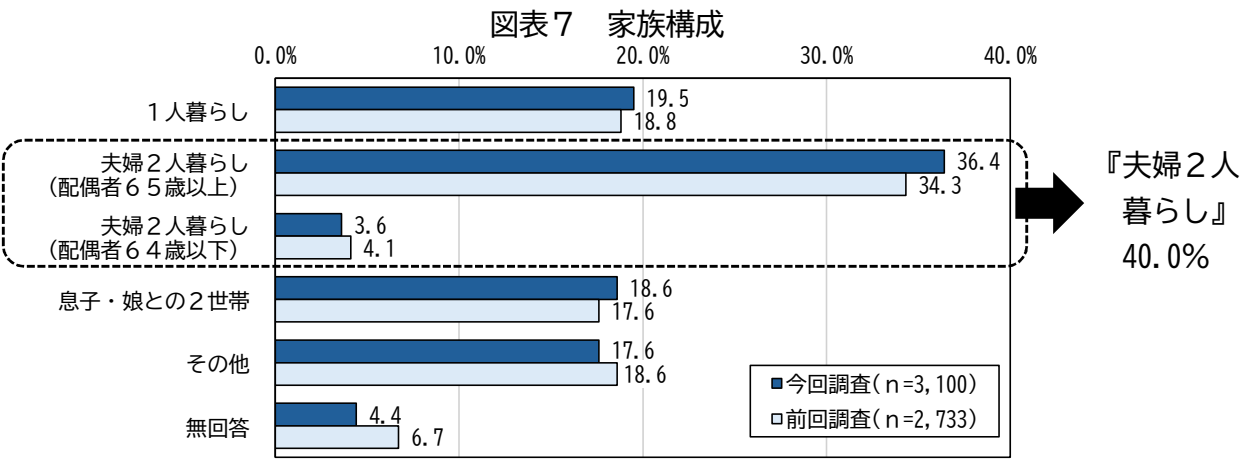


2. 家族や生活状況について

(1) 家族構成

問1(1) ご本人の家族構成をお教えてください(1つに○)

- 家族構成は、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」及び「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」を合わせた『夫婦2人暮らし』の割合が40.0%となっています。なお、「1人暮らし」の割合は19.5%となっています。
- 性別にみると、「1人暮らし」の割合は“女性”(23.8%)が“男性”(13.2%)に比べて、10.6ポイント高くなっています。
- 年齢別にみると、「1人暮らし」の割合は“後期高齢者”(22.8%)が“前期高齢者”(14.4%)に比べて、8.4ポイント高くなっています。
- 要介護度別にみると、「1人暮らし」の割合は“要支援1・2”(33.8%)と“事業対象者”(32.9%)が3割強となっており、“認定なし”(15.8%)に比べて高くなっています。
- 日常生活圏域別にみると、「1人暮らし」の割合は“矢部地区”(40.0%)、“星野地区”(26.0%)が他の圏域に比べて高くなっています。



図表8 性別、年齢、要介護度、日常生活圏域別 家族構成

単位：％

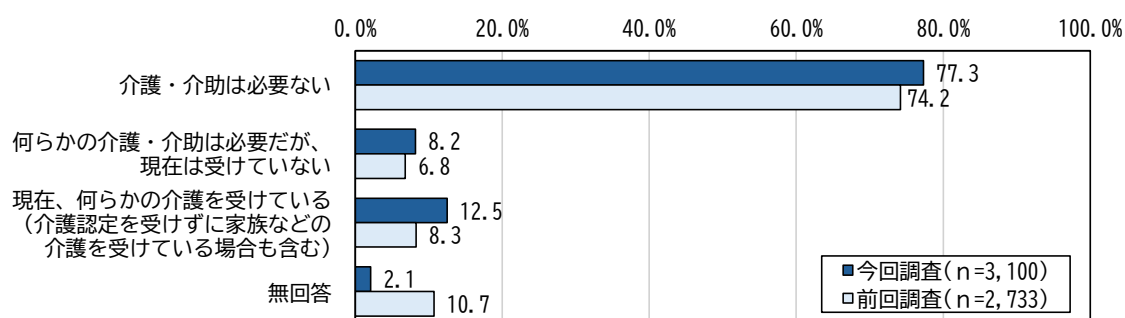
		調査数	1人暮らし	夫婦2人暮らし(5歳以上)	夫婦2人暮らし(4歳以下)	息子・娘との2世帯	その他	無回答	『夫婦2人暮らし』
全 体		3,100	19.5	36.4	3.6	18.6	17.6	4.4	40.0
性別	男性	1,272	13.2	44.4	6.2	17.1	14.2	4.8	50.6
	女性	1,825	23.8	30.8	1.7	19.7	19.9	4.2	32.5
年齢	前期高齢者	1,237	14.4	42.7	6.0	16.0	18.3	2.7	48.7
	後期高齢者	1,860	22.8	32.2	1.9	20.4	17.1	5.6	34.1
要介護度	認定なし	2,461	15.8	40.4	4.2	18.3	17.6	3.8	44.6
	事業対象者	79	32.9	10.1	1.3	22.8	22.8	10.1	11.4
	要支援1・2	557	33.8	22.4	0.9	19.6	16.9	6.5	23.3
日常生活圏域	八女地区	1,677	19.9	35.2	3.3	19.7	17.2	4.8	38.5
	上陽地区	140	15.7	39.3	2.1	16.4	22.1	4.3	41.4
	黒木地区	602	17.9	40.5	4.2	18.8	15.8	2.8	44.7
	立花地区	478	16.7	34.7	4.6	19.5	19.9	4.6	39.3
	星野地区	150	26.0	36.7	1.3	9.3	19.3	7.3	38.0
	矢部地区	50	40.0	32.0	6.0	8.0	12.0	2.0	38.0

(2) 普段の生活で介護・介助が必要か

問1(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか(1つに○)

○普段の生活での介護・介助の必要性について、「介護・介助は必要ない」の割合が77.3%で最も高く、一方「現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」の割合は12.5%となっています。

図表9 普段の生活で介護・介助が必要か



第2章 調査結果

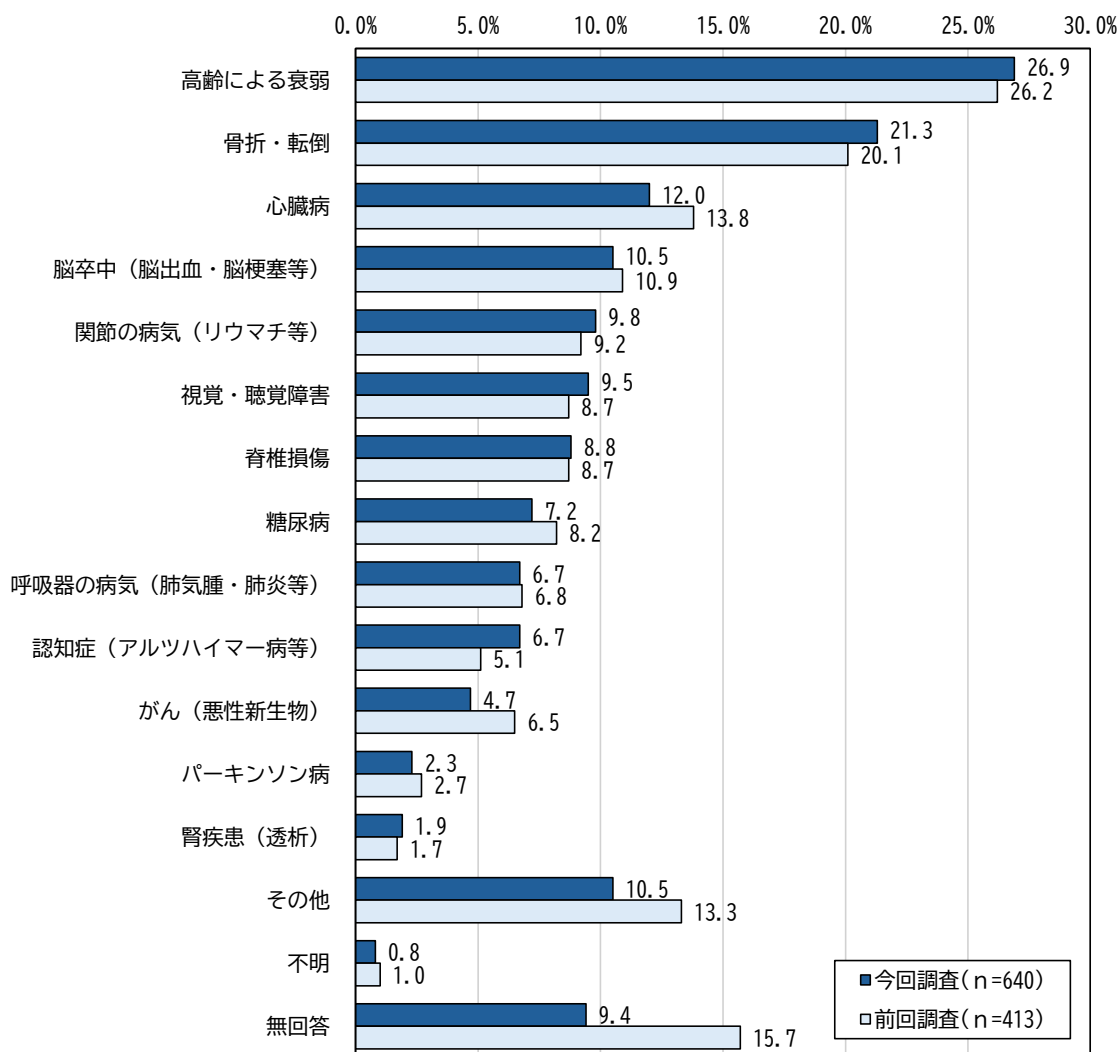
(3) 介護・介助が必要になった原因

問1(2)① 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか(いくつでも)

【問1(2)において「2」「3」と答えた方のみ】

○介護・介助が必要になった原因は、「高齢による衰弱」の割合が26.9%で最も高く、次いで「骨折・転倒」(21.3%)、「心臓病」(12.0%)の順となっています。

図表10 介護・介助が必要になった原因



- 性別にみると、“男性”では「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」（15.9%）、「糖尿病」（12.1%）の割合が“女性”に比べて高くなっています。“女性”では「骨折・転倒」（28.3%）、「関節の病気（リウマチ等）」（12.3%）の割合が“男性”に比べて高くなっています。
- 年齢別にみると、“前期高齢者”では「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」（25.0%）、「糖尿病」（15.8%）の割合が“後期高齢者”に比べて高くなっています。“後期高齢者”では「高齢による衰弱」（29.5%）、「骨折・転倒」（23.0%）の割合が“前期高齢者”に比べて高くなっています。
- 要介護度別にみると、“要支援1・2”では「高齢による衰弱」（31.7%）、「骨折・転倒」（25.2%），“認定なし”では「糖尿病」（11.3%）の割合が他の介護度に比べて高くなっています。

図表11 性別、年齢、要介護度別 介護・介助が必要になった原因

単位：％

		調査数	梗（脳卒中・出血等）	心臓病	物（がん・悪性新生）	炎（呼吸器腫の病肺気等）	等（関節の病マチ等）	マ（ア病ルツハイ）	病（パーキンソン）	糖尿病
全 体		640	10.5	12.0	4.7	6.7	9.8	6.7	2.3	7.2
性別	男性	239	15.9	10.5	5.4	9.2	5.9	7.9	2.5	12.1
	女性	399	7.3	13.0	4.3	5.3	12.3	6.0	2.3	4.3
年齢	前期高齢者	76	25.0	7.9	5.3	1.3	9.2	6.6	5.3	15.8
	後期高齢者	562	8.5	12.6	4.6	7.5	10.0	6.8	2.0	6.0
要介護度	認定なし	212	9.0	10.8	8.0	7.1	11.3	10.4	1.9	11.3
	事業対象者	22	4.5	4.5	-	9.1	9.1	18.2	-	4.5
	要支援1・2	404	11.6	13.1	3.2	6.4	9.2	4.2	2.7	5.2

		調査数	（腎疾患透析）	聴視覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	衰高齢による	その他	不明	無回答
全 体		640	1.9	9.5	21.3	8.8	26.9	10.5	0.8	9.4
性別	男性	239	2.1	12.6	9.6	11.3	24.7	7.1	1.3	9.2
	女性	399	1.8	7.8	28.3	7.3	28.1	12.5	0.5	9.3
年齢	前期高齢者	76	2.6	9.2	9.2	9.2	6.6	15.8	-	5.3
	後期高齢者	562	1.8	9.6	23.0	8.7	29.5	9.8	0.9	9.8
要介護度	認定なし	212	2.8	10.4	15.1	8.5	17.5	10.4	0.9	11.3
	事業対象者	22	-	18.2	9.1	13.6	27.3	9.1	-	13.6
	要支援1・2	404	1.5	8.7	25.2	8.7	31.7	10.6	0.7	7.9

第2章 調査結果

(4) 主な介護・介助者

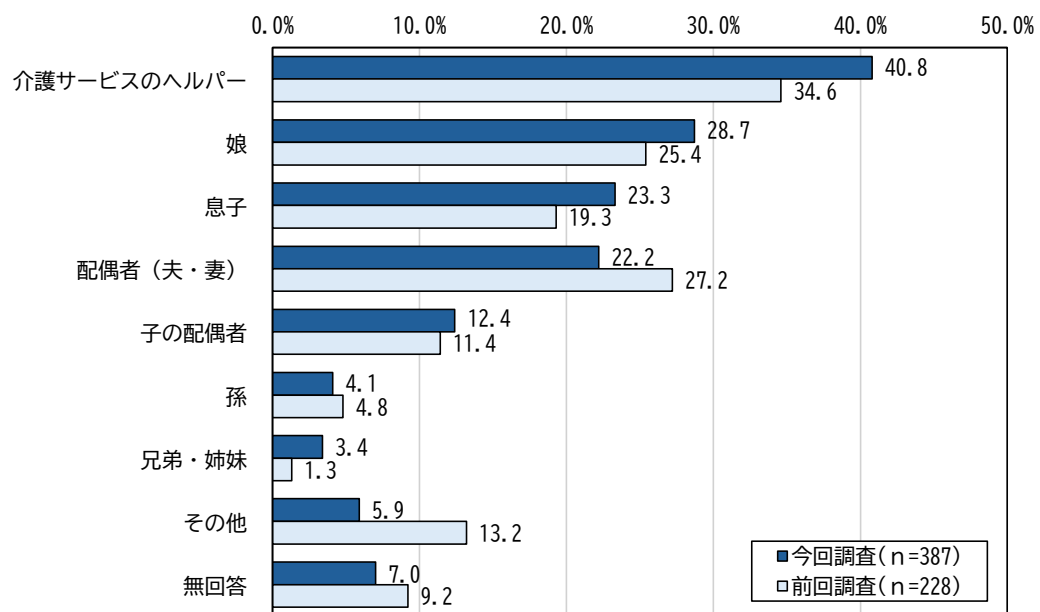
問1(2)② 主にどなたの介護、介助を受けていますか(いくつでも)

【問1(2)において「3」と答えた方のみ】

○主な介護・介助者は、「介護サービスのヘルパー」の割合が40.8%で最も高く、次いで「娘」(28.7%)、「息子」(23.3%)の順となっています。

○前回調査に比べ、「介護サービスのヘルパー」の割合は6.2ポイント増加し、「配偶者(夫・妻)」の割合は5.0ポイント減少しています。

図表12 主な介護・介助者

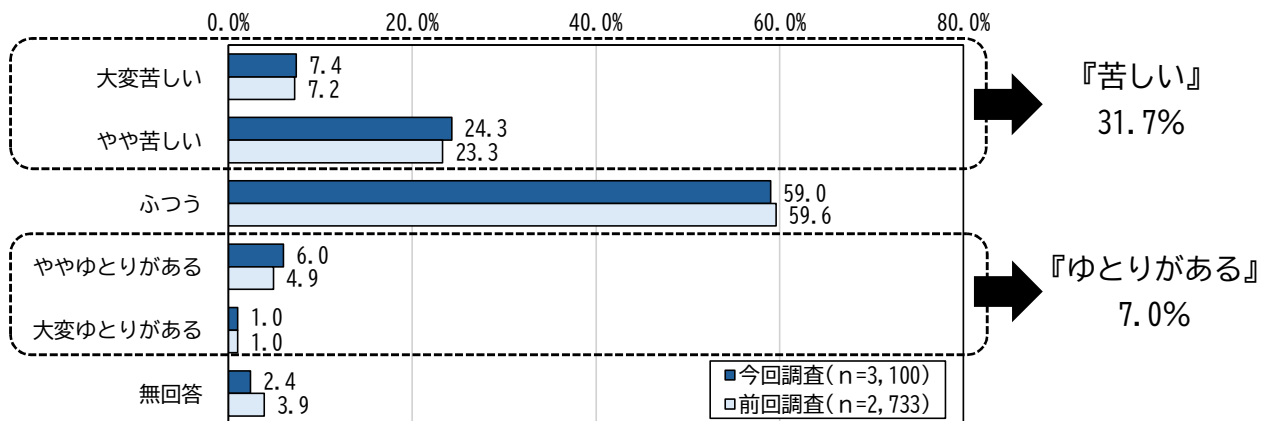


(5) 経済的にみた現在の暮らしの状況

問1(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか(1つに○)

- 現在の暮らしの状況は、「大変苦しい」及び「やや苦しい」を合わせた『苦しい』の割合が31.7%、「ややゆとりがある」及び「大変ゆとりがある」を合わせた『ゆとりがある』の割合が7.0%となっています。
- 要介護度別にみると、“要支援1・2”では『苦しい』(35.6%)の割合が、他の介護度に比べて約5ポイント高くなっています。
- 日常生活圏域別にみると、『苦しい』の割合は“立花地区”(36.6%)、“八女地区”(33.4%)が3割強～3割半ばとなり、他の圏域に比べて高くなっています。

図表13 経済的にみた現在の暮らしの状況



図表14 要介護度、日常生活圏域別 経済的にみた現在の暮らしの状況

単位：％

	調査数	大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答	『苦しい』	『ゆとりがある』
全 体	3,100	7.4	24.3	59.0	6.0	1.0	2.4	31.7	7.0
要介護度									
認定なし	2,461	6.8	24.0	59.7	6.4	1.0	2.1	30.8	7.4
事業対象者	79	7.6	22.8	60.8	6.3	-	2.5	30.4	6.3
要支援1・2	557	9.9	25.7	56.0	3.9	1.1	3.4	35.6	5.0
日常生活圏域									
八女地区	1,677	7.6	25.8	58.4	5.3	0.7	2.3	33.4	6.0
上陽地区	140	11.4	17.1	62.1	5.0	1.4	2.9	28.5	6.4
黒木地区	602	6.0	19.8	61.1	9.6	1.5	2.0	25.8	11.1
立花地区	478	7.9	28.7	54.8	4.4	1.0	3.1	36.6	5.4
星野地区	150	4.0	22.7	65.3	6.0	0.7	1.3	26.7	6.7
矢部地区	50	10.0	10.0	70.0	2.0	6.0	2.0	20.0	8.0

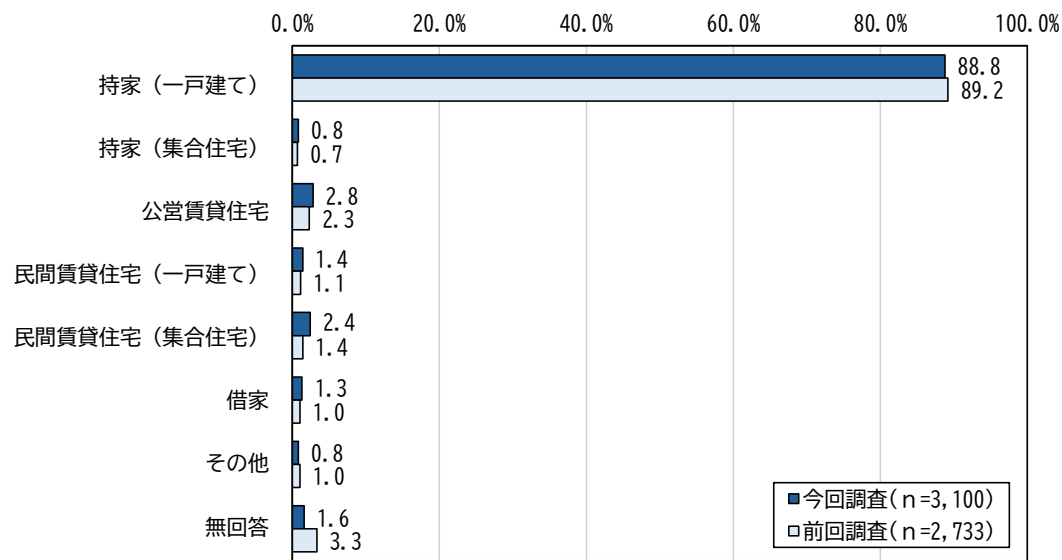
第2章 調査結果

(6) 住まいの形態

問1(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか(1つに○)

○住まいの形態は、「持ち家（一戸建て）」の割合が88.8%で最も高くなっています。

図表15 住まいの形態



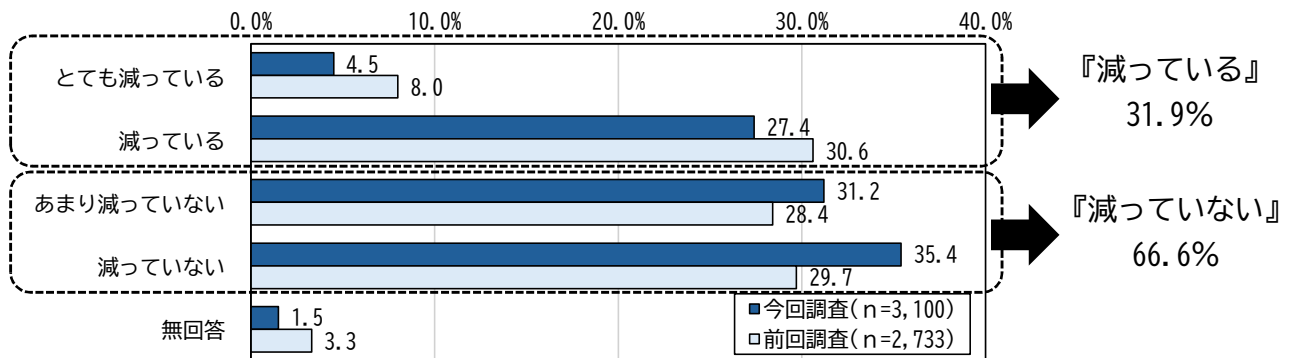
3. からだを動かすことについて

(1) 昨年と比べた外出頻度

問2(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか(1つに○)

- 昨年と比べた外出頻度は、「とても減っている」及び「減っている」を合わせた『減っている』の割合が31.9%、「あまり減っていない」及び「減っていない」を合わせた『減っていない』の割合が66.6%となっています。
- 前回調査に比べ、『減っている』の割合は6.7ポイント減少し、『減っていない』の割合は8.5ポイント増加しています。
- 性別にみると、『減っている』の割合は“女性”(35.1%)が“男性”(27.4%)に比べて、7.7ポイント高くなっています。
- 年齢別にみると、『減っている』の割合は“後期高齢者”(41.6%)が“前期高齢者”(17.4%)に比べて、24.2ポイント高くなっています。
- 要介護度別にみると、『減っている』の割合は要介護度が上がるにつれて高くなっています。

図表16 昨年と比べた外出頻度



図表17 性別、年齢、要介護度別 昨年と比べた外出頻度

単位：％

		調査数	とても減っている	減っている	あまり減っていない	減っていない	無回答	『減っている』	『減っていない』
全 体		3,100	4.5	27.4	31.2	35.4	1.5	31.9	66.6
性別	男性	1,272	3.9	23.5	30.0	40.8	1.7	27.4	70.8
	女性	1,825	5.0	30.1	31.9	31.6	1.4	35.1	63.5
年齢	前期高齢者	1,237	1.6	15.8	31.9	49.8	0.8	17.4	81.7
	後期高齢者	1,860	6.5	35.1	30.6	25.8	2.0	41.6	56.4
要介護度	認定なし	2,461	2.5	22.2	32.8	41.2	1.4	24.7	74.0
	事業対象者	79	8.9	38.0	32.9	16.5	3.8	46.9	49.4
	要支援1・2	557	13.1	48.8	23.7	12.4	2.0	61.9	36.1

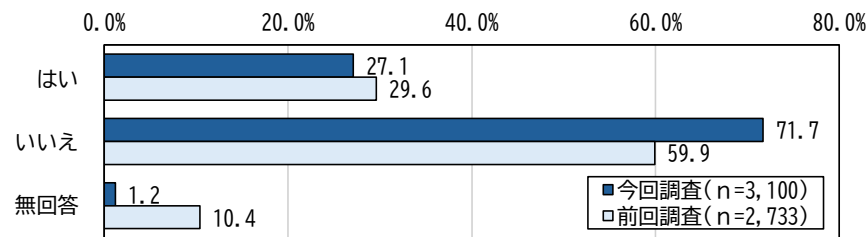
第2章 調査結果

(2) 外出を控えているか

問2(8) 外出を控えていますか(1つに○)

- 外出を控えているかについて、「いいえ」の割合が71.7%となっています。
- 前回調査に比べ、「いいえ」の割合が11.8ポイント増加しています。
- 日常生活圏域別にみると、「はい」の割合は“矢部地区”(34.0%)が最も高くなっています。

図表18 外出を控えているか



図表19 日常生活圏域別 外出を控えているか

		単位：％			
		調査数	はい	いいえ	無回答
全 体		3,100	27.1	71.7	1.2
日常生活圏域	八女地区	1,677	27.6	71.5	0.9
	上陽地区	140	27.9	69.3	2.9
	黒木地区	602	24.3	75.1	0.7
	立花地区	478	26.4	70.9	2.7
	星野地区	150	31.3	68.7	-
	矢部地区	50	34.0	64.0	2.0

(3) 外出を控える理由

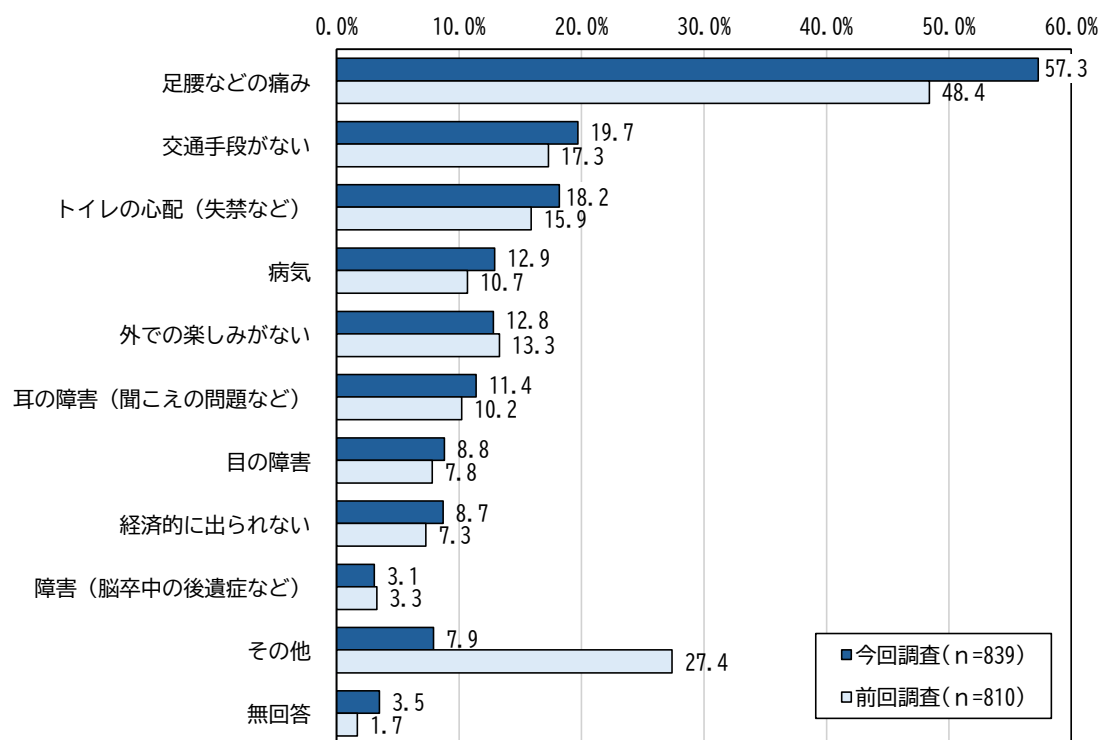
問2(8)① 外出を控えている理由は、次のどれですか(いくつでも)

【問2(8)において「1」と答えた方のみ】

○外出を控える理由は、「足腰などの痛み」の割合が57.3%で最も高く、次いで「交通手段がない」(19.7%)、「トイレの心配(失禁など)」(18.2%)の順となっています。

○前回調査に比べ、「足腰などの痛み」の割合が8.9ポイント増加しています。また、前回調査でコロナウィルス関連の意見が多かった「その他」の割合が19.5ポイント減少しています。

図表20 外出を控える理由



第2章 調査結果

- 性別にみると、“男性”では「病気」(16.9%)、「外での楽しみがない」(16.2%)、「目の障害」(12.6%)、「障害(脳卒中の後遺症など)」(7.9%)の割合が“女性”に比べて高くなっています。“女性”では「足腰などの痛み」(62.9%)、「交通手段がない」(23.9%)の割合が“男性”に比べて高くなっています。
- 年齢別にみると、“前期高齢者”では「外での楽しみがない」(19.9%)、「経済的に出られない」(19.2%)の割合が“後期高齢者”に比べて高くなっています。“後期高齢者”では「足腰などの痛み」(61.3%)、「交通手段がない」(22.7%)、「耳の障害(聞こえの問題など)」(12.5%)の割合が“前期高齢者”に比べて高くなっています。
- 要介護度別にみると、“要支援1・2”では「足腰などの痛み」(65.1%)、「交通手段がない」(29.0%)、「トイレの心配(失禁など)」(22.2%)、“認定なし”では「経済的に出られない」(11.3%)の割合が他の介護度に比べて高くなっています。
- 日常生活圏域別にみると、“星野地区”では「外での楽しみがない」(19.1%)、“八女地区”では「経済的に出られない」(11.0%)の割合が最も高くなっています。
- 生活機能評価【閉じこもり傾向別】にみると、「交通手段がない」の割合は“該当”(23.4%)が“非該当”(15.5%)に比べて7.9ポイント高くなっています。

図表2-1 性別、年齢、要介護度、日常生活圏域、閉じこもり傾向別 外出を控える理由

単位：％

		調査数	病気	遺(障害 症(脳卒 中(後	痛み腰 などの	(トイレ の心配 など)	耳の障 害(聞 こえの 問	目の障 害	外での 楽し み	出経 済的 に な	交 通 手 段 が	そ の 他	無 回 答
全 体		839	12.9	3.1	57.3	18.2	11.4	8.8	12.8	8.7	19.7	7.9	3.5
性 別	男性	278	16.9	7.9	46.4	19.1	10.8	12.6	16.2	11.5	11.2	5.8	3.2
	女性	560	10.9	0.7	62.9	17.9	11.8	7.0	11.1	7.3	23.9	8.9	3.4
年 齢	前期高齢者	151	11.9	7.3	39.7	19.2	6.6	7.9	19.9	19.2	6.0	11.3	6.0
	後期高齢者	687	13.1	2.2	61.3	18.0	12.5	9.0	11.2	6.4	22.7	7.1	2.8
要 介 護 度	認定なし	452	13.1	1.3	51.1	15.5	8.6	9.1	14.8	11.3	12.4	9.5	4.4
	事業対象者	34	11.8	-	61.8	14.7	29.4	17.6	14.7	5.9	20.6	5.9	-
	要支援1・2	352	12.8	5.7	65.1	22.2	13.4	7.7	9.9	5.7	29.0	6.0	2.3
日 常 生 活 圏 域	八女地区	463	14.5	2.4	58.7	19.0	11.0	9.9	12.5	11.0	20.1	8.6	3.0
	上陽地区	39	15.4	2.6	46.2	12.8	7.7	10.3	15.4	2.6	23.1	5.1	5.1
	黒木地区	146	13.7	4.8	59.6	14.4	17.1	8.9	11.0	4.8	19.2	8.2	3.4
	立花地区	126	7.1	3.2	58.7	21.4	8.7	5.6	12.7	6.3	17.5	4.0	3.2
	星野地区	47	8.5	6.4	48.9	14.9	10.6	6.4	19.1	8.5	12.8	12.8	4.3
	矢部地区	17	11.8	-	41.2	29.4	5.9	5.9	11.8	11.8	41.2	5.9	5.9
閉 じ こ も り 傾 向	該当	418	14.8	3.3	58.9	16.0	12.0	8.1	12.2	8.9	23.4	6.7	2.2
	非該当	388	11.1	2.8	55.4	19.6	10.3	9.0	13.1	9.3	15.5	9.5	4.6

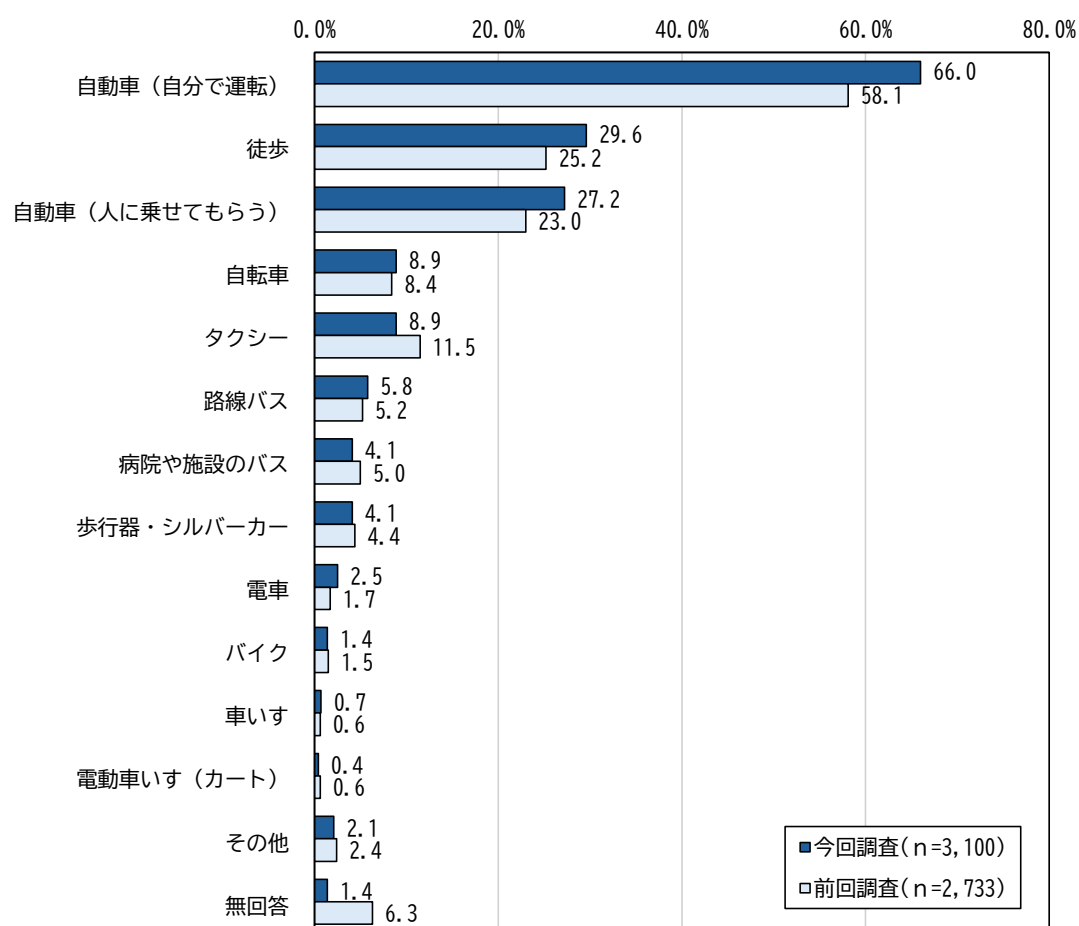
(4) 外出時の移動手段

問2(9) 外出する際の移動手段は何ですか(いくつでも)

○外出時の移動手段は、「自動車（自分で運転）」の割合が66.0%で最も高く、次いで「徒歩」（29.6%）、「自動車（人に乗せてもらう）」（27.2%）の順となっています。

○前回調査に比べ、「自動車（自分で運転）」の割合が7.9ポイント増加しています。

図表2-2 外出時の移動手段



第2章 調査結果

○日常生活圏域別にみると、“八女地区”では「徒歩」(33.9%)、「自転車」(12.8%)、“矢部地区”では「自動車(人に乗せてもらう)」(40.0%)の割合が他の圏域に比べて高くなっています。

図表2-3 日常生活圏域別 外出時の移動手段

単位：％

		調査数	徒歩	自転車	バイク	自動車（自分で運転）	自動車（人に乗せてもらう）	電車	路線バス
全 体		3,100	29.6	8.9	1.4	66.0	27.2	2.5	5.8
日常生活圏域	八女地区	1,677	33.9	12.8	1.6	63.7	28.1	3.3	6.7
	上陽地区	140	26.4	2.9	0.7	71.4	23.6	0.7	4.3
	黒木地区	602	28.7	5.1	1.3	69.9	23.6	1.7	6.1
	立花地区	478	18.0	4.4	1.5	68.6	27.4	1.5	2.5
	星野地区	150	27.3	1.3	0.7	66.0	30.7	2.0	6.0
	矢部地区	50	26.0	2.0	2.0	54.0	40.0	-	6.0

		調査数	病院や施設のバス	車いす	電動車いす（カートの）	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
全 体		3,100	4.1	0.7	0.4	4.1	8.9	2.1	1.4
日常生活圏域	八女地区	1,677	4.3	0.7	0.2	4.9	12.0	1.7	1.1
	上陽地区	140	4.3	-	0.7	3.6	0.7	1.4	0.7
	黒木地区	602	3.8	0.8	0.8	3.2	4.3	2.8	1.2
	立花地区	478	3.6	0.8	-	3.1	7.7	3.1	2.7
	星野地区	150	4.0	-	0.7	3.3	5.3	1.3	0.7
	矢部地区	50	6.0	-	2.0	2.0	4.0	2.0	4.0

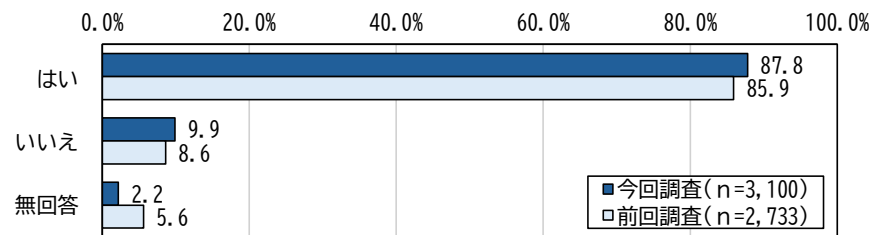
4. 食べることについて

(1) 歯磨きを毎日しているか

問3(5) 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか(1つに○)

○歯磨きを毎日しているかについて、「はい」の割合が87.8%となっています。

図表24 歯磨きを毎日しているか



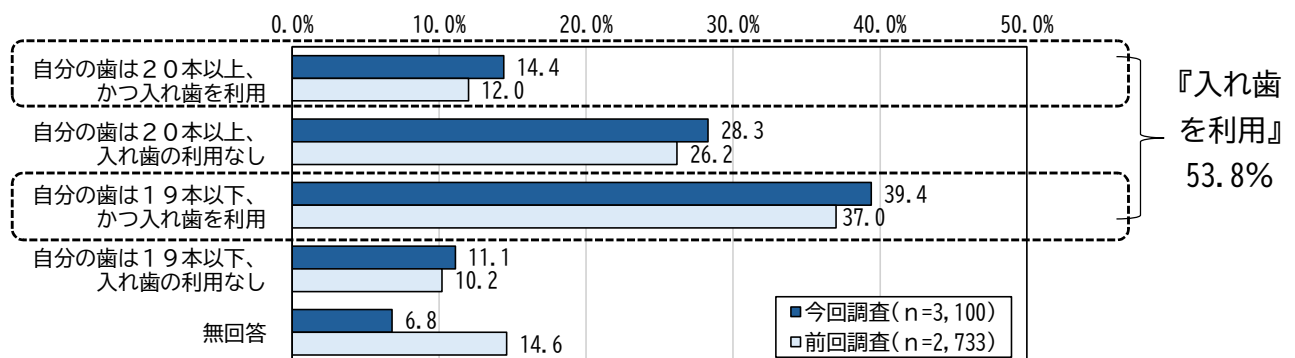
(2) 歯の数と入れ歯の利用状況

問3(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください(1つに○)

(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

○歯の数と入れ歯の利用状況は、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」及び「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」を合わせた『入れ歯を利用』の割合が53.8%となっています。

図表25 歯の数と入れ歯の利用状況



第2章 調査結果

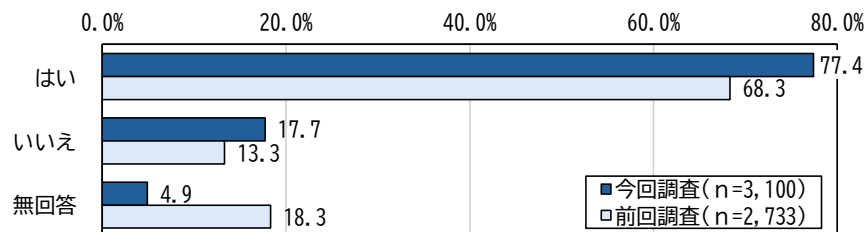
(3) 噛み合わせは良いか

問3(6)① 噛み合わせは良いですか(1つに○)

○噛み合わせは良いかについて、「はい」の割合が77.4%となっています。

○前回調査に比べ、「はい」の割合は9.1ポイント増加しています。

図表26 噛み合わせは良いか



(4) 毎日入れ歯の手入れをしているか

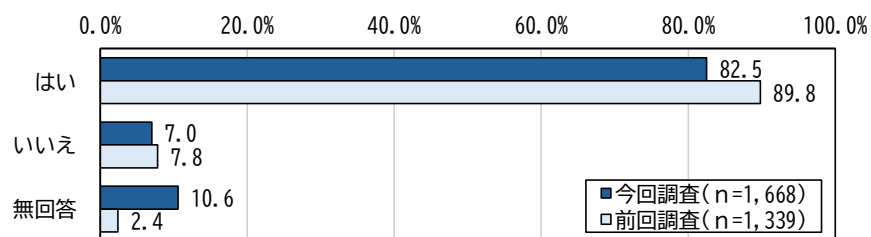
問3(6)② 毎日入れ歯の手入れをしていますか(1つに○)

【問3(6)で「1」「3」(入れ歯を利用している)と答えた方のみ】

○毎日入れ歯の手入れをしているかについて、「はい」の割合が82.5%となっています。

○前回調査に比べ、「はい」の割合は7.3ポイント減少しています。

図表27 毎日入れ歯の手入れをしているか

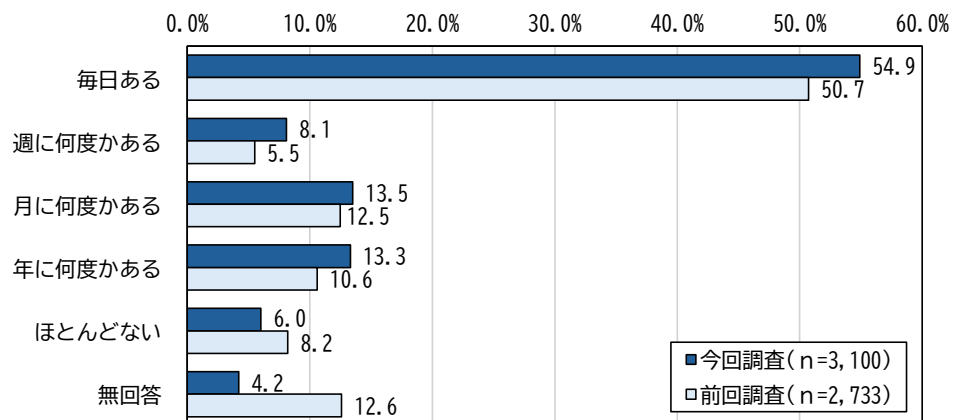


(5) 人と食事をする機会

問3(8) どなたかと食事をとる機会がありますか(1つに○)

- 人と食事をする機会は、「毎日ある」の割合が54.9%で最も高く、次いで「月に何度かある」(13.5%)、「年に何度かある」(13.3%)の順となっています。
- 要介護度別にみると、「毎日ある」の割合は、要介護度が上がるにつれて約10ポイントずつ低くなっています。
- 日常生活圏域別にみると、“矢部地区”では「毎日ある」(48.0%)の割合が他の圏域に比べて低くなっています。

図表28 人と食事をする機会



図表29 要介護度、日常生活圏域別 人と食事をする機会

単位：％

		調 査 数	毎 日 あ る	週 に 何 度 か あ る	月 に 何 度 か あ る	年 に 何 度 か あ る	ほと んど ない	無 回 答
全 体		3,100	54.9	8.1	13.5	13.3	6.0	4.2
要 介 護 度	認定なし	2,461	58.8	6.5	13.2	13.2	5.0	3.3
	事業対象者	79	49.4	10.1	20.3	6.3	8.9	5.1
	要支援１・２	557	38.6	15.1	13.8	14.7	10.2	7.5
日 常 生 活 圏 域	八女地区	1,677	54.3	8.8	14.0	12.3	6.9	3.7
	上陽地区	140	60.0	6.4	13.6	10.7	6.4	2.9
	黒木地区	602	52.5	8.0	11.3	17.4	5.5	5.3
	立花地区	478	58.4	5.4	13.8	12.3	5.0	5.0
	星野地区	150	58.0	10.0	14.0	14.0	2.0	2.0
	矢部地区	50	48.0	12.0	20.0	10.0	6.0	4.0

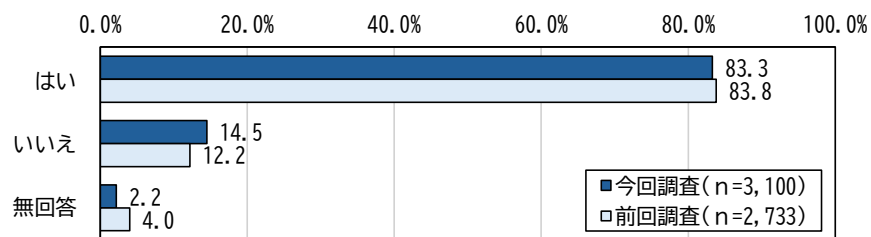
5. 毎日の生活について

(1) 自分で電話番号を調べて電話をかけられるか

問4(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか(1つに○)

- 自分で電話番号を調べて電話をかけられるかについて、「はい」の割合が83.3%となっています。
- 性別にみると、「いいえ」の割合は“男性”(17.5%)が“女性”(12.5%)に比べて5.0ポイント高くなっています。
- 要介護度別にみると、“要支援1・2”では「いいえ」(23.9%)の割合が他の介護度に比べて約10ポイント高くなっています。
- 日常生活圏域別にみると、「いいえ」の割合は“立花地区”(17.4%)が最も高くなっています。

図表30 自分で電話番号を調べて電話をかけられるか



図表31 性別、要介護度、日常生活圏域別 自分で電話番号を調べて電話をかけられるか

単位：％

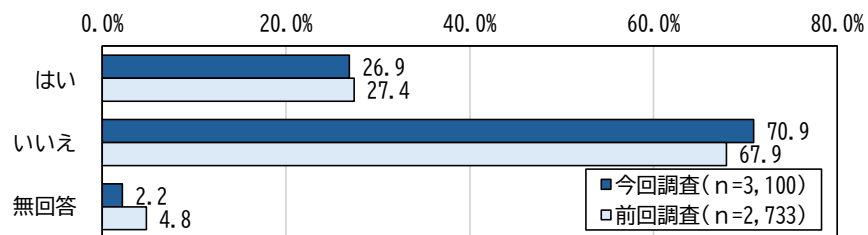
		調査数	はい	いいえ	無回答
全 体		3,100	83.3	14.5	2.2
性別	男性	1,272	79.6	17.5	3.0
	女性	1,825	85.8	12.5	1.6
要介護度	認定なし	2,461	85.5	12.6	1.9
	事業対象者	79	88.6	11.4	-
	要支援1・2	557	72.4	23.9	3.8
日常生活圏域	八女地区	1,677	82.6	15.2	2.2
	上陽地区	140	84.3	12.9	2.9
	黒木地区	602	86.0	13.3	0.7
	立花地区	478	78.7	17.4	4.0
	星野地区	150	92.0	7.3	0.7
	矢部地区	50	86.0	8.0	6.0

(2) 今日が何月何日かわからない時があるか

問4(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか(1つに○)

- 今日が何月何日かわからない時があるかについて、「いいえ」の割合が70.9%となっています。
- 年齢別にみると、「はい」の割合は“後期高齢者”(30.6%)が“前期高齢者”(21.3%)に比べて9.3ポイント高くなっています。
- 要介護度別にみると、「はい」の割合は要介護度が上がるにつれて高くなっています。
- 日常生活圏域別にみると、「はい」の割合は“矢部地区”(32.0%)、“立花地区”(30.5%)が3割～3割強となり、他の圏域に比べて高くなっています。

図表3-2 今日が何月何日かわからない時があるか



図表3-3 年齢、要介護度、日常生活圏域別 今日が何月何日かわからない時があるか

単位：%

		調査数	はい	いいえ	無回答
全 体		3,100	26.9	70.9	2.2
年 齢	前期高齢者	1,237	21.3	77.1	1.5
	後期高齢者	1,860	30.6	66.8	2.6
要 介 護 度	認定なし	2,461	22.7	75.4	1.9
	事業対象者	79	38.0	60.8	1.3
	要支援1・2	557	43.8	52.6	3.6
日 常 生 活 圏 域	八女地区	1,677	26.9	71.4	1.7
	上陽地区	140	20.7	76.4	2.9
	黒木地区	602	25.2	73.1	1.7
	立花地区	478	30.5	65.7	3.8
	星野地区	150	26.0	72.0	2.0
	矢部地区	50	32.0	62.0	6.0

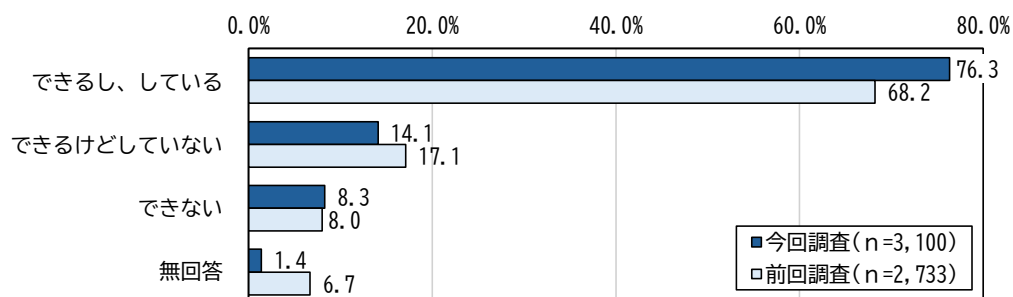
第2章 調査結果

(3) 自分で食品・日用品の買物をしているか

問4(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか(1つに○)

- 自分で食品・日用品の買物をしているかについて、「できるし、している」の割合が76.3%となっています。
- 前回調査に比べ、「できるし、している」の割合は8.1ポイント増加しています。
- 性別にみると、「できるし、している」の割合は“男性”(68.7%)が“女性”(81.5%)に比べて、12.8ポイント低くなっています。
- 年齢別にみると、「できない」の割合は“後期高齢者”(12.4%)が“前期高齢者”(2.1%)に比べて、10.3ポイント高くなっています。

図表34 自分で食品・日用品の買物をしているか



図表35 性別、年齢別 自分で食品・日用品の買物をしているか

単位：％

		調査数	できるし、 し	できる いけど し	できない	無 回 答
全 体		3,100	76.3	14.1	8.3	1.4
性 別	男性	1,272	68.7	21.9	7.2	2.1
	女性	1,825	81.5	8.5	9.0	0.9
年 齢	前期高齢者	1,237	88.6	8.2	2.1	1.1
	後期高齢者	1,860	68.1	17.9	12.4	1.7

(4) 日用品等の買い物をする場所

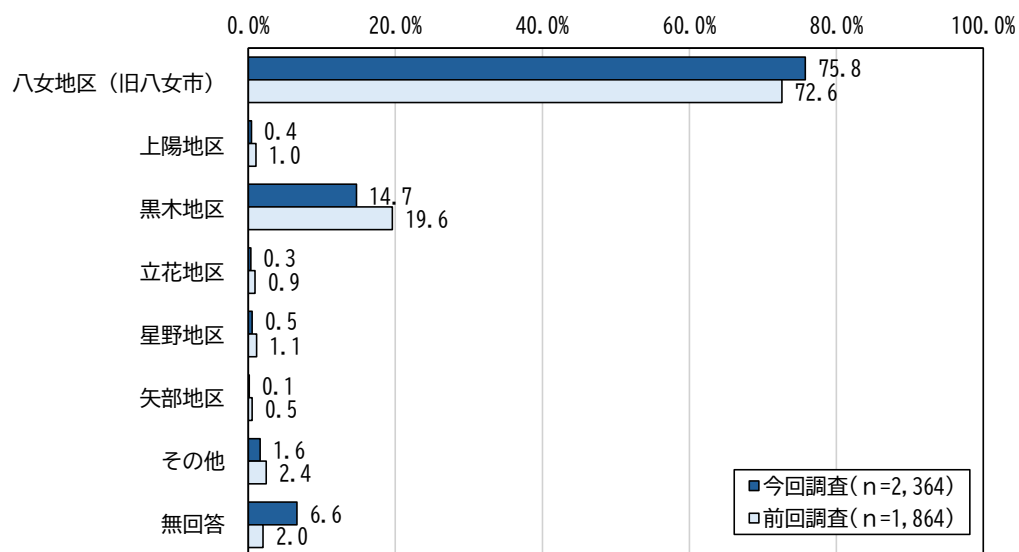
問4(5)① おもにどこで日用品の買物をしていますか(1つに○)

【問4(5)で「1」と答えた方のみ】

○日用品等の買い物をする場所は、「八女地区(旧八女市)」の割合が75.8%で最も高く、次いで「黒木地区」(14.7%)、「その他」(1.6%)の順となっています。

○日常生活圏域別にみると、どの圏域も「八女地区(旧八女市)」の割合が高いですが、“黒木地区”と“矢部地区”では「黒木地区」の割合も他の圏域に比べて高くなっています。

図表36 日用品等の買い物をする場所



図表37 日常生活圏域別 日用品等の買い物をする場所

単位：％

	調査数	八女地区 (旧八女市)	上陽地区	黒木地区	立花地区	星野地区	矢部地区	その他	無回答
全 体	2,364	75.8	0.4	14.7	0.3	0.5	0.1	1.6	6.6
日常生活圏域	八女地区	1,290	93.7	-	-	-	-	1.2	5.1
	上陽地区	111	66.7	8.1	9.0	-	-	2.7	13.5
	黒木地区	457	23.4	-	69.4	-	-	0.4	6.8
	立花地区	353	90.7	-	0.3	2.0	0.3	1.4	5.4
	星野地区	110	60.0	-	4.5	-	10.0	8.2	17.3
	矢部地区	41	34.1	-	34.1	-	-	7.3	17.1

第2章 調査結果

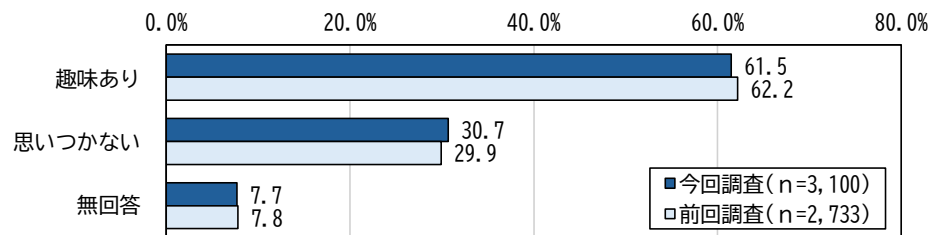
(5) 趣味の有無

問4(17) 趣味はありますか(1つに○)

○趣味の有無は、「趣味あり」の割合が61.5%となっています。

○要介護度別にみると、“要支援1・2”では「思いつかない」(39.5%)の割合が他の介護度に比べて高くなっています。

図表38 趣味の有無



図表39 要介護度別 趣味の有無

単位：％

		調査数	趣味あり	思いつかない	無回答
全 体		3,100	61.5	30.7	7.7
要介護度	認定なし	2,461	64.5	28.9	6.6
	事業対象者	79	60.8	26.6	12.7
	要支援1・2	557	48.7	39.5	11.8

図表40 趣味の内容

問4(17) 趣味	件数	問4(17) 趣味	件数
体操・運動・スポーツ・スポーツ観戦等	399	パソコン・スマホ・インターネット・ゲーム等	38
園芸・ガーデニング・盆栽等	347	囲碁・将棋・麻雀等	35
家庭菜園・畑・農作業等	317	ダンス・舞踊等	26
歌・カラオケ・楽器・音楽等	247	パチンコ・競馬・競輪等	21
編み物・手芸・裁縫等	211	俳句・短歌・和歌・川柳	20
本・読書	190	仕事	19
料理・お菓子・パン・漬物等を作る	97	ペット等	17
車・バイク・ドライブ・ツーリング等	90	日曜大工・DIY・木工等	15
温泉・観光・旅行等	86	折り紙	15
釣り	82	飲食	13
映画・テレビ・動画等の鑑賞	71	清掃・片づけ等	11
絵を描く・美術等	63	ボランティア	10
ハンドメイド・物作り等	59	人との会話・交流	9
クイズ・クロスワード・パズル等	53	茶道	9
ウォーキング・歩く・散歩等	48	その他	148
生け花・華道・アレンジフラワー等	43	現在は行っていない	37
登山・山歩き等	41	これからやりたい	4
習字・書道等	41		

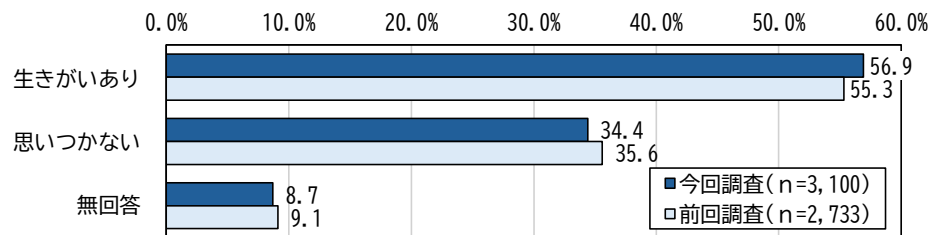
(6) 生きがいの有無

問4(18) 生きがいはありますか(1つに○)

○生きがいの有無は、「生きがいあり」の割合が56.9%となっています。

○要介護度別にみると、“要支援1・2”では「思いつかない」(47.6%)の割合が他の介護度に比べて高くなっています。

図表4-1 生きがいの有無



図表4-2 要介護度別 生きがいの有無

単位：％

		調査数	生きがいあり	思いつかない	無回答
全 体		3,100	56.9	34.4	8.7
要介護度	認定なし	2,461	60.7	31.4	7.8
	事業対象者	79	57.0	32.9	10.1
	要支援1・2	557	40.0	47.6	12.4

図表4-3 生きがいの内容

問4(18) 生きがい	件数	問4(18) 生きがい	件数
家族・親族	713	ボランティア・地域活動等	44
家庭菜園・畑・農作業等	215	料理・お菓子・漬物等を作る	40
趣味全般	182	ペット等	34
仕事	170	自立した生活	30
温泉・観光・旅行等	135	歌・カラオケ・楽器・音楽等	28
人との会話・交流	115	家事・清掃・片づけ等	15
体操・運動・スポーツ・スポーツ観戦等	88	本・読書・新聞	14
飲食	74	宗教	11
自身の健康・元気等	68	ウォーキング・歩く・散歩	10
園芸・ガーデニング・盆栽等	60	テレビの鑑賞	9
日々の暮らし・生活	58	その他	79
家族の世話・介護・人の役に立つ	51	現在は理由(病気等)があてない	4

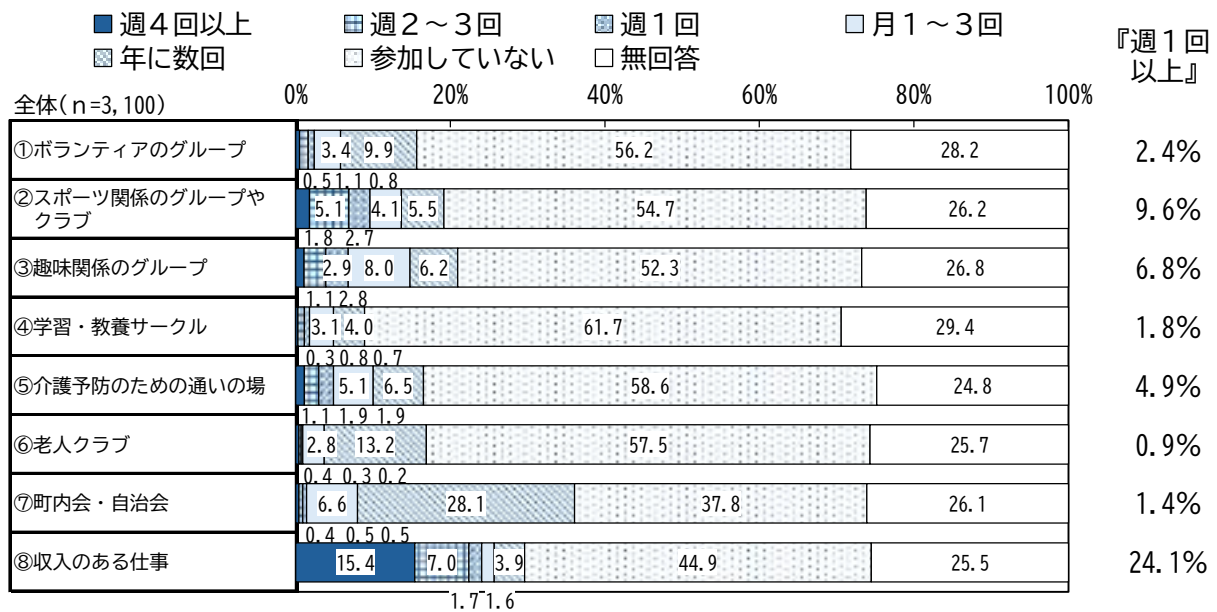
6. 地域での活動について

(1) 会・グループ等への参加頻度

問5(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか(それぞれ1つに○)

○会・グループ等への参加頻度は、「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた『週1回以上』の割合で比較すると、「収入のある仕事」の割合が24.1%で最も高く、次いで「スポーツ関係のグループやクラブ」(9.6%)、「趣味関係のグループ」(6.8%)の順となっています。

図表44 会・グループ等への参加頻度



(2) 社会参加率

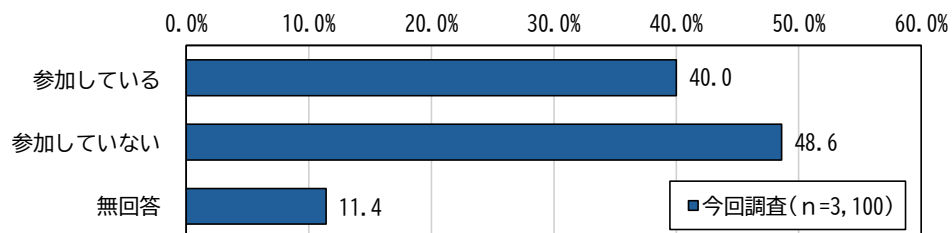
○問5(1)会・グループ等への参加頻度の回答結果から「何らかの地域活動に週1回以上のペースで参加している高齢者の割合」を「社会参加率」として集計した結果、「参加している」の割合が40.0%、「参加していない」の割合が48.6%となっています。

○年齢別にみると、「参加していない」の割合は“後期高齢者”(53.8%)が“前期高齢者”(41.0%)に比べて12.8ポイント高くなっています。

○要介護度別にみると、“要支援1・2”では「参加していない」(55.1%)の割合が他の介護度に比べて高くなっています。

○日常生活圏域別にみると、「参加していない」の割合は“星野地区”(54.0%)が最も高くなっています。

図表4-5 社会参加率



図表4-6 年齢、要介護度、日常生活圏域別 社会参加率

単位：%

		調査数	参加している	参加していない	無回答
全 体		3,100	40.0	48.6	11.4
年 齢	前期高齢者	1,237	53.5	41.0	5.5
	後期高齢者	1,860	31.0	53.8	15.3
要 介 護 度	認定なし	2,461	43.3	47.4	9.3
	事業対象者	79	45.6	41.8	12.7
	要支援1・2	557	24.6	55.1	20.3
日 常 生 活 圏 域	八女地区	1,677	41.3	47.8	11.0
	上陽地区	140	37.9	51.4	10.7
	黒木地区	602	40.7	48.0	11.3
	立花地区	478	35.6	50.2	14.2
	星野地区	150	39.3	54.0	6.7
	矢部地区	50	38.0	48.0	14.0

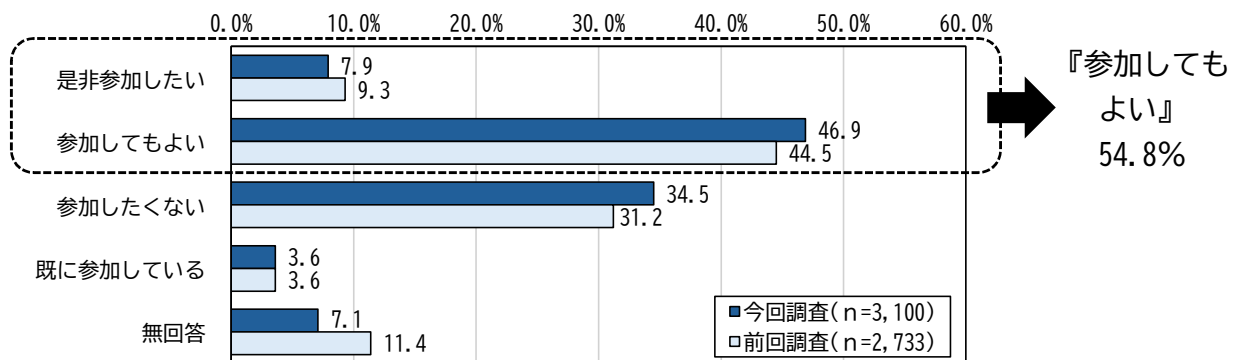
第2章 調査結果

(3) 参加者としての地域づくりへの参加意向

問5(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか(1つに○)

- 参加者としての地域づくりへの参加意向は、「是非、参加したい」及び「参加してもよい」を合わせた『参加してもよい』の割合が54.8%となっています。
- 要介護度別にみると、“要支援1・2”では「参加したくない」(50.6%)の割合が他の介護度に比べて高くなっています。
- 日常生活圏域別にみると、「是非参加したい」の割合は“上陽地区”(14.3%)、「参加したくない」の割合は“八女地区”(37.2%)、「立花地区」(35.1%)、「既に参加している」の割合は“矢部地区”(10.0%)が他の圏域に比べて高くなっています。

図表4-7 参加者としての地域づくりへの参加意向



図表4-8 要介護度、日常生活圏域別 参加者としての地域づくりへの参加意向

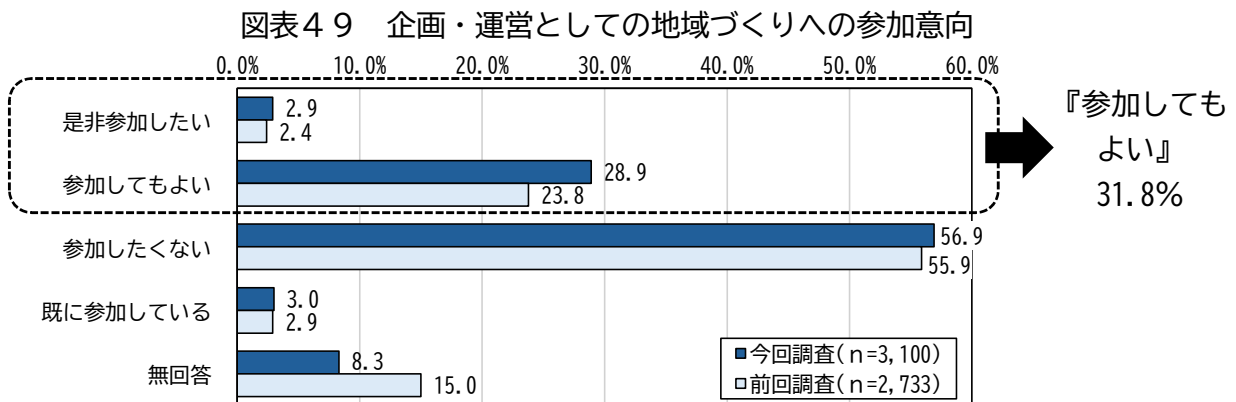
単位：％

	調査数	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答	『参加してもよい』
全 体	3,100	7.9	46.9	34.5	3.6	7.1	54.8
要介護度							
認定なし	2,461	8.3	50.7	31.2	4.0	5.8	59.0
事業対象者	79	19.0	40.5	22.8	7.6	10.1	59.5
要支援1・2	557	4.5	31.2	50.6	1.6	12.0	35.7
日常生活圏域							
八女地区	1,677	7.5	45.9	37.2	3.0	6.4	53.4
上陽地区	140	14.3	42.1	31.4	3.6	8.6	56.4
黒木地区	602	8.3	50.7	29.2	5.0	6.8	59.0
立花地区	478	7.7	44.4	35.1	3.6	9.2	52.1
星野地区	150	5.3	52.7	32.0	4.0	6.0	58.0
矢部地区	50	8.0	56.0	18.0	10.0	8.0	64.0

(4) 企画・運営としての地域づくりへの参加意向

問5(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか(1つに○)

- 企画・運営としての地域づくりへの参加意向は、「参加したくない」の割合が56.9%で最も高くなっています。なお、「是非参加したい」及び「参加してもよい」を合わせた『参加してもよい』の割合は31.8%となっています。
- 前回調査に比べ、『参加してもよい』の割合は5.6ポイント増加しています。
- 要介護度別にみると、“要支援1・2”では「参加したくない」(65.4%)の割合が他の介護度に比べて高くなっています。
- 日常生活圏域別にみると、“矢部地区”では『参加してもよい』(42.0%)の割合が他の圏域に比べて高くなっています。一方「参加したくない」の割合は“八女地区”(59.0%)が最も高くなっています。



図表5-0 要介護度、日常生活圏域別 企画・運営としての地域づくりへの参加意向

単位：％

	調査数	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答	『参加してもよい』
全 体	3,100	2.9	28.9	56.9	3.0	8.3	31.8
要介護度							
認定なし	2,461	3.0	31.6	55.2	3.5	6.7	34.6
事業対象者	79	5.1	26.6	50.6	3.8	13.9	31.7
要支援1・2	557	2.3	17.1	65.4	0.5	14.7	19.4
日常生活圏域							
八女地区	1,677	3.2	28.6	59.0	2.0	7.2	31.8
上陽地区	140	2.9	33.6	48.6	3.6	11.4	36.5
黒木地区	602	3.3	29.4	54.2	4.5	8.6	32.7
立花地区	478	2.1	27.4	57.5	3.1	9.8	29.5
星野地区	150	2.7	24.7	56.0	6.7	10.0	27.4
矢部地区	50	-	42.0	40.0	6.0	12.0	42.0

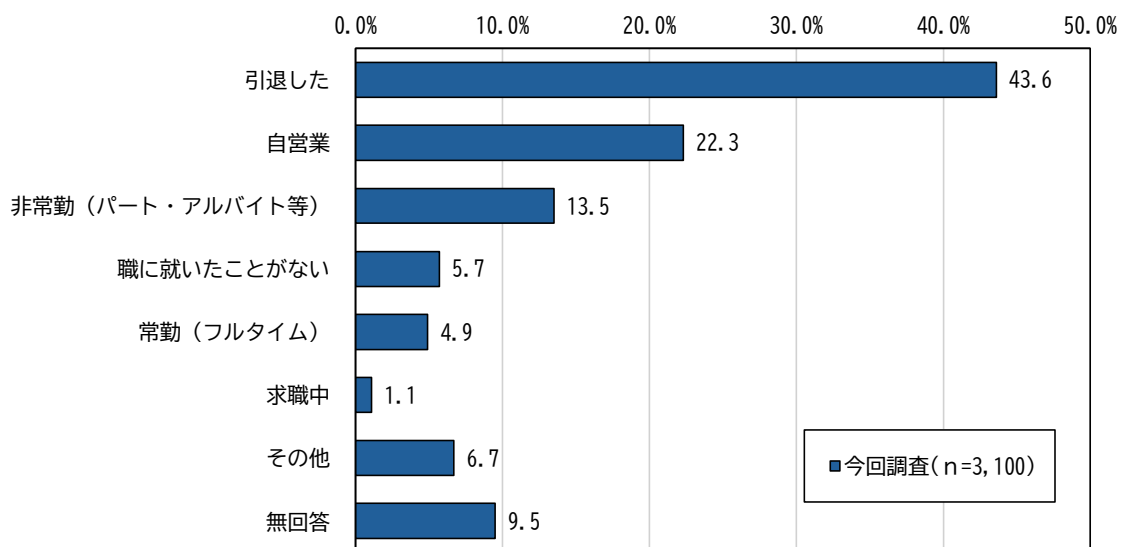
7. 就労について

(1) 現在の就労状態

問6(1) 現在のあなたの就労状態はどれですか(いくつでも)

- 現在の就労状態は、「引退した」の割合が43.6%で最も高く、次いで「自営業」(22.3%)、「非常勤(パート・アルバイト等)」(13.5%)の順となっています。
- 日常生活圏域別にみると、“八女地区”では「引退した」(49.8%)の割合が他の圏域に比べて約10～15ポイント高くなっています。

図表5-1 現在の就労状態



図表5-2 日常生活圏域別 現在の就労状態

単位：％

		調査数	職に就いたことがない	引退した	常勤（フルタイム）	非常勤（パート等）	自営業	求職中	その他	無回答
全 体		3,100	5.7	43.6	4.9	13.5	22.3	1.1	6.7	9.5
日常生活圏域	八女地区	1,677	6.0	49.8	5.6	13.7	16.0	1.3	5.8	8.9
	上陽地区	140	3.6	34.3	2.9	15.7	29.3	2.1	8.6	5.7
	黒木地区	602	5.3	37.5	4.7	14.1	29.6	0.7	7.0	9.1
	立花地区	478	6.5	34.7	4.0	10.7	32.4	0.8	7.3	12.1
	星野地区	150	6.0	39.3	4.0	15.3	24.7	0.7	9.3	11.3
	矢部地区	50	2.0	34.0	4.0	16.0	24.0	－	16.0	14.0

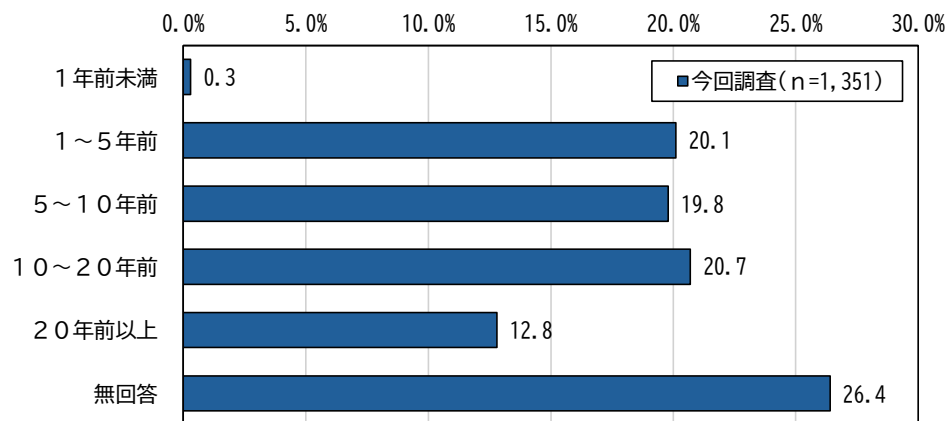
(2) いつ引退したか

問6(1)① あなたはいつ引退しましたか(1つに○)

【問6(1)で「2」と答えた方のみ】

○いつ引退したかについては、「10～20年前」の割合が20.7%で最も高く、次いで「1～5年前」(20.1%)、「5～10年前」(19.8%)の順となっています。

図表5-3 いつ引退したか



8. たすけあいについて

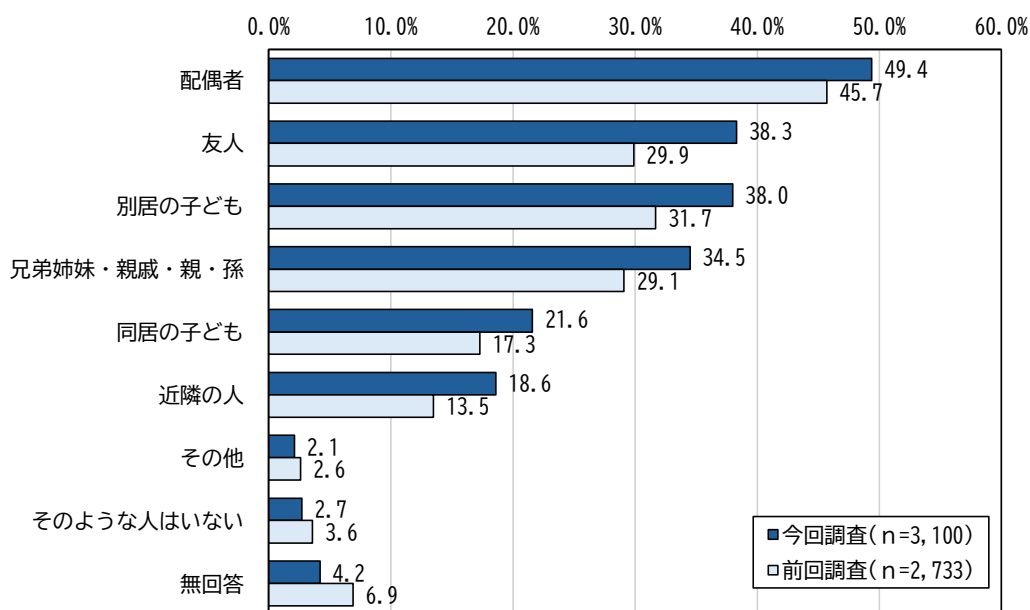
(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人

問7(1) あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人(いくつでも)

○心配事や愚痴を聞いてくれる人では、「配偶者」の割合が49.4%で最も高く、次いで「友人」(38.3%)、「別居の子ども」(38.0%)の順となっています。

○前回調査に比べ、「その他」と「そのような人はいない」以外のすべての項目で、割合が増加しており、特に「友人」では8.4ポイントの差があります。

図表5-4 心配事や愚痴を聞いてくれる人



- 性別にみると、“男性”では「配偶者」(67.8%)の割合が“女性”に比べて非常に高い一方、その他の選択肢は3割以下となっています。それに対し“女性”では「友人」(46.1%)、「別居の子ども」(45.8%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(40.8%)、「同居の子ども」(26.1%)、「近隣の人」(24.3%)の割合が“男性”に比べて高くなっています。
- 年齢別にみると、“前期高齢者”では「配偶者」(63.0%)、「友人」(45.8%)の割合が“後期高齢者”に比べて高くなっています。“後期高齢者”では「同居の子ども」(24.1%)の割合が“前期高齢者”に比べて高くなっています。
- 要介護度別にみると、“事業対象者”では「同居の子ども」(41.8%)、「近隣の人」(29.1%)、「認定なし」では「配偶者」(55.8%)の割合が他の介護度に比べて高くなっています。一方“要支援1・2”では「友人」(22.4%)の割合が他の介護度に比べて低くなっています。
- 日常生活圏域別にみると、“矢部地区”では「配偶者」(36.0%)の割合が他の圏域に比べて低い一方、「別居の子ども」(52.0%)、「近隣の人」(30.0%)の割合が他の圏域に比べて高くなっています。

図表55 性別、年齢、要介護度、日常生活圏域別 心配事や愚痴を聞いてくれる人

単位：％

		調査数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟・親・姉・妹・孫・親戚	近隣の人	友人	その他	はそういう人	無回答
全 体		3,100	49.4	21.6	38.0	34.5	18.6	38.3	2.1	2.7	4.2
性別	男性	1,272	67.8	15.2	26.9	25.6	10.6	27.2	1.7	3.6	4.6
	女性	1,825	36.5	26.1	45.8	40.8	24.3	46.1	2.4	2.1	3.9
年齢	前期高齢者	1,237	63.0	17.9	37.7	37.0	16.8	45.8	2.5	2.7	1.9
	後期高齢者	1,860	40.3	24.1	38.2	32.9	19.9	33.4	1.8	2.7	5.7
要介護度	認定なし	2,461	55.8	20.6	38.1	35.9	18.9	41.9	1.9	2.2	3.3
	事業対象者	79	27.8	41.8	36.7	44.3	29.1	40.5	2.5	6.3	2.5
	要支援1・2	557	23.9	23.3	37.9	27.3	16.0	22.4	3.1	4.7	8.4
日常生活圏域	八女地区	1,677	48.5	22.1	37.7	34.5	16.1	40.0	2.6	3.3	3.8
	上陽地区	140	52.9	16.4	28.6	27.1	19.3	35.7	0.7	1.4	5.7
	黒木地区	602	52.2	21.6	39.4	33.6	22.4	34.7	1.8	2.3	4.0
	立花地区	478	50.2	23.6	36.0	35.8	21.3	39.3	1.0	2.1	5.2
	星野地区	150	46.0	17.3	46.7	40.7	19.3	33.3	1.3	2.0	4.7
	矢部地区	50	36.0	14.0	52.0	40.0	30.0	40.0	4.0	-	4.0

第2章 調査結果

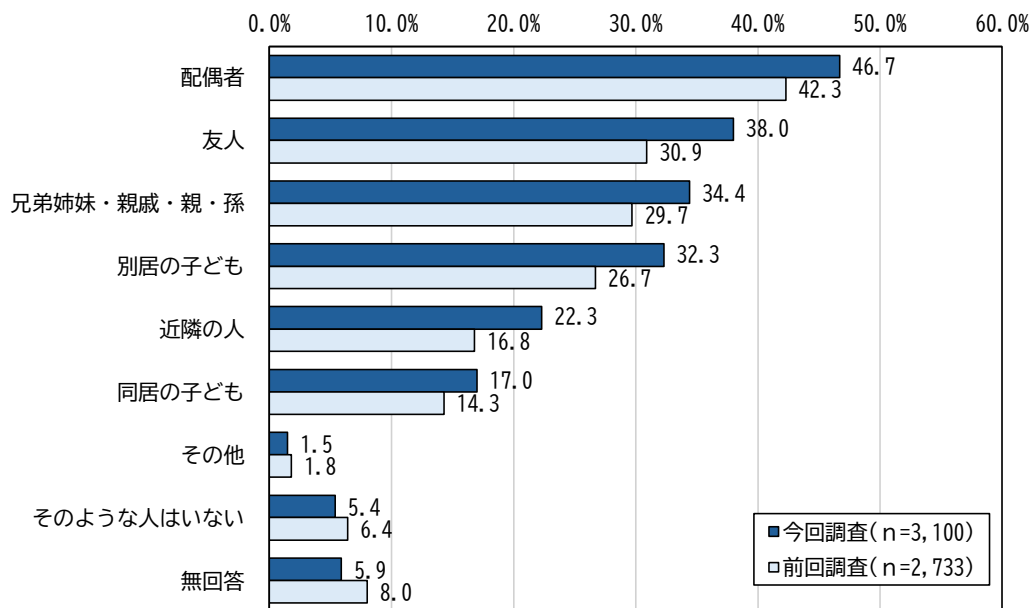
(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人

問7(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人(いくつでも)

○心配事や愚痴を聞いてあげる人では、「配偶者」の割合が46.7%で最も高く、次いで「友人」(38.0%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(34.4%)の順となっています。

○前回調査に比べ、「その他」と「そのような人はいない」以外のすべての項目で、割合が増加しており、特に「友人」では7.1ポイントの差があります。

図表56 心配事や愚痴を聞いてあげる人



- 性別にみると、“男性”では「配偶者」(64.9%)の割合が“女性”に比べて非常に高い一方、その他の選択肢は3割以下となっています。それに対し“女性”では「友人」(46.6%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(39.7%)、「別居の子ども」(37.6%)、「近隣の人」(28.4%)、「同居の子ども」(19.5%)の割合が“男性”に比べて高くなっています。
- 年齢別にみると、“前期高齢者”では「配偶者」(60.1%)、「友人」(45.1%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(38.2%)、「別居の子ども」(36.1%)の割合が“後期高齢者”に比べて高くなっています。
- 要介護度別にみると、“要支援1・2”では「別居の子ども」(25.1%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(24.2%)、「友人」(21.9%)、「近隣の人」(16.5%)、「同居の子ども」(13.5%)、の割合が他の介護度に比べて低くなっています。“認定なし”では「配偶者」(53.1%)の割合が他の介護度に比べて高くなっています。
- 日常生活圏域別にみると、“矢部地区”では「配偶者」(30.0%)の割合が他の圏域に比べて低い一方、「別居の子ども」(38.0%)、「近隣の人」(32.0%)の割合が他の圏域に比べて高くなっています。

図表57 性別、年齢、要介護度、日常生活圏域別 心配事や愚痴を聞いてあげる人

単位：％

		調査数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親	近隣の人	友人	その他	はそういう人	無回答
全 体		3,100	46.7	17.0	32.3	34.4	22.3	38.0	1.5	5.4	5.9
性別	男性	1,272	64.9	13.4	24.8	27.0	13.7	25.6	1.5	7.1	5.3
	女性	1,825	34.1	19.5	37.6	39.7	28.4	46.6	1.5	4.3	6.4
年齢	前期高齢者	1,237	60.1	15.7	36.1	38.2	21.7	45.1	2.3	4.1	1.9
	後期高齢者	1,860	37.8	17.9	29.9	32.0	22.7	33.3	1.0	6.3	8.6
要介護度	認定なし	2,461	53.1	17.5	34.0	36.4	23.5	41.6	1.6	3.7	4.2
	事業対象者	79	20.3	26.6	32.9	46.8	26.6	39.2	-	6.3	8.9
	要支援1・2	557	22.3	13.5	25.1	24.2	16.5	21.9	1.4	12.7	13.1
日常生活圏域	八女地区	1,677	45.6	17.8	32.7	34.8	19.0	38.9	2.0	5.7	5.7
	上陽地区	140	49.3	9.3	22.1	26.4	25.0	34.3	1.4	5.7	7.1
	黒木地区	602	49.5	17.3	34.2	32.9	26.6	36.0	0.8	5.0	5.6
	立花地区	478	48.7	18.0	31.2	36.8	26.2	39.1	1.5	4.4	6.7
	星野地区	150	44.7	12.0	32.7	37.3	24.7	34.7	-	6.7	5.3
	矢部地区	50	30.0	14.0	38.0	34.0	32.0	40.0	-	6.0	6.0

第2章 調査結果

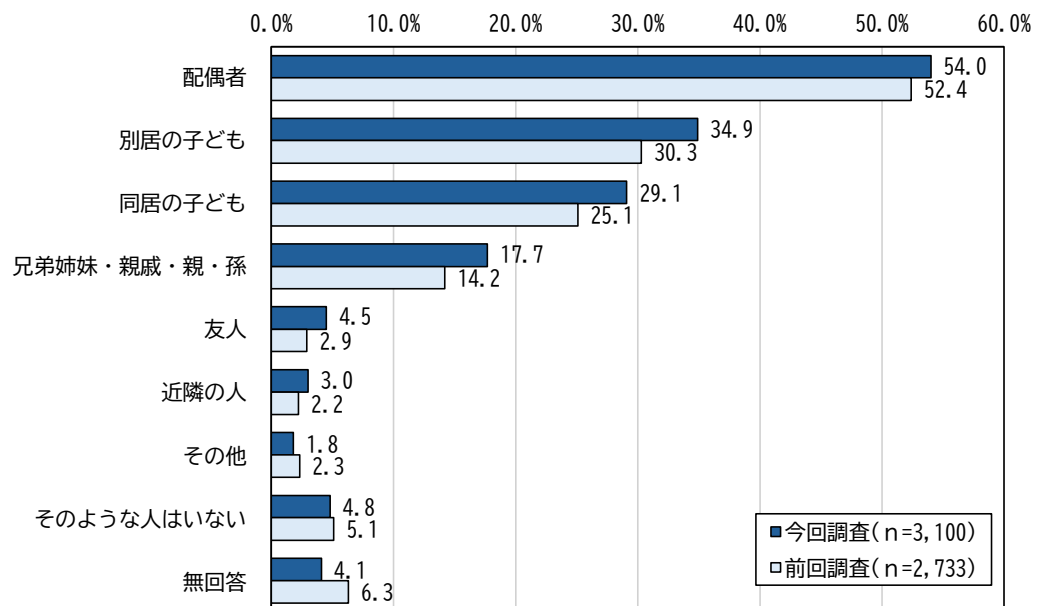
(3) 看病や世話をしてくれる人

問7(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(いくつでも)

○看病や世話をしてくれる人では、「配偶者」の割合が54.0%で最も高く、次いで「別居の子ども」(34.9%)、「同居の子ども」(29.1%)の順となっています。

○前回調査に比べ、「その他」と「そのような人はいない」以外のすべての項目で、割合が増加しています。

図表58 看病や世話をしてくれる人



- 性別にみると、“男性”では「配偶者」(73.5%)の割合が“女性”に比べて非常に高い一方、その他の選択肢は3割以下となっています。それに対し“女性”では「別居の子ども」(42.7%)、「同居の子ども」(35.2%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(20.6%)の割合が“男性”に比べて高くなっています。
- 年齢別にみると、“前期高齢者”では「配偶者」(67.3%)の割合が“後期高齢者”に比べて高くなっています。“後期高齢者”では「別居の子ども」(37.8%)、「同居の子ども」(32.7%)の割合が“前期高齢者”に比べて高くなっています。
- 要介護度別にみると、“事業対象者”では「同居の子ども」(45.6%)、“認定なし”では「配偶者」(61.2%)の割合が他の介護度に比べて高くなっています。
- 日常生活圏域別にみると、“矢部地区”では「配偶者」(40.0%)の割合が他の圏域に比べて低い一方、「別居の子ども」(62.0%)の割合が他の圏域に比べて高くなっています。

図表59 性別、年齢、要介護度、日常生活圏域別 看病や世話をしてくれる人

単位：％

		調査数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟・姉妹・親戚・孫・親	近隣の人	友人	その他	はそいのような人	無回答
全 体		3,100	54.0	29.1	34.9	17.7	3.0	4.5	1.8	4.8	4.1
性別	男性	1,272	73.5	20.4	23.7	13.5	1.2	2.5	0.9	5.3	3.9
	女性	1,825	40.4	35.2	42.7	20.6	4.2	6.0	2.4	4.4	4.2
年齢	前期高齢者	1,237	67.3	23.6	30.6	17.5	2.0	4.7	0.9	6.2	1.7
	後期高齢者	1,860	45.1	32.7	37.8	17.8	3.6	4.5	2.4	3.8	5.6
要介護度	認定なし	2,461	61.2	27.5	33.9	17.8	2.7	4.8	1.4	4.3	3.3
	事業対象者	79	22.8	45.6	38.0	22.8	3.8	5.1	3.8	7.6	5.1
	要支援1・2	557	26.4	33.6	39.0	16.7	3.9	3.6	3.1	6.3	7.5
日常生活圏域	八女地区	1,677	52.8	30.2	33.9	17.4	2.6	4.9	2.1	5.4	3.8
	上陽地区	140	60.0	27.1	36.4	18.6	3.6	1.4	-	4.3	2.9
	黒木地区	602	56.6	28.1	36.2	15.0	3.3	3.7	1.5	4.2	4.3
	立花地区	478	54.6	29.7	33.1	20.5	2.5	4.0	1.3	3.3	5.0
	星野地区	150	54.0	22.7	36.7	21.3	4.7	7.3	2.0	5.3	4.7
	矢部地区	50	40.0	22.0	62.0	20.0	8.0	10.0	4.0	6.0	2.0

第2章 調査結果

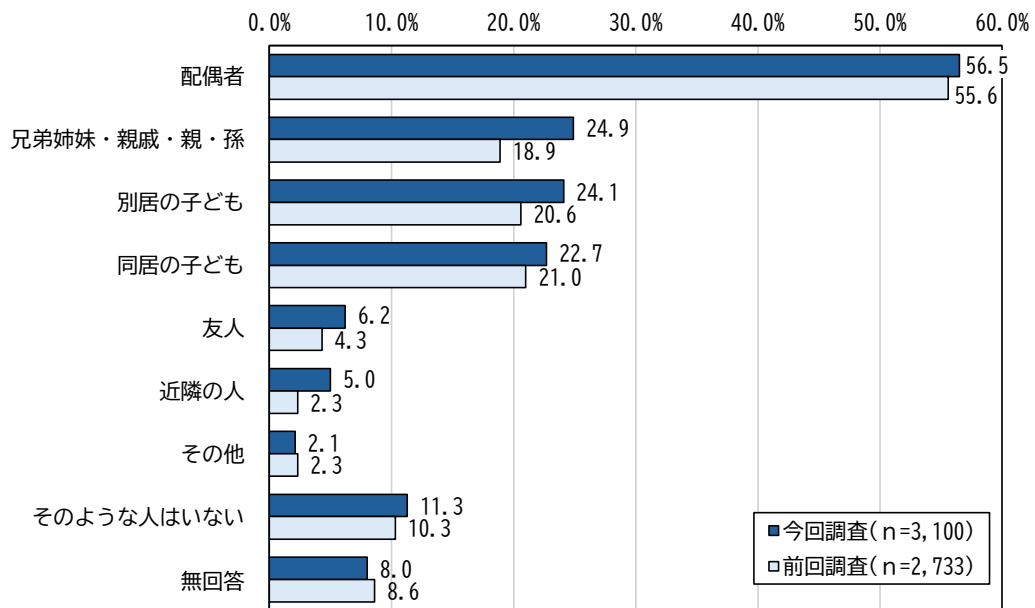
(4) 看病や世話をしあける人

問7(4) 反対に、あなたが看病や世話をしあける人(いくつでも)

○あなたが看病や世話をしあける人では、「配偶者」が56.5%で最も高く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(24.9%)、「別居の子ども」(24.1%)の順となっています。

○前回調査に比べ、「その他」以外のすべての項目で割合が増加しており、特に「兄弟姉妹・親戚・親・孫」では6.0ポイントの差があります。

図表60 看病や世話をしあける人



- 性別にみると、“男性”では「配偶者」(70.3%)の割合が“女性”に比べて非常に高い一方、その他の選択肢は2割以下となっています。それに対し“女性”では「別居の子ども」(30.2%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(29.4%)、「同居の子ども」(27.2%)の割合が“男性”に比べて高くなっています。
- 年齢別にみると、“前期高齢者”では「配偶者」(70.7%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(31.7%)、「別居の子ども」(29.3%)、の割合が“後期高齢者”に比べて高くなっています。
- 要介護度別にみると、「そのような人はいない」の割合は“要支援1・2”(28.5%)と“事業対象者”(20.3%)で2割～3割弱となり、“認定なし”(7.2%)に比べて高くなっています。一方“認定なし”では「配偶者」(64.1%)の割合が、他の介護度に比べて高くなっています。
- 日常生活圏域別にみると、“矢部地区”では「配偶者」(44.0%)の割合が他の圏域に比べて低い一方、「別居の子ども」(34.0%)、「近隣の人」(20.0%)の割合が他の圏域に比べて高くなっています。

図表61 性別、年齢、要介護度、日常生活圏域別 看病や世話をしあける人

単位：％

		調査数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟・姉妹・親戚・親・孫・親	近隣の人	友人	その他	はそういう人	無回答
全 体		3,100	56.5	22.7	24.1	24.9	5.0	6.2	2.1	11.3	8.0
性別	男性	1,272	70.3	16.1	15.4	18.4	2.2	3.8	2.1	10.2	6.5
	女性	1,825	46.8	27.2	30.2	29.4	6.9	7.8	2.1	12.1	9.0
年齢	前期高齢者	1,237	70.7	23.3	29.3	31.7	3.8	6.4	1.0	6.7	3.1
	後期高齢者	1,860	47.0	22.3	20.6	20.3	5.8	6.0	2.8	14.4	11.3
要介護度	認定なし	2,461	64.1	24.5	27.1	28.4	5.4	6.8	1.2	7.2	5.7
	事業対象者	79	27.8	30.4	21.5	25.3	6.3	5.1	2.5	20.3	13.9
	要支援1・2	557	26.8	13.6	11.1	9.2	2.9	3.4	5.9	28.5	17.4
日常生活圏域	八女地区	1,677	55.1	23.7	23.7	25.7	4.1	6.9	1.8	12.5	7.2
	上陽地区	140	62.1	22.9	21.4	20.7	3.6	4.3	2.9	10.0	8.6
	黒木地区	602	59.8	19.9	24.3	21.6	5.6	5.6	2.7	9.3	8.6
	立花地区	478	56.7	23.0	24.7	25.1	5.2	4.6	2.1	10.5	9.4
	星野地区	150	56.0	22.0	25.3	29.3	8.0	6.7	2.0	9.3	10.7
	矢部地区	50	44.0	20.0	34.0	32.0	20.0	6.0	4.0	16.0	6.0

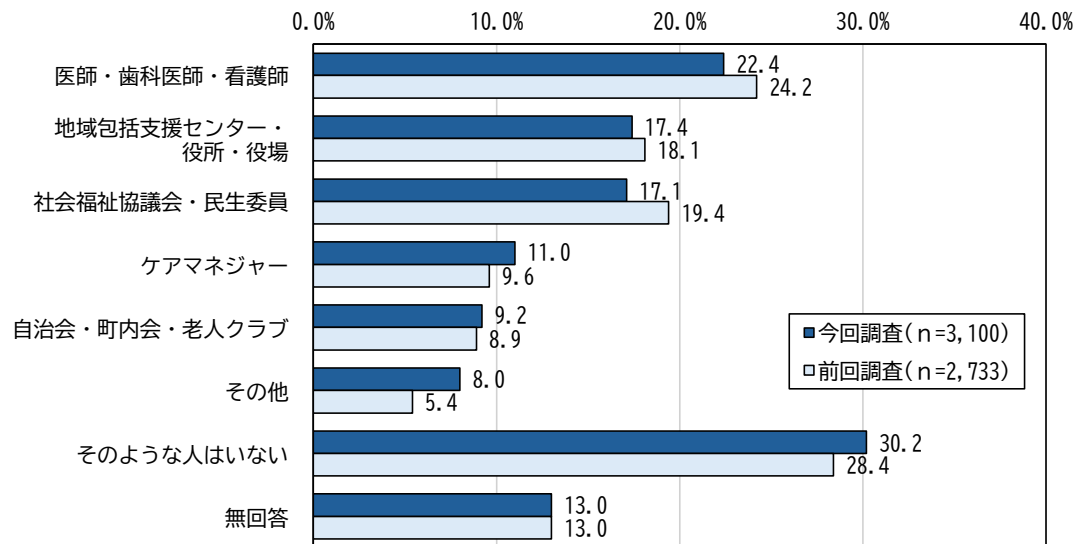
第2章 調査結果

(5) 家族や友人・知人以外の相談相手

問7(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください
(いくつでも)

○家族や友人・知人以外の相談相手は、「そのような人はいない」の割合が30.2%で最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」(22.4%)、「地域包括支援センター・役所・役場」(17.4%)の順となっています。

図表6-2 家族や友人・知人以外の相談相手



- 性別にみると、“男性”では「そのような人はいない」(34.1%)、「自治会・町内会・老人クラブ」(12.9%)の割合が“女性”に比べて高くなっています。“女性”では「地域包括支援センター・役所・役場」(19.6%)、「ケアマネジャー」(13.7%)の割合が“男性”に比べて高くなっています。
- 年齢別にみると、“前期高齢者”では「そのような人はいない」(37.7%)の割合が“後期高齢者”に比べて高くなっています。“後期高齢者”では「社会福祉協議会・民生委員」(19.2%)、「ケアマネジャー」(15.2%)の割合が“前期高齢者”に比べて高くなっています。
- 要介護度別にみると、「ケアマネジャー」の割合は要介護度が上がるにつれて高くなっています。また“事業対象者”では「地域包括支援センター・役所・役場」(39.2%)、“認定なし”では「そのような人はいない」(33.3%)の割合が他の介護度に比べて高くなっています。
- 日常生活圏域別にみると、「自治会・町内会・老人クラブ」の割合は“黒木地区”(13.3%)が最も高くなっています。また“星野地区”では「医師・歯科医師・看護師」(30.0%)、“矢部地区”では「社会福祉協議会・民生委員」(44.0%)、「地域包括支援センター・役所・役場」(38.0%)の割合が他の圏域に比べて高くなっています。一方、「そのような人はいない」の割合は“八女地区”(33.7%)、“上陽地区”(30.7%)、“立花地区”(32.4%)で3割～3割強となり、その他の圏域に比べて高い一方、“矢部地区”(8.0%)では1割以下で、その他の圏域に比べて低くなっています。

図表63 性別、年齢、要介護度、日常生活圏域別 家族や友人・知人以外の相談相手

単位：％

	調査数	自治会・老人クラブ・町内会	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・看護師・歯科医師	地域包括支援センター・役所・役場	その他	そのような人はいない	無回答
全 体	3,100	9.2	17.1	11.0	22.4	17.4	8.0	30.2	13.0
性 別									
男性	1,272	12.9	16.2	7.2	21.7	14.2	8.9	34.1	10.1
女性	1,825	6.6	17.8	13.7	22.9	19.6	7.3	27.3	14.9
年 齢									
前期高齢者	1,237	9.9	14.0	4.8	20.9	14.6	10.8	37.7	9.5
後期高齢者	1,860	8.7	19.2	15.2	23.4	19.2	6.1	25.1	15.3
要 介 護 度									
認定なし	2,461	10.4	16.8	4.2	22.3	14.3	8.8	33.3	13.3
事業対象者	79	11.4	17.7	16.5	21.5	39.2	3.8	16.5	19.0
要支援1・2	557	3.4	18.5	40.2	23.2	27.8	5.0	18.0	10.6
日 常 生 活 圏 域									
八女地区	1,677	8.5	13.4	12.5	23.0	14.4	7.9	33.7	12.3
上陽地区	140	8.6	17.1	4.3	21.4	22.1	9.3	30.7	11.4
黒木地区	602	13.3	24.8	10.3	20.8	21.8	8.5	22.3	14.5
立花地区	478	7.5	15.1	7.9	20.3	16.5	6.9	32.4	14.4
星野地区	150	6.0	26.7	12.7	30.0	24.7	9.3	21.3	12.0
矢部地区	50	12.0	44.0	14.0	22.0	38.0	6.0	8.0	8.0

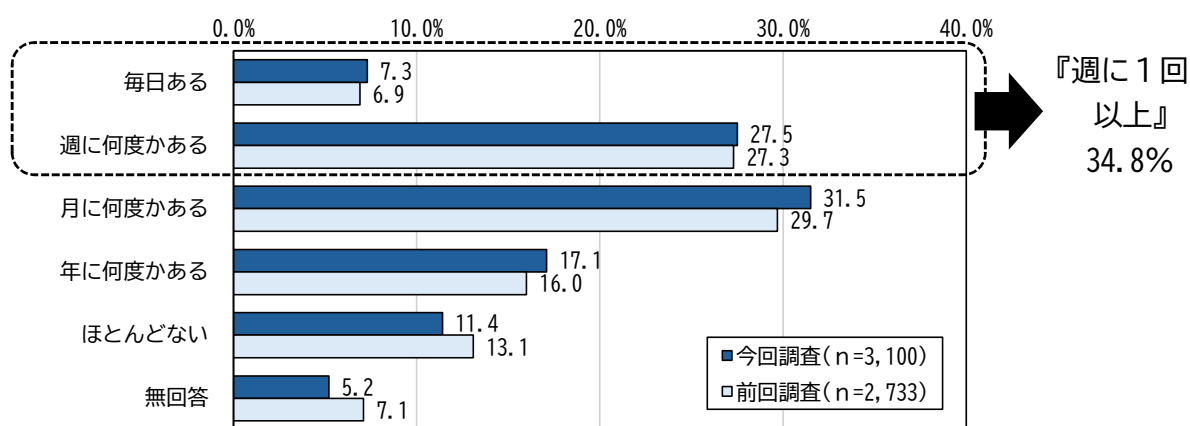
第2章 調査結果

(6) 友人・知人と会う頻度

問7(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか(1つに○)

- 友人・知人と会う頻度は、「月に何度かある」の割合が31.5%で最も高くなっています。なお、「毎日ある」及び「週に何度かある」を合わせた『週に1回以上』の割合は34.8%となっています。
- 性別にみると、「ほとんどない」の割合は、“男性”(15.9%)が“女性”(8.3%)に比べて、7.6ポイント高くなっています。
- 要介護度別にみると、“要支援1・2”では「ほとんどない」(22.1%)の割合が他の介護度に比べて高くなっています。
- 日常生活圏域別にみると、「ほとんどない」の割合は“八女地区”(13.0%)が最も高く、“矢部地区”では「毎日ある」(16.0%)の割合が他の圏域に比べて高くなっています。

図表6-4 友人・知人と会う頻度



図表6-5 性別、要介護度、日常生活圏域別 友人・知人と会う頻度

単位：％

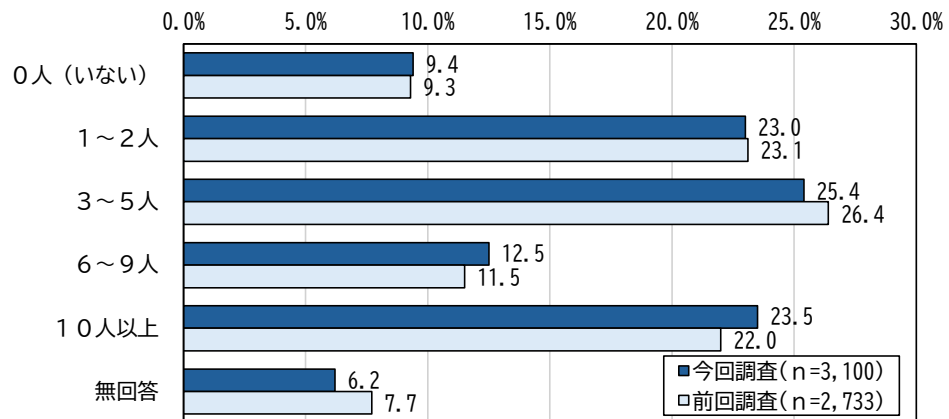
		調査数	毎日ある	ある週に何度か	ある月に何度か	ある年に何度か	ほとんどない	無回答	以『週に1回以上』
全 体		3,100	7.3	27.5	31.5	17.1	11.4	5.2	34.8
性別	男性	1,272	7.2	24.1	30.3	18.3	15.9	4.1	31.3
	女性	1,825	7.3	30.0	32.2	16.2	8.3	5.9	37.3
要介護度	認定なし	2,461	8.0	27.5	33.0	18.0	9.1	4.4	35.5
	事業対象者	79	10.1	35.4	30.4	7.6	7.6	8.9	45.5
	要支援1・2	557	3.8	26.9	25.0	14.4	22.1	7.9	30.7
日常生活圏域	八女地区	1,677	6.7	26.2	31.7	17.5	13.0	4.8	32.9
	上陽地区	140	9.3	27.1	30.0	17.9	11.4	4.3	36.4
	黒木地区	602	7.3	30.1	28.6	18.1	9.6	6.3	37.4
	立花地区	478	6.5	27.6	33.3	17.2	9.6	5.9	34.1
	星野地区	150	11.3	32.0	34.0	10.7	8.7	3.3	43.3
	矢部地区	50	16.0	30.0	36.0	8.0	6.0	4.0	46.0

(7) 1か月間に会った友人・知人の人数

問7(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか(1つに○)
(同じ人には何度会っても1人と数えることとします)

○1か月間に会った友人・知人の人数は、「3～5人」の割合が25.4%で最も高く、次いで「10人以上」(23.5%)、「1～2人」(23.0%)の順となっています。

図表66 1か月間に会った友人・知人の人数



第2章 調査結果

(8) よく会う友人・知人との関係

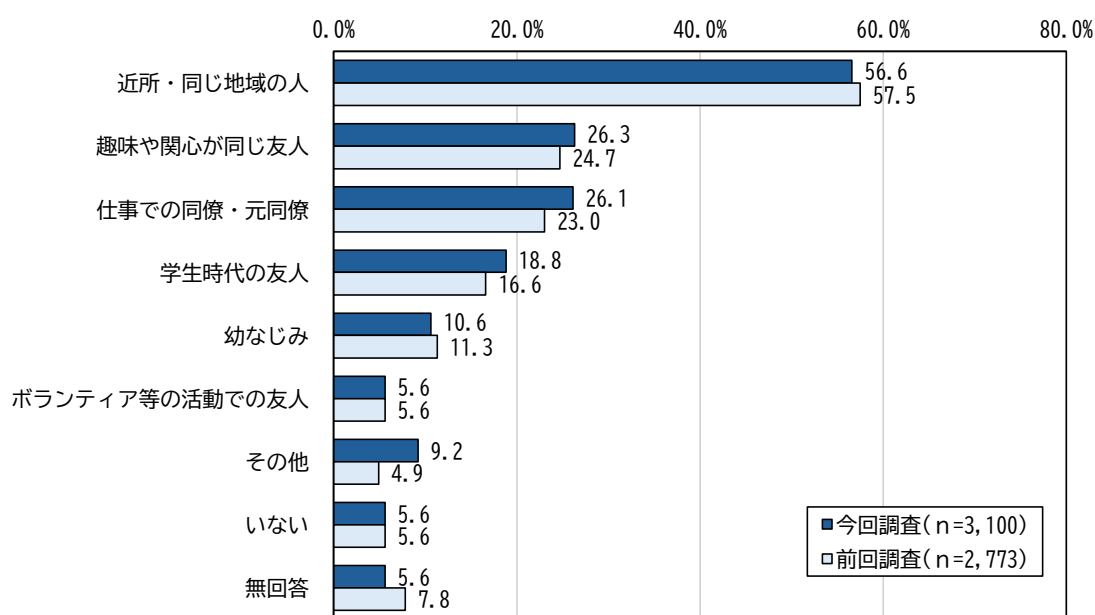
問7(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか(いくつでも)

○よく会う友人・知人との関係は、「近所・同じ地域の人」の割合が56.6%で最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」(26.3%)、「仕事での同僚・元同僚」(26.1%)の順となっています。

○要介護度別にみると、“認定なし”では「仕事での同僚・元同僚」(30.8%)の割合が他の介護度に比べて高くなっています。

○日常生活圏域別にみると、“八女地区”では「近所・同じ地域の人」(49.9%)の割合が他の圏域に比べて低くなっています。

図表67 よく会う友人・知人との関係



図表68 要介護度、日常生活圏域別 よく会う友人・知人との関係

単位：％

	調査数	近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	ボランティア等の活動での友人	その他	いない	無回答
全体	3,100	56.6	10.6	18.8	26.1	26.3	5.6	9.2	5.6	5.6
要介護度	認定なし	2,461	58.0	11.2	20.8	29.2	5.7	8.4	4.6	4.1
	事業対象者	79	67.1	10.1	17.7	6.3	34.2	12.7	3.8	6.3
	要支援1・2	557	49.2	8.4	10.2	8.6	12.2	4.5	13.3	12.2
日常生活圏域	八女地区	1,677	49.9	9.8	19.3	27.0	27.0	6.1	10.3	7.0
	上陽地区	140	62.1	14.3	16.4	25.0	24.3	4.3	4.3	5.0
	黒木地区	602	64.5	11.8	17.9	26.7	27.1	4.3	7.3	3.8
	立花地区	478	63.2	13.2	21.1	24.1	26.2	5.6	9.0	4.0
	星野地区	150	70.7	6.7	14.0	22.0	18.0	6.0	9.3	3.3
	矢部地区	50	70.0	4.0	10.0	26.0	22.0	10.0	8.0	4.0

(9) 孤独感尺度

問7(9) あなたは、自分には人との付き合いがないと感じることがありますか(1つに○)

問7(10) あなたは、自分は取り残されていると感じることがありますか(1つに○)

問7(11) あなたは、自分は他の人たちから孤立していると感じることがありますか(1つに○)

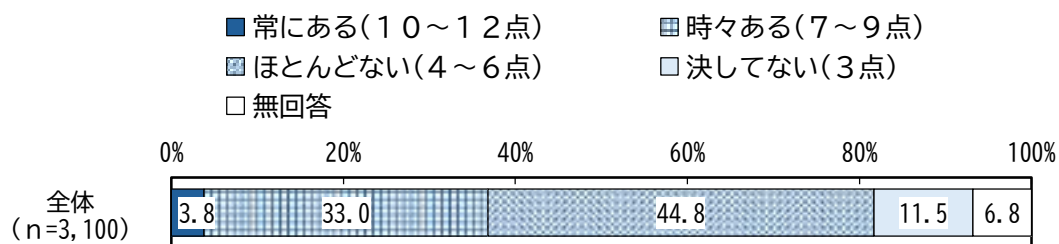
○孤独感尺度に関して、問7(9)～(11)の3つの項目の結果を足し合わせてスコアを算出しました。0～12点で、得点が高いほど問題性が高いと考えられます。「ほとんどない(4～6点)」の割合が44.8%で最も高く、次いで「時々ある(7～9点)」(33.0%)、「決してない(3点)」(11.5%)の順となっています。

○全体の平均値は6.32点となっています。

○要介護度別にみると、“要支援1・2”では平均値(6.91点)が、他の介護度に比べて高くなっています。

○日常生活圏域別にみると、“上陽地区”では平均値(6.01点)が他の圏域に比べて低く、“矢部地区”では平均値(6.48点)が他の圏域に比べて高くなっています。

図表69 孤独感尺度



図表70 要介護度、日常生活圏域別 孤独感尺度

単位：点

		調査数	平均値
全 体		2,890	6.32
要介護度	認定なし	2,325	6.20
	事業対象者	73	6.15
	要支援1・2	490	6.91
日常生活圏域	八女地区	1,566	6.39
	上陽地区	125	6.01
	黒木地区	565	6.18
	立花地区	444	6.34
	星野地区	144	6.28
	矢部地区	44	6.48

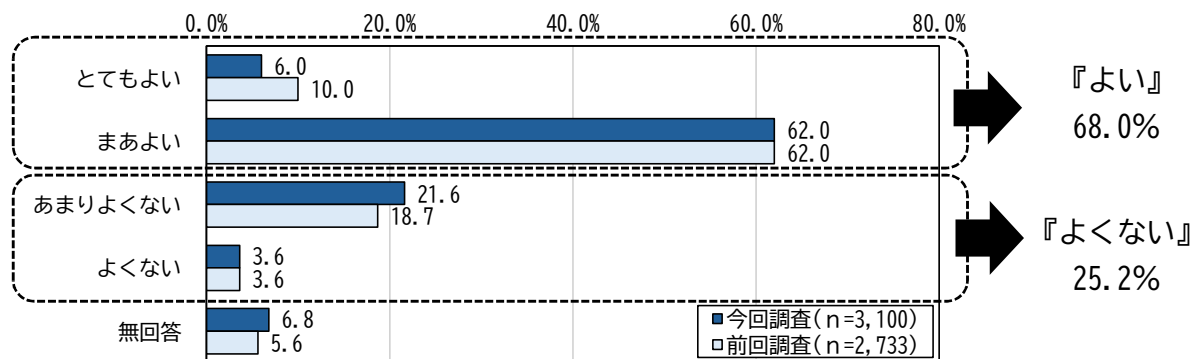
9. 健康について

(1) 現在の健康状態

問8(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか(1つに○)

- 現在の健康状態は、「とてもよい」及び「まあよい」を合わせた『よい』の割合が68.0%となっています。
- 年齢別にみると、『よくない』の割合は“後期高齢者”(31.0%)が“前期高齢者”(16.4%)に比べて14.6ポイント高くなっています。
- 要介護度別にみると、『よくない』の割合は要介護度が上がるにつれて高くなっています。
- 日常生活圏域別にみると、『よくない』の割合は“八女地区”(26.6%)が最も高く、“上陽地区”(20.7%)が最も低くなっています。
- 趣味・生きがいの有無別にみると、『よい』の割合は“趣味あり”、“生きがいあり”が7割台であるのに対し、“思いつかない”は5割半ば～6割と、それぞれ差が見られます。

図表71 現在の健康状態



図表72 年齢、要介護度、日常生活圏域、趣味の有無、生きがいの有無別 現在の健康状態
単位：%

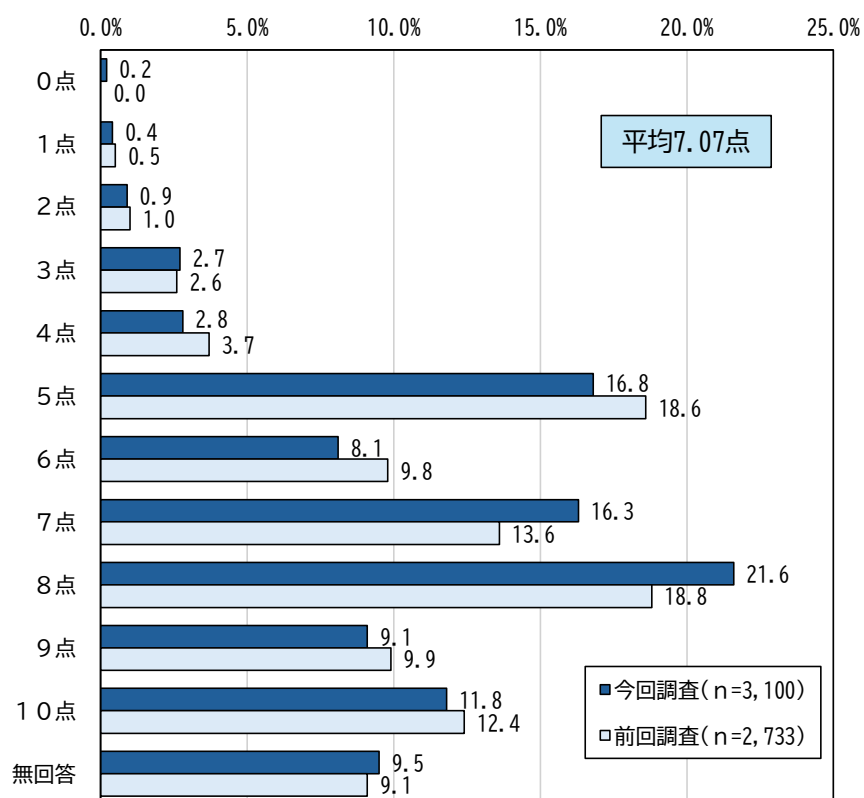
		調査数	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答	『よい』	『よくない』
全 体		3,100	6.0	62.0	21.6	3.6	6.8	68.0	25.2
年 齢	前期高齢者	1,237	7.8	71.8	14.9	1.5	4.0	79.6	16.4
	後期高齢者	1,860	4.7	55.6	26.0	5.0	8.7	60.3	31.0
要 介 護 度	認定なし	2,461	6.9	67.0	17.8	2.1	6.1	73.9	19.9
	事業対象者	79	3.8	64.6	22.8	1.3	7.6	68.4	24.1
	要支援1・2	557	2.0	39.7	38.1	10.8	9.5	41.7	48.9
日 常 生 活 圏 域	八女地区	1,677	6.3	61.4	22.7	3.9	5.7	67.7	26.6
	上陽地区	140	10.7	58.6	16.4	4.3	10.0	69.3	20.7
	黒木地区	602	5.8	64.6	18.9	2.7	8.0	70.4	21.6
	立花地区	478	3.8	61.7	22.4	3.8	8.4	65.5	26.2
	星野地区	150	4.0	64.7	22.0	4.0	5.3	68.7	26.0
	矢部地区	50	12.0	58.0	20.0	2.0	8.0	70.0	22.0
趣 味 の 有 無	趣味あり	1,908	7.0	66.3	18.4	2.3	6.0	73.3	20.7
	思いつかない	953	4.2	55.9	27.4	6.4	6.1	60.1	33.8
生 き が い の 有 無	生きがいあり	1,763	7.8	68.5	16.1	1.6	6.0	76.3	17.7
	思いつかない	1,066	3.0	52.3	31.4	7.1	6.2	55.3	38.5

(2) 主観的幸福感

問8(2) あなたは、現在どの程度幸せですか(1つに○)
(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

○主観的幸福感は、「8点」が21.6%で最も高く、次いで「5点」(16.8%)、「7点」(16.3%)の順となっています。

図表73 主観的幸福観



第2章 調査結果

- 要介護度別にみると、“要支援1・2”では平均値(6.46点)が他の介護度に比べて低くなっています。
- 日常生活圏域別にみると、平均値は“矢部地区”(7.39点)が他の圏域に比べて高く、“星野地区”(6.95点)が他の圏域に比べて低くなっています。
- 趣味・生きがいの有無別にみると、“趣味あり”、“生きがいあり”の平均が7点台であるのに対し、“思いつかない”の平均は6点台となり、それぞれ差がみられます。

図表74 要介護度、日常生活圏域、趣味の有無、生きがいの有無別 主観的幸福観

単位：点

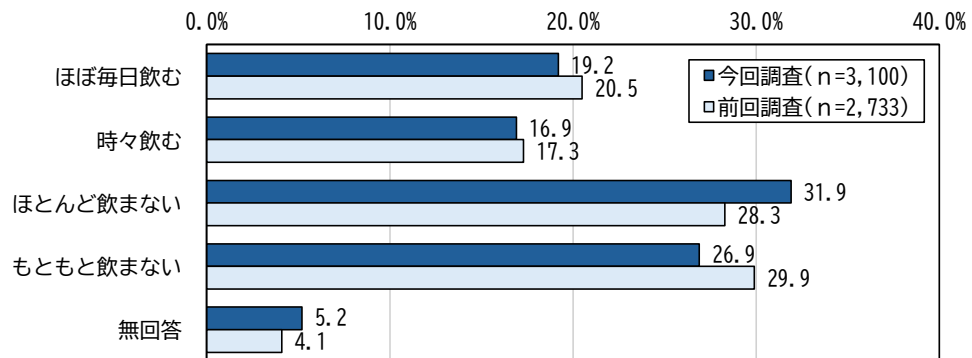
		調査数	平均値
全 体		2,807	7.07
要介護度	認定なし	2,249	7.20
	事業対象者	70	7.21
	要支援1・2	486	6.46
日常生活圏域	八女地区	1,546	7.00
	上陽地区	124	7.15
	黒木地区	532	7.28
	立花地区	419	7.07
	星野地区	140	6.95
	矢部地区	44	7.39
趣味の有無	趣味あり	1,747	7.40
	思いつかない	873	6.42
生きがいの有無	生きがいあり	1,605	7.65
	思いつかない	985	6.11

(3) お酒は飲むか

問8(5) お酒は飲みますか(1つに○)

○お酒は飲むかでは、「ほとんど飲まない」が31.9%で最も高く、次いで「もともと飲まない」(26.9%)、「ほぼ毎日飲む」(19.2%)の順となっています。

図表75 お酒は飲むか

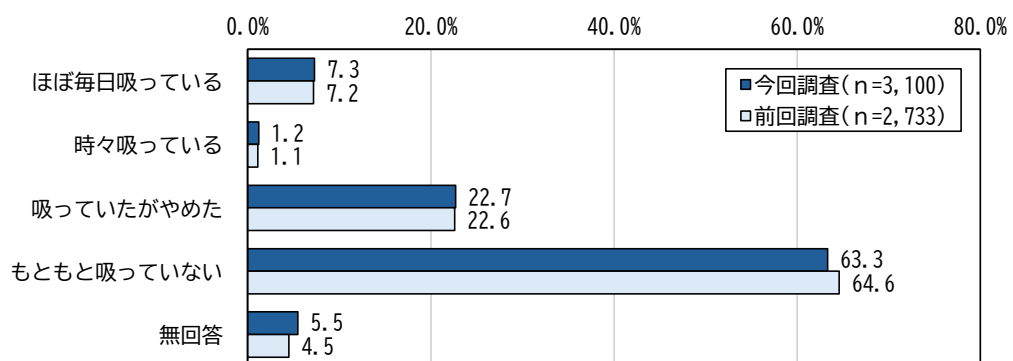


(4) タバコは吸うか

問8(6) タバコは吸っていますか(1つに○)

○タバコは吸うかでは、「もともと吸っていない」が63.3%で最も高く、次いで「吸っていたがやめた」(22.7%)、「ほぼ毎日吸っている」(7.3%)の順となっています。

図表76 タバコは吸うか



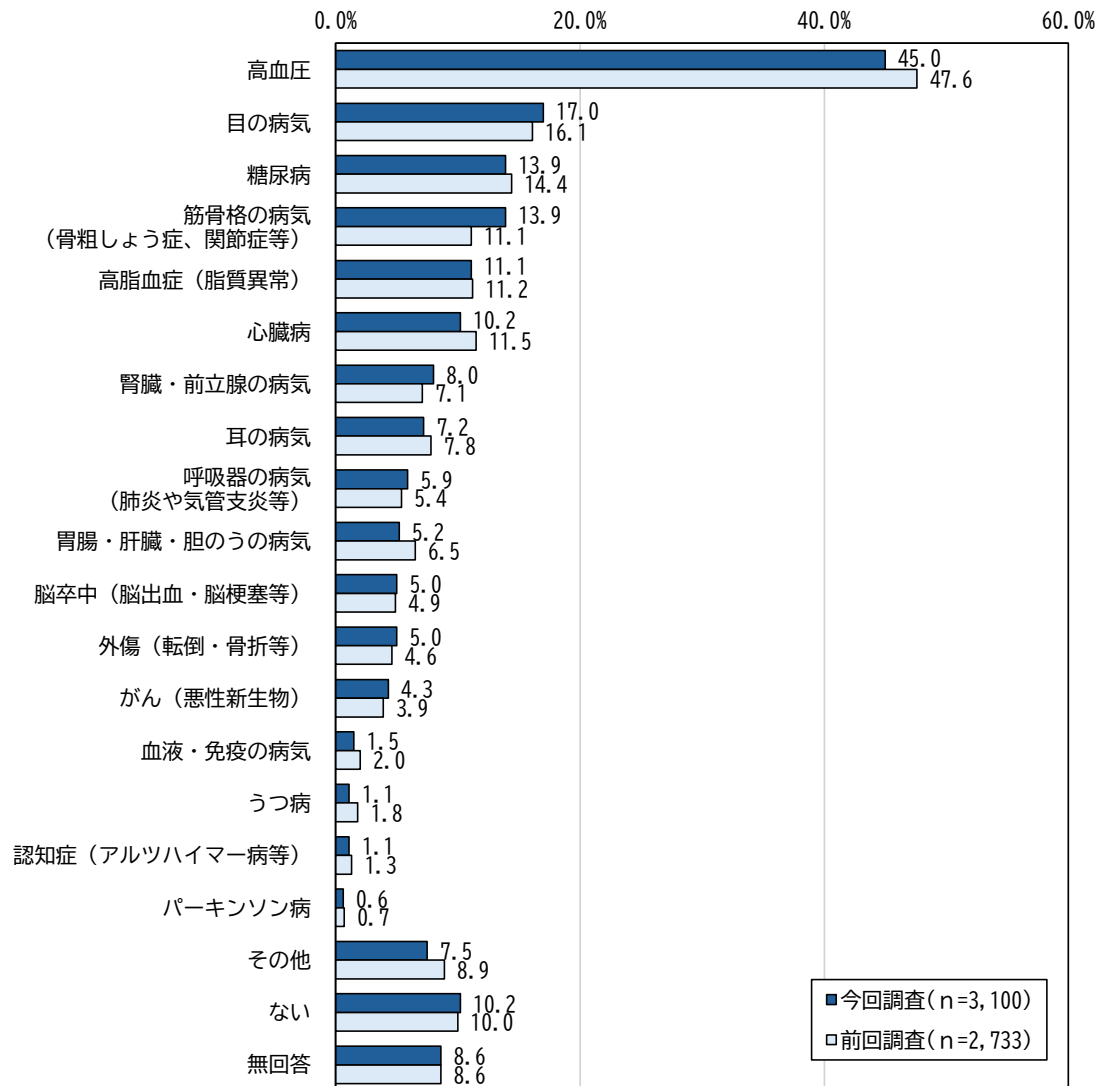
第2章 調査結果

(5) 治療中、後遺症のある病気

問8(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか(いくつでも)

○治療中、後遺症のある病気は、「高血圧」が45.0%で最も高く、次いで「目の病気」(17.0%)、「糖尿病」(13.9%)の順となっています。

図表77 治療中、後遺症のある病気



- 性別にみると、“男性”では「糖尿病」(18.4%)、「腎臓・前立腺の病気」(16.2%)の割合が“女性”に比べて高くなっています。“女性”では「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」(18.8%)、「高脂血症(脂質異常)」(13.8%)、の割合が“男性”に比べて高くなっています。
- 年齢別にみると、“後期高齢者”では「高血圧」(48.7%)、「目の病気」(21.4%)、「心臓病」(12.7%)の割合が“前期高齢者”に比べて高くなっています。
- 要介護度別にみると、“要支援1・2”では「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」(24.2%)、「心臓病」(18.0%)、「外傷(転倒・骨折等)」(13.8%)、「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」(11.1%)、“事業対象者”では「耳の病気」(19.0%)、“認定なし”では「高脂血症(脂質異常)」(12.3%)の割合が他の介護度に比べて高くなっています。

図表78 性別、年齢、要介護度別 治療中、後遺症のある病気

単位：％

	調査数	ない	高血圧	等血脳・卒 中・脳梗塞(脳出 等)	心臓病	糖尿病	質高脂血 症(脂質異常)	支(呼 肺炎器 等)やの 気管気	胆胃 腸の うの 肝臓 病・ 臓病	の腎 臓病 ・前 立腺	等症(筋 骨格の 病気の う病 等)
全 体	3,100	10.2	45.0	5.0	10.2	13.9	11.1	5.9	5.2	8.0	13.9
性 別											
男性	1,272	8.4	46.1	7.4	12.1	18.4	7.2	7.2	6.3	16.2	6.7
女性	1,825	11.5	44.3	3.4	8.9	10.8	13.8	5.0	4.5	2.4	18.8
年 齢											
前期高齢者	1,237	15.8	39.5	4.3	6.5	12.9	14.4	4.7	4.9	5.5	11.2
後期高齢者	1,860	6.5	48.7	5.5	12.7	14.6	8.9	6.7	5.5	9.7	15.6
要介護度											
認定なし	2,461	12.1	44.0	3.7	8.5	13.9	12.3	5.1	5.6	7.7	11.4
事業対象者	79	6.3	51.9	5.1	10.1	13.9	7.6	6.3	6.3	3.8	17.7
要支援1・2	557	2.3	48.5	11.1	18.0	14.2	6.3	9.2	3.2	10.1	24.2

	調査数	骨外傷 (転倒・ 骨折等)	生が 物ん (悪性 新)	病血 液・ 免疫 の	うつ 病	等ツ認 ハ知 マ一 ア病 ル	病パ ーキ ンソ ン	目の 病気	耳の 病気	その他	無 回 答
全 体	3,100	5.0	4.3	1.5	1.1	1.1	0.6	17.0	7.2	7.5	8.6
性 別											
男性	1,272	3.4	5.1	1.6	0.9	1.3	0.6	14.5	6.8	6.8	7.2
女性	1,825	6.1	3.8	1.4	1.3	0.9	0.7	18.7	7.6	8.1	9.5
年 齢											
前期高齢者	1,237	2.2	3.6	1.6	1.1	0.2	0.5	10.3	3.7	9.2	6.9
後期高齢者	1,860	6.9	4.8	1.3	1.1	1.7	0.8	21.4	9.6	6.5	9.7
要介護度											
認定なし	2,461	3.0	4.3	1.4	0.8	0.4	0.3	14.8	5.2	7.5	8.6
事業対象者	79	3.8	5.1	1.3	2.5	2.5	-	27.8	19.0	7.6	3.8
要支援1・2	557	13.8	4.5	1.6	2.3	3.6	2.3	25.0	14.5	7.9	9.0

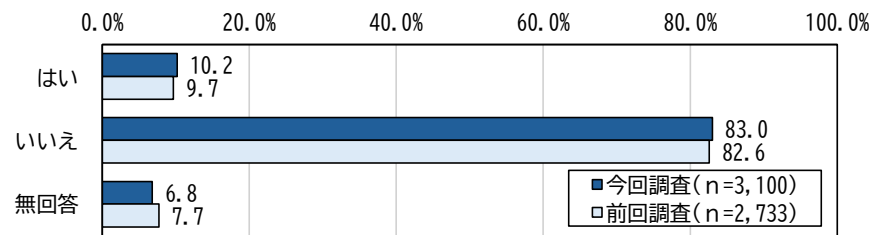
10. 認知症について

(1) 自分や家族の認知症の症状の有無

問9(1) ご本人に認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がありますか
(1つに○)

○自分や家族の認知症の症状の有無は、「いいえ」の割合が83.0%となっています。

図表79 自分や家族の認知症の症状の有無

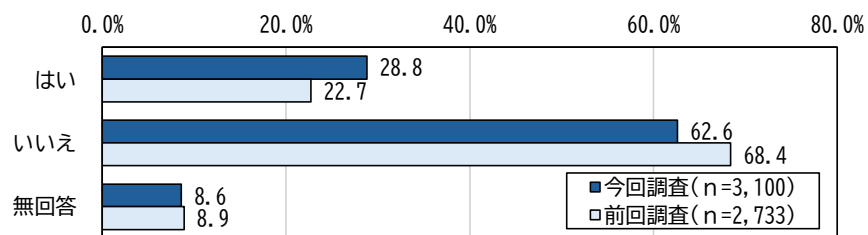


(2) 認知症に関する相談窓口の認知度

問9(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか(1つに○)

- 認知症に関する相談窓口を知っているかについて、「いいえ」の割合が62.6%となっています。
- 前回調査に比べ、「はい」の割合は6.1ポイント増加、「いいえ」の割合は5.8ポイント減少しています。
- 日常生活圏域別にみると、「はい」の割合は“矢部地区”(50.0%)、“星野地区”(44.7%)、「いいえ」の割合は“八女地区”(67.1%)、“立花地区”(64.4%)で他の圏域に比べて高くなっています。

図表80 認知症に関する相談窓口の認知度



図表81 日常生活圏域別 認知症に関する相談窓口の認知度

単位：％

		調査数	はい	いいえ	無回答
全 体		3,100	28.8	62.6	8.6
日常生活圏域	八女地区	1,677	25.9	67.1	7.0
	上陽地区	140	31.4	58.6	10.0
	黒木地区	602	34.4	55.8	9.8
	立花地区	478	24.3	64.4	11.3
	星野地区	150	44.7	46.7	8.7
	矢部地区	50	50.0	36.0	14.0

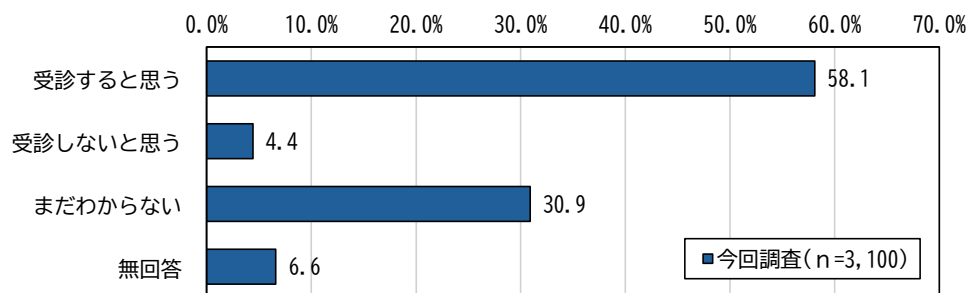
第2章 調査結果

(3) もし認知症かもしれないと思ったら医療機関を受診するか

問9(3) もしあなたが、自分のことを「認知症かもしれない」と思ったり、周りの人から受診を勧められたりしたら、医療機関を受診すると思いますか(1つに○)

- もし認知症かもしれないと思ったら医療機関を受診するかについて、「受診すると思う」の割合が58.1%となっています。一方、30.9%の人が「まだわからない」と回答しています。
- 日常生活圏域別にみると、「受診すると思う」の割合は“上陽地区”(52.1%)、“黒木地区”(54.3%)が他の圏域に比べて低くなっています。

図表8-2 もし認知症かもしれないと思ったら医療機関を受診するか



図表8-3 日常生活圏域別 もし認知症かもしれないと思ったら医療機関を受診するか

単位：%

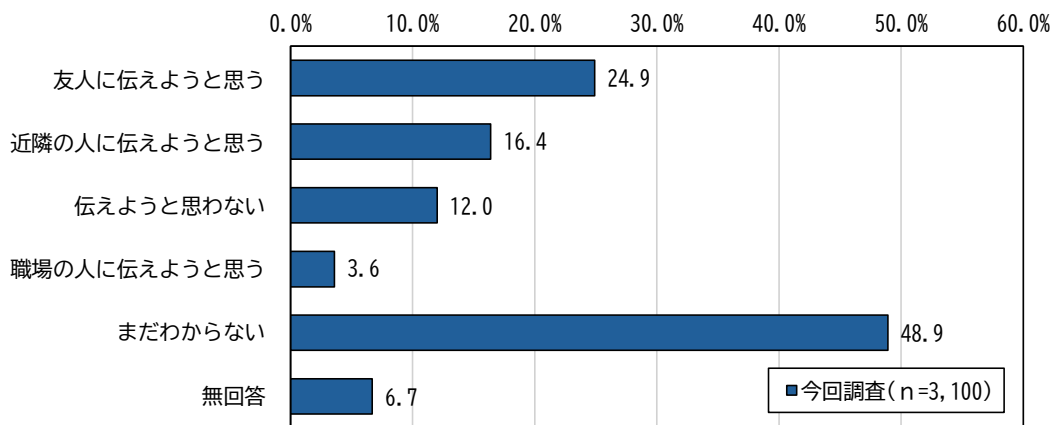
		調査数	う受診すると思	思受診しないと	いまだわからない	無回答
全 体		3,100	58.1	4.4	30.9	6.6
日常生活圏域	八女地区	1,677	59.5	4.7	30.4	5.4
	上陽地区	140	52.1	5.0	34.3	8.6
	黒木地区	602	54.3	3.8	34.1	7.8
	立花地区	478	58.2	5.0	28.5	8.4
	星野地区	150	62.0	1.3	30.0	6.7
	矢部地区	50	62.0	4.0	28.0	6.0

(4) もし認知症になったら家族以外の人に伝えるか

問9(4) もしあなたが、認知症になったとしたら、家族以外の人に認知症であることを伝えようと思いますか(いくつでも)

- もし認知症になったら家族以外の人に伝えるかについて、「まだわからない」が48.9%で最も高く、次いで「友人に伝えようと思う」(24.9%)、「近隣の人に伝えようと思う」(16.4%)の順となっています。
- 性別にみると、「伝えようと思わない」の割合は“男性”(15.6%)が“女性”(9.4%)に比べて6.2ポイント高くなっています。
- 日常生活圏域別にみると、「近隣の人に伝えようと思う」の割合は“矢部地区”(26.0%)、“星野地区”(25.3%)が2割半ばとなり、他の圏域に比べて高くなっています。一方「伝えようと思わない」の割合は“上陽地区”(12.9%)、“八女地区”(12.6%)、“黒木地区”(12.1%)、“立花地区”(12.1%)が1割強となり、他の2地区に比べて高くなっています。

図表84 もし認知症になったら家族以外の人に伝えるか



図表85 性別、日常生活圏域別 もし認知症になったら家族以外の人に伝えるか

単位：％

		調査数	友人に伝えよう	近隣の人に伝えよう	職場の人に伝えよう	伝えようと思わない	まだわからない	無回答
全 体		3,100	24.9	16.4	3.6	12.0	48.9	6.7
性別	男性	1,272	19.8	13.4	4.3	15.6	50.6	6.9
	女性	1,825	28.4	18.5	3.1	9.4	47.7	6.5
日常生活圏域	八女地区	1,677	26.5	14.8	3.8	12.6	49.1	5.5
	上陽地区	140	17.9	14.3	3.6	12.9	52.1	7.9
	黒木地区	602	21.3	18.8	3.0	12.1	49.8	8.1
	立花地区	478	24.9	15.9	3.1	12.1	47.7	8.2
	星野地区	150	27.3	25.3	4.0	6.0	44.7	7.3
	矢部地区	50	26.0	26.0	6.0	2.0	44.0	10.0

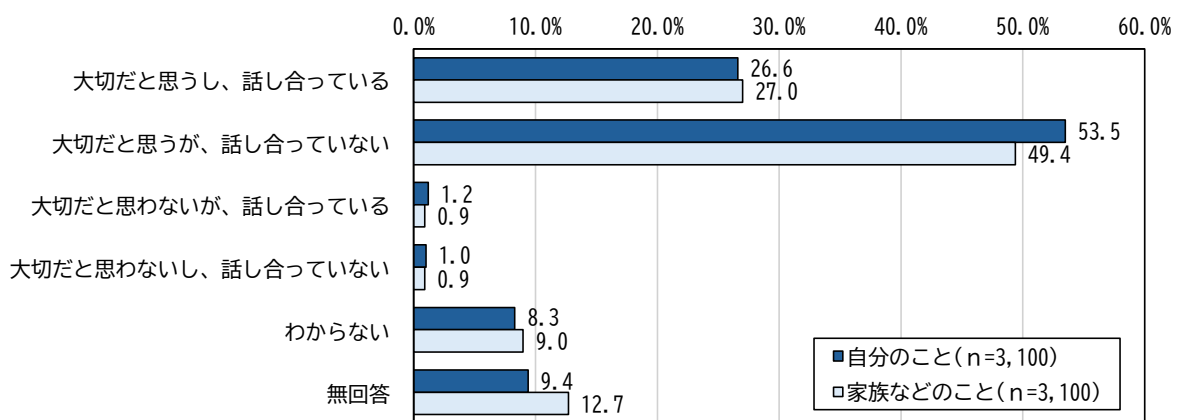
第2章 調査結果

(5) もしもの時のことを家族等と話す事は大切と思うか

問9(5) 自らの考えや想いを伝えられなくなったときに備えて、「大切にしていること」や「望む医療やケア(介護など)」について、エンディングノートなどに記録したり、家族や大切な人と話し合っておいたりすることは大切だと思いますか(【自分のこと】、【家族などのこと】それぞれ1つに○)

○自らの考えや想いを伝えられなくなったときに備えて、家族や大切な人と話し合っておいたりすることは大切かについて、【自分のこと】と【家族などのこと】ともに、「大切だと思うが、話し合っていない」の割合が最も高く、5割前後となっています。

図表86 もしもの時のことを家族等と話す事は大切と思うか



○日常生活圏域別にみると、【自分のこと】では「大切だと思うし、話し合っている」の割合が、“上陽地区”と“矢部地区”（ともに30.0%）で最も高くなっています。【家族などのこと】では「大切だと思うし、話し合っている」の割合が、“矢部地区”（34.0%）で最も高く、次いで“上陽地区”（31.4%）の順となっています。

図表87 日常生活圏域別 もしもの時のことを家族等と話す事は大切と思うか
【自分のこと】

単位：％

	調査数	てし大 いる話だ しと思 つう	てが大 い、切 な話だ いしと 合思 つう	合な大 ついで が、と る話し わ	合な大 ついで が、と る話し わ	わ か ら な い	無 回 答
全 体	3,100	26.6	53.5	1.2	1.0	8.3	9.4
日常生活圏域	八女地区	1,677	26.4	53.8	1.4	1.0	9.3
	上陽地区	140	30.0	48.6	0.7	-	10.0
	黒木地区	602	28.2	51.5	0.8	1.8	9.0
	立花地区	478	24.9	53.6	1.5	0.8	9.8
	星野地区	150	24.0	62.0	0.7	0.7	8.7
	矢部地区	50	30.0	54.0	-	-	12.0

図表88 日常生活圏域別 もしもの時のことを家族等と話す事は大切と思うか
【家族などのこと】

単位：％

	調査数	てし大 いる話だ しと思 つう	てが大 い、切 な話だ いしと 合思 つう	合な大 ついで が、と る話し わ	合な大 ついで が、と る話し わ	わ か ら な い	無 回 答
全 体	3,100	27.0	49.4	0.9	0.9	9.0	12.7
日常生活圏域	八女地区	1,677	26.8	49.7	1.2	0.7	12.5
	上陽地区	140	31.4	47.1	0.7	-	11.4
	黒木地区	602	28.1	47.7	0.8	1.8	12.8
	立花地区	478	24.5	50.6	0.4	0.6	13.4
	星野地区	150	27.3	52.0	0.7	1.3	12.7
	矢部地区	50	34.0	46.0	-	-	16.0

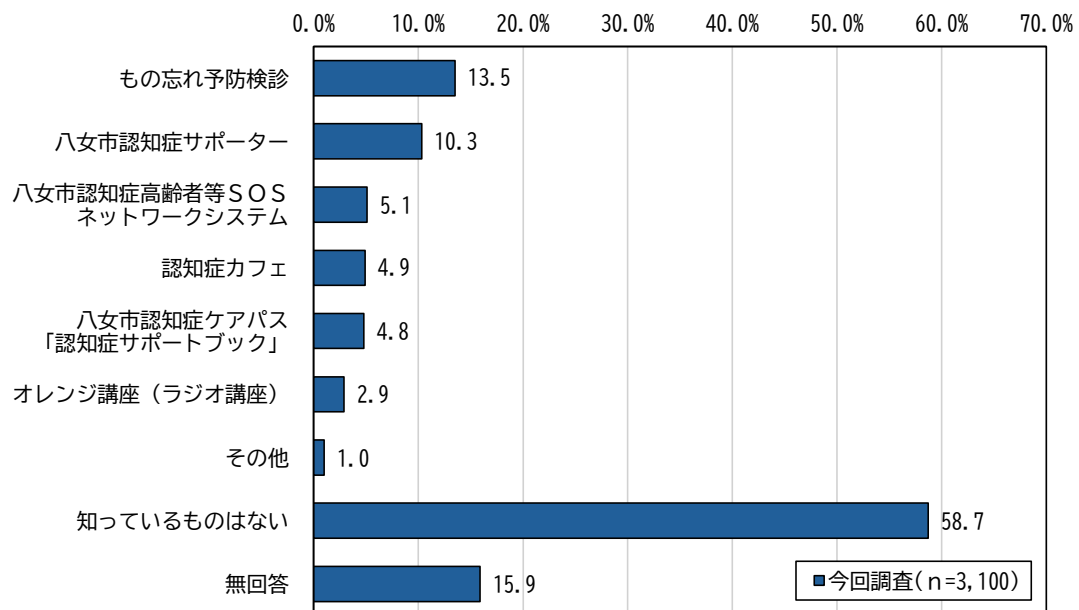
第2章 調査結果

(6) 八女市が実施する認知症に関する取り組みで知っているもの

問9(6) 八女市が実施する認知症に関する取り組みについて、以下の中から、知っているもの、聞いたことがあるものを教えてください(いくつでも)

○八女市が実施する認知症に関する取り組みで知っているものは、「知っているものはない」が58.7%で最も高く、次いで「もの忘れ予防検診」(13.5%)、「八女市認知症サポーター」(10.3%)の順となっています。

図表89 八女市が実施する認知症に関する取り組みで知っているもの



- 性別にみると、“男性”では「知っているものはない」(66.0%)の割合が“女性”に比べて高くなっています。“女性”では「もの忘れ予防検診」(18.0%)の割合が“男性”に比べて高くなっています。
- 年齢別にみると、“前期高齢者”では「八女市認知症サポーター」(14.0%)の割合が“後期高齢者”に比べて高くなっています。
- 日常生活圏域別にみると、“矢部地区”では「もの忘れ予防検診」(30.0%)、「八女市認知症サポーター」(26.0%)、「八女市認知症ケアパス「認知症サポートブック」」(18.0%)、「八女市認知症高齢者等SOSネットワークシステム」(14.0%)の割合が他の圏域に比べて高くなっています。一方、「知っているものはない」の割合は“八女地区”(62.5%)、“立花地区”(60.5%)が他の圏域に比べて高くなっています。

図表90 性別、年齢、日常生活圏域別
八女市が実施する認知症に関する取り組みで知っているもの

単位：％

		調査数	システム 認知症サ ポーター	八女市 認知症サ ポーター	八女市 認知症サ ポーター	もの忘れ 予防検診	オレンジ 講座	認知症カ フェ	その他	は知っ ている もの ない	無回 答
全 体		3,100	5.1	4.8	10.3	13.5	2.9	4.9	1.0	58.7	15.9
性 別	男性	1,272	3.9	3.0	7.9	7.0	1.9	2.4	0.9	66.0	15.6
	女性	1,825	5.9	6.0	12.0	18.0	3.6	6.6	1.0	53.6	16.2
年 齢	前期高齢者	1,237	7.0	5.7	14.0	15.1	4.5	7.6	0.6	61.3	9.5
	後期高齢者	1,860	3.8	4.2	7.8	12.4	1.8	3.1	1.2	57.0	20.2
日 常 生 活 圏 域	八女地区	1,677	4.4	4.3	9.2	11.3	2.1	4.3	0.8	62.5	15.1
	上陽地区	140	6.4	5.7	10.0	10.0	5.0	5.0	1.4	54.3	19.3
	黒木地区	602	6.1	4.8	12.5	16.4	3.5	6.1	1.5	54.0	16.6
	立花地区	478	4.4	4.4	7.9	14.2	3.1	4.0	0.6	60.5	16.1
	星野地区	150	6.7	6.0	16.7	22.0	5.3	8.7	2.0	44.0	17.3
	矢部地区	50	14.0	18.0	26.0	30.0	6.0	6.0	-	30.0	20.0

第2章 調査結果

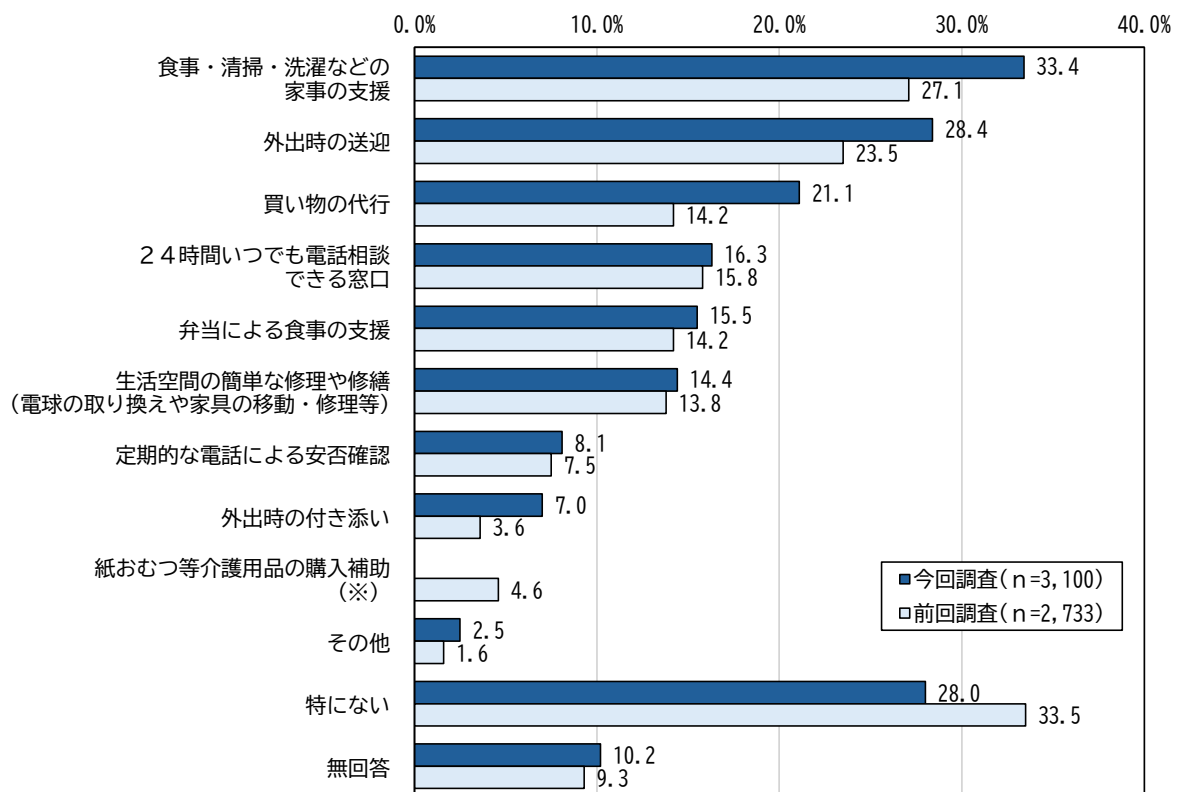
1.1. 生活支援サービスについて

(1) 在宅で生活する為に必要な生活支援サービス

問10(1) あなたが、在宅で生活続けるために必要と思われる生活支援サービスは何ですか(○は3つまで)

- 必要な生活支援サービスは、「食事・清掃・洗濯などの家事の支援」が33.4%で最も高く、次いで「外出時の送迎」(28.4%)、「特にない」(28.0%)の順となっています。
- 前回調査に比べ、「特にない」以外のすべての項目で割合が増加しており、特に「買い物の代行」は6.9ポイントの差があります。

図表9-1 在宅で生活する為に必要な生活支援サービス



(※)前回調査のみにある選択肢

- 性別にみると、“男性”では「特にない」(33.0%)の割合が“女性”に比べて高くなっています。“女性”では「外出時の送迎」(32.4%)、「生活空間の簡単な修理や修繕(電球の取り換えや家具の移動・修理等)」(17.6%)の割合が“男性”に比べて高くなっています。
- 年齢別にみると、“前期高齢者”では「食事・清掃・洗濯などの家事の支援」(36.7%)の割合が“後期高齢者”に比べて高くなっています。
- 要介護度別にみると、“事業対象者”では「生活空間の簡単な修理や修繕(電球の取り換えや家具の移動・修理等)」(25.3%)、“要支援1・2”では「食事・清掃・洗濯などの家事の支援」(36.6%)、「弁当による食事の支援」(20.3%)、“認定なし”では「24時間いつでも電話相談できる窓口」(17.8%)の割合が他の介護度に比べて高くなっています。
- 日常生活圏域別にみると、“矢部地区”では「生活空間の簡単な修理や修繕(電球の取り換えや家具の移動・修理等)」(22.0%)、「外出時の付き添い」(16.0%)の割合が他の圏域に比べて高くなっています。

図表92 性別、年齢、要介護度、日常生活圏域別
在宅で生活する為に必要な生活支援サービス

単位：%

		調査数	家事・清掃・洗濯などの支援	電話24時間いつでも相談できる窓口	買い物の代行	生活空間の簡単な修理や修繕（電球の取り換えや家具の移動・修理等）	外出時の送迎	外出時の付き添い	定期的な電話による安否確認	弁当による食事の支援	その他	特にない	無回答
全 体		3,100	33.4	16.3	21.1	14.4	28.4	7.0	8.1	15.5	2.5	28.0	10.2
性別	男性	1,272	35.3	15.3	18.2	9.9	22.6	6.3	7.5	16.4	1.7	33.0	10.7
	女性	1,825	32.1	17.0	23.1	17.6	32.4	7.5	8.4	15.0	3.1	24.6	9.9
年齢	前期高齢者	1,237	36.7	18.5	21.3	15.3	27.4	5.2	9.0	15.0	2.2	32.4	6.5
	後期高齢者	1,860	31.2	14.8	20.9	13.9	29.1	8.2	7.5	15.9	2.7	25.2	12.6
要介護度	認定なし	2,461	32.8	17.8	20.2	13.8	26.9	4.7	8.4	14.5	2.5	30.9	9.3
	事業対象者	79	31.6	8.9	26.6	25.3	34.2	13.9	11.4	15.2	1.3	15.2	13.9
	要支援1・2	557	36.6	11.0	23.9	15.6	34.1	16.3	6.1	20.3	2.9	17.2	13.8
日常生活圏域	八女地区	1,677	33.0	15.7	21.2	14.5	26.2	7.0	7.6	14.8	2.5	29.3	10.1
	上陽地区	140	32.1	12.1	20.7	8.6	27.1	5.0	9.3	16.4	2.9	29.3	12.9
	黒木地区	602	35.2	16.8	22.9	14.5	30.7	6.3	8.5	15.1	3.0	26.7	9.0
	立花地区	478	34.3	19.2	18.0	14.6	32.4	7.7	9.2	18.0	1.5	25.5	11.1
	星野地区	150	32.7	16.0	23.3	15.3	30.7	6.7	8.0	17.3	3.3	24.7	10.7
	矢部地区	50	24.0	16.0	18.0	22.0	32.0	16.0	6.0	12.0	4.0	32.0	10.0

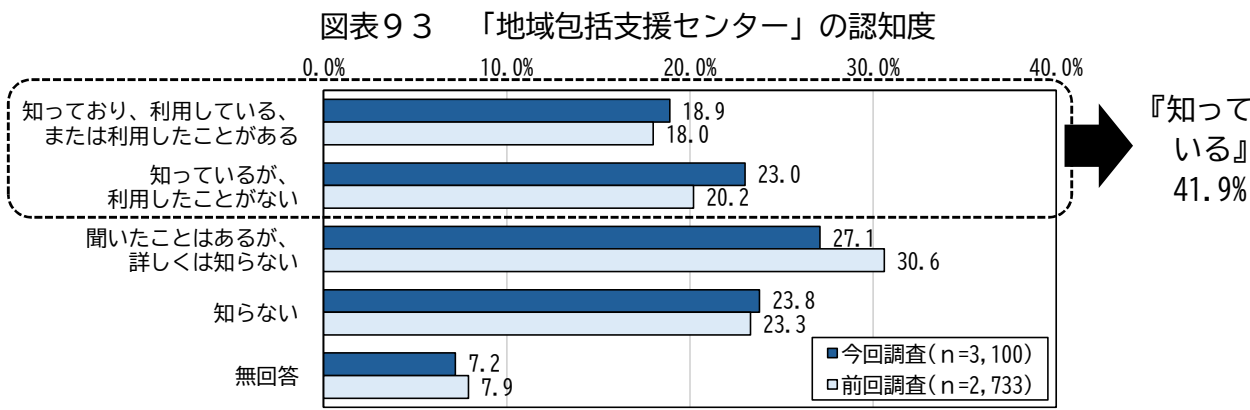
第2章 調査結果

1 2. 相談機関について

(1) 「地域包括支援センター」の認知度

問11(1) 「地域包括支援センター」を知っていますか(1つに○)

- 地域包括支援センターの認知度は、「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」が27.1%で最も高くなっています。なお、「知っており、利用している、または利用したことがある」及び「知っているが、利用したことがない」を合わせた『知っている』は41.9%となっています。
- 性別にみると、「知らない」の割合は“男性”(32.2%)が“女性”(17.9%)に比べて14.3ポイント高く、「知っており、利用している、または利用したことがある」の割合は“女性”(23.7%)が“男性”(12.1%)に比べて11.6ポイント高くなっています。
- 要介護度別にみると、“認定なし”では「知らない」(27.1%)の割合が他の介護度に比べて高くなっています。
- 日常生活圏域別にみると、『知っている』の割合は“星野地区”と“矢部地区”(ともに62.0%)が他の圏域に比べて高くなっています。



図表9 4 性別、要介護度、日常生活圏域別 「地域包括支援センター」の認知度

単位：％

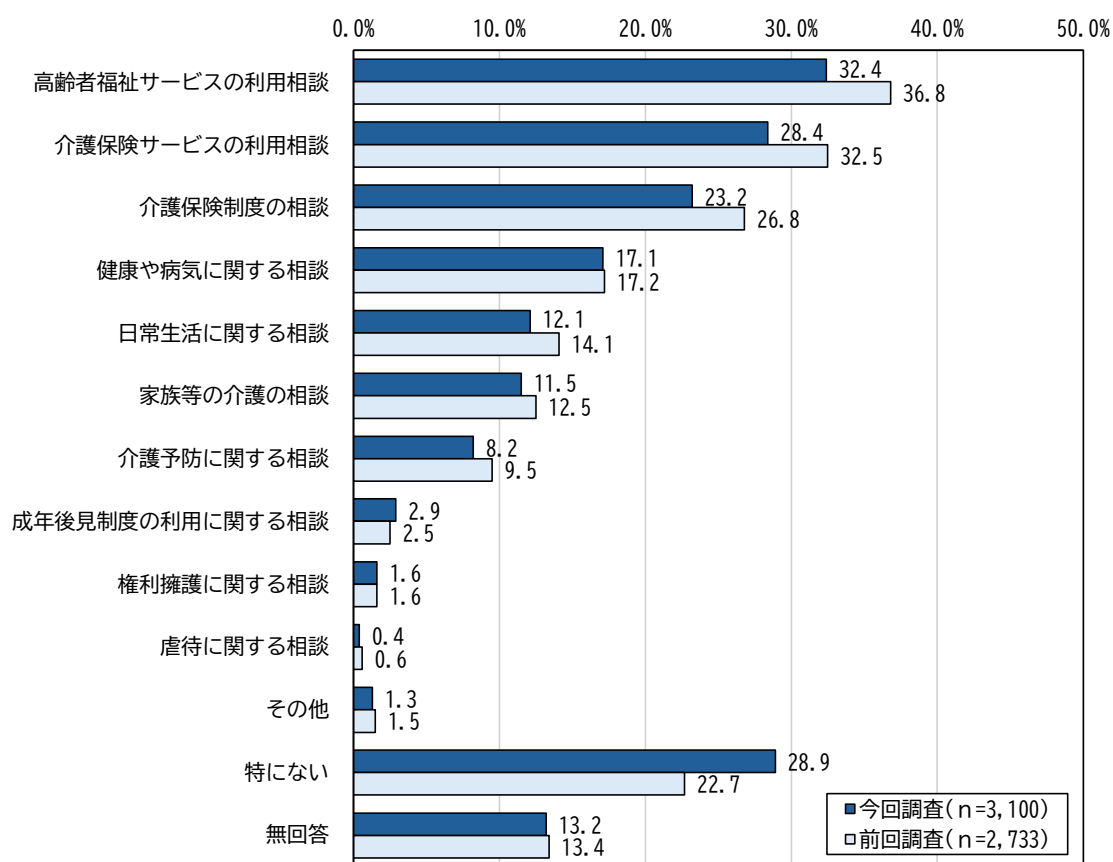
	調査数	知っており、利用している、または利用したことがある	知っているが、利用したことがない	聞いたことはあるが、詳しくは知らない	知らない	無回答	『知っている』
全 体	3,100	18.9	23.0	27.1	23.8	7.2	41.9
性別							
男性	1,272	12.1	20.8	27.5	32.2	7.4	32.9
女性	1,825	23.7	24.5	26.9	17.9	7.0	48.2
要介護度							
認定なし	2,461	8.5	27.0	30.9	27.1	6.4	35.5
事業対象者	79	58.2	16.5	13.9	3.8	7.6	74.7
要支援1・2	557	59.2	6.1	12.6	11.8	10.2	65.3
日常生活圏域							
八女地区	1,677	18.5	21.6	27.5	26.4	6.0	40.1
上陽地区	140	12.9	27.1	29.3	22.9	7.9	40.0
黒木地区	602	17.6	25.6	27.7	20.4	8.6	43.2
立花地区	478	21.1	17.6	27.4	25.5	8.4	38.7
星野地区	150	28.0	34.0	21.3	10.0	6.7	62.0
矢部地区	50	18.0	44.0	18.0	6.0	14.0	62.0

(2) 「地域包括支援センター」で相談したいこと

問1 1(2) 「地域包括支援センター」では、高齢者に対する総合的な相談を受け付けています。どのような相談をしてみたいと思いますか(いくつでも)

- 地域包括支援センターで相談したいことは、「高齢者福祉サービスの利用相談」が32.4%で最も高く、次いで「特にない」(28.9%)、「介護保険サービスの利用相談」(28.4%)の順となっています。
- 前回調査に比べ、ほとんどの項目で割合が減少している一方、「特にない」は6.2ポイント増加しています。

図表9 5 「地域包括支援センター」で相談したいこと



第2章 調査結果

- 性別にみると“女性”では「高齢者福祉サービスの利用相談」(34.7%)、「介護保険サービスの利用相談」(30.4%)の割合が“男性”に比べて高くなっています。
- 要介護度別にみると、“事業対象者”では「高齢者福祉サービスの利用相談」(41.8%)、「健康や病気に関する相談」(24.1%)、“要支援1・2”では「日常生活に関する相談」(16.7%)の割合が他の介護度に比べて高くなっています。

図表96 性別、年齢、要介護度、日常生活圏域別
「地域包括支援センター」で相談したいこと

単位：％

	調査数	の介護保険制度	利用高齢者福祉サービスの相談	介護保険サービスの利用相談	健康や病気に関する相談	介護予防相談	日常生活に関する相談	権利擁護に関する相談
全 体	3,100	23.2	32.4	28.4	17.1	8.2	12.1	1.6
性別								
男性	1,272	22.7	29.0	25.4	17.8	7.5	12.4	2.1
女性	1,825	23.6	34.7	30.4	16.6	8.7	11.9	1.3
年齢								
前期高齢者	1,237	23.9	31.4	28.5	16.2	6.4	11.5	1.9
後期高齢者	1,860	22.7	33.0	28.3	17.7	9.4	12.6	1.5
要介護度								
認定なし	2,461	23.5	31.5	28.0	16.4	8.0	11.2	1.6
事業対象者	79	19.0	41.8	24.1	24.1	10.1	10.1	1.3
要支援1・2	557	22.4	34.8	30.5	19.2	8.6	16.7	1.6
日常生活圏域								
八女地区	1,677	23.0	32.4	28.2	17.1	8.4	12.3	1.7
上陽地区	140	18.6	27.9	19.3	15.7	5.0	12.9	0.7
黒木地区	602	23.6	32.4	30.4	17.4	7.5	11.6	1.3
立花地区	478	23.6	34.5	28.2	16.5	8.8	11.5	1.5
星野地区	150	26.0	32.7	30.7	19.3	10.0	12.7	4.0
矢部地区	50	26.0	24.0	28.0	16.0	8.0	14.0	-

	調査数	成年利用後見制度に関する相談	虐待に関する相談	家族等の介護相談	その他	特にない	無回答
全 体	3,100	2.9	0.4	11.5	1.3	28.9	13.2
性別							
男性	1,272	3.8	0.2	10.4	1.4	33.9	10.5
女性	1,825	2.3	0.6	12.3	1.3	25.5	15.0
年齢							
前期高齢者	1,237	3.8	0.4	14.6	1.2	35.2	7.8
後期高齢者	1,860	2.3	0.4	9.5	1.4	24.7	16.7
要介護度							
認定なし	2,461	2.9	0.3	12.4	1.4	31.9	11.7
事業対象者	79	2.5	-	8.9	-	13.9	20.3
要支援1・2	557	2.9	1.1	8.1	1.3	18.1	18.5
日常生活圏域							
八女地区	1,677	3.0	0.4	11.9	1.6	29.9	12.1
上陽地区	140	2.1	-	10.0	1.4	38.6	13.6
黒木地区	602	3.3	0.3	10.1	1.0	26.9	14.0
立花地区	478	2.3	0.8	11.7	0.8	26.4	15.1
星野地区	150	4.0	0.7	12.7	2.0	26.0	14.0
矢部地区	50	-	-	14.0	-	26.0	16.0

第3章 生活機能評価

1. 生活機能

(1) 運動器機能の低下

■次の設問で3項目以上、該当する選択肢が回答された場合

問番号	設問	選択肢
問2(1)	階段	「3.できない」
問2(2)	椅子からの立ち上がり	「3.できない」
問2(3)	15分歩行	「3.できない」
問2(4)	過去1年間の転倒経験	「1.何度もある」「2.1度ある」
問2(5)	転倒不安	「1.とても不安である」「2.やや不安である」

○運動器機能の低下の「該当」の割合は23.6%となっています。

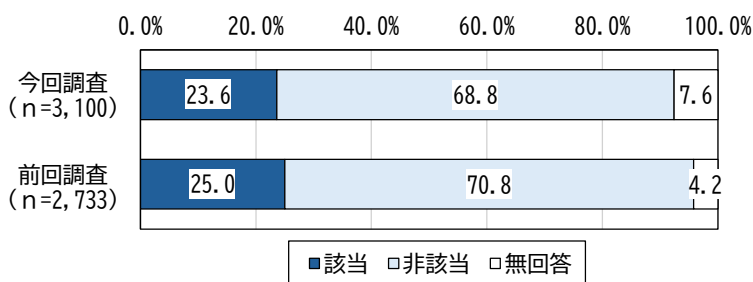
○性別にみると、「該当」の割合は“女性”(28.0%)が“男性”(17.3%)に比べて10.7ポイント高くなっています。

○年齢別にみると、「該当」の割合は“後期高齢者”(33.1%)が“前期高齢者”(9.4%)に比べて23.7ポイント高くなっています。

○要介護度別にみると、「該当」の割合は要介護度が上がるにつれて高くなり、“要支援1・2”(64.1%)では6割半ばとなっています。

○日常生活圏域別にみると、「該当」の割合は“立花地区”(27.6%)が他の圏域に比べて高くなっています。

図表97 運動器機能低下



図表98 性別、年齢、要介護度、日常生活圏域別 運動器機能低下

		調査数	該当 (3点以上)	非該当	無回答
全体		3,100	23.6	68.8	7.6
性別	男性	1,272	17.3	76.1	6.6
	女性	1,825	28.0	63.7	8.3
年齢	前期高齢者	1,237	9.4	86.8	3.8
	後期高齢者	1,860	33.1	56.8	10.1
要介護度	認定なし	2,461	14.0	79.7	6.3
	事業対象者	79	38.0	49.4	12.7
	要支援1・2	557	64.1	23.3	12.6
日常生活圏域	八女地区	1,677	23.7	69.6	6.7
	上陽地区	140	18.6	73.6	7.9
	黒木地区	602	21.8	68.1	10.1
	立花地区	478	27.6	63.8	8.6
	星野地区	150	24.0	72.0	4.0
	矢部地区	50	16.0	76.0	8.0

第3章 生活機能評価

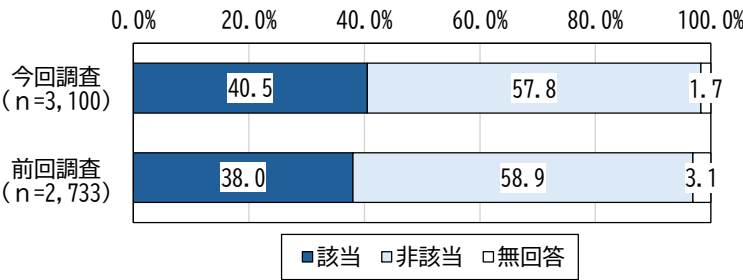
(2) 転倒リスク

■次の設問で該当する選択肢が回答された場合

問番号	設問	選択肢
問2(4)	過去1年間の転倒経験	「1. 何度もある」「2. 1度ある」

- 転倒リスクの「該当」の割合は40.5%となっています。
- 年齢別にみると、「該当」の割合は“後期高齢者”(47.5%)が“前期高齢者”(29.9%)に比べて17.6ポイント高くなっています。
- 要介護度別にみると、「該当」の割合は“要支援1・2”(60.3%)、“事業対象者”(57.0%)が6割弱～6割となり、“認定なし”(35.4%)に比べて高くなっています。
- 日常生活圏域別にみると、「該当」の割合は“矢部地区”(46.0%)、“立花地区”(45.0%)が4割半ばとなり、他の圏域に比べて高くなっています。

図表99 転倒リスク



図表100 性別、年齢、要介護度、日常生活圏域別 転倒リスク

		単位：%			
		調査数	該当	非該当	無回答
全 体		3,100	40.5	57.8	1.7
性別	男性	1,272	38.4	59.7	1.9
	女性	1,825	41.9	56.5	1.6
年齢	前期高齢者	1,237	29.9	68.9	1.2
	後期高齢者	1,860	47.5	50.4	2.1
要介護度	認定なし	2,461	35.4	63.1	1.5
	事業対象者	79	57.0	43.0	-
	要支援1・2	557	60.3	36.4	3.2
日常生活圏域	八女地区	1,677	39.5	59.1	1.4
	上陽地区	140	40.0	59.3	0.7
	黒木地区	602	39.0	59.0	2.0
	立花地区	478	45.0	51.9	3.1
	星野地区	150	41.3	58.0	0.7
	矢部地区	50	46.0	52.0	2.0

(3) 閉じこもり傾向

■次の設問で該当する選択肢が回答された場合

問番号	設問	選択肢
問2(6)	週の外出回数	「1.ほとんど外出しない」「2.週1回」

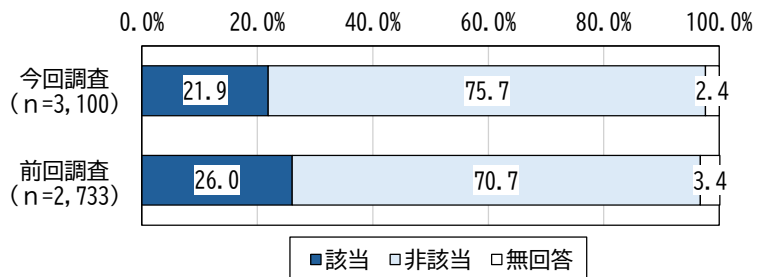
○閉じこもり傾向の「該当」の割合は21.9%となっています。

○年齢別にみると、「該当」の割合は“後期高齢者”(28.3%)が“前期高齢者”(12.4%)に比べて15.9ポイント高くなっています。

○要介護度別にみると、「該当」の割合は要介護度が上がるにつれて高くなり、“要支援1・2”(41.5%)では4割となっています。

○日常生活圏域別にみると、「該当」の割合は“星野地区”(38.0%)、“矢部地区”(34.0%)が3割半ば～4割弱となり、他の圏域に比べて高くなっています。

図表101 閉じこもり傾向



図表102 性別、年齢、要介護度、日常生活圏域別 閉じこもり傾向

単位：%

		調査数	該当	非該当	無回答
全 体		3,100	21.9	75.7	2.4
性 別	男性	1,272	19.0	78.9	2.1
	女性	1,825	23.9	73.5	2.6
年 齢	前期高齢者	1,237	12.4	86.7	0.9
	後期高齢者	1,860	28.3	68.3	3.4
要 介 護 度	認定なし	2,461	17.3	80.9	1.8
	事業対象者	79	29.1	68.4	2.5
	要支援1・2	557	41.5	53.7	4.8
日 常 生 活 圏 域	八女地区	1,677	18.7	78.8	2.4
	上陽地区	140	22.9	74.3	2.9
	黒木地区	602	23.3	75.4	1.3
	立花地区	478	24.9	71.5	3.6
	星野地区	150	38.0	60.7	1.3
	矢部地区	50	34.0	62.0	4.0

第3章 生活機能評価

(4) 低栄養

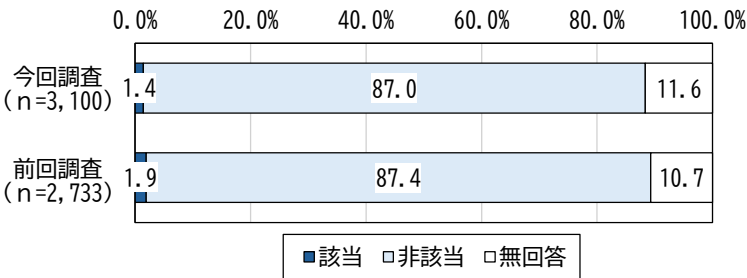
■次の設問で2問ともに該当する場合

問番号	設問	選択肢
問3(1)	身長・体重	() cm () kg BMI〔体重(kg)÷(身長(m)×身長(m))〕が18.5 以下の場合
問3(7)	6か月間での体重減少	「1.はい」

○低栄養の「該当」の割合は1.4%となっており、非常に低い結果となっています。

○基本属性別にみても、「該当」の割合はいずれも3.0%以下の低い結果となっています。

図表103 低栄養



図表104 性別、年齢、要介護度、日常生活圏域別 低栄養

		単位：%			
		調査数	該当	非該当	無回答
全 体		3,100	1.4	87.0	11.6
性 別	男性	1,272	1.3	88.6	10.1
	女性	1,825	1.5	85.9	12.5
年 齢	前期高齢者	1,237	0.8	93.5	5.7
	後期高齢者	1,860	1.8	82.7	15.5
要介護度	認定なし	2,461	1.2	90.0	8.9
	事業対象者	79	-	89.9	10.1
	要支援1・2	557	2.7	73.6	23.7
日常生活圏域	八女地区	1,677	1.7	87.4	10.9
	上陽地区	140	2.1	85.7	12.1
	黒木地区	602	1.5	85.4	13.1
	立花地区	478	0.6	87.4	11.9
	星野地区	150	-	89.3	10.7
	矢部地区	50	2.0	86.0	12.0

(5) 口腔機能低下

■次の設問で2問に該当する場合

問番号	設問	選択肢
問3(2)	固いものの食べにくさ	「1. はい」
問3(3)	お茶や汁物でむせる	「1. はい」
問3(4)	口の渇き	「1. はい」

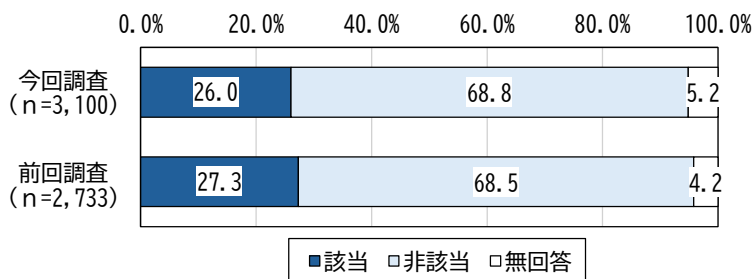
○口腔機能低下の「該当」の割合は26.0%となっています。

○年齢別にみると、「該当」の割合は“後期高齢者”(32.0%)が“前期高齢者”(17.1%)に比べて14.9ポイント高くなっています。

○要介護度別にみると、「該当」の割合は“要支援1・2”(43.6%)、“事業対象者”(41.8%)が4割～4割強となり、“認定なし”(21.5%)に比べて高くなっています。

○日常生活圏域別にみると、「該当」の割合は“八女地区”と“矢部地区”(ともに28.0%)が3割弱となり、最も高くなっています。

図表105 口腔機能低下



図表106 性別、年齢、要介護度、日常生活圏域別 口腔機能低下

単位：%

		調査数	該当 (2点以上)	非該当	無回答
全 体		3,100	26.0	68.8	5.2
性 別	男性	1,272	24.6	70.8	4.6
	女性	1,825	27.0	67.5	5.5
年 齢	前期高齢者	1,237	17.1	79.6	3.3
	後期高齢者	1,860	32.0	61.7	6.3
要 介 護 度	認定なし	2,461	21.5	74.7	3.7
	事業対象者	79	41.8	54.4	3.8
	要支援1・2	557	43.6	44.9	11.5
日 常 生 活 圏 域	八女地区	1,677	28.0	66.9	5.1
	上陽地区	140	17.9	78.6	3.6
	黒木地区	602	23.9	71.3	4.8
	立花地区	478	25.3	69.0	5.6
	星野地区	150	21.3	74.0	4.7
	矢部地区	50	28.0	60.0	12.0

第3章 生活機能評価

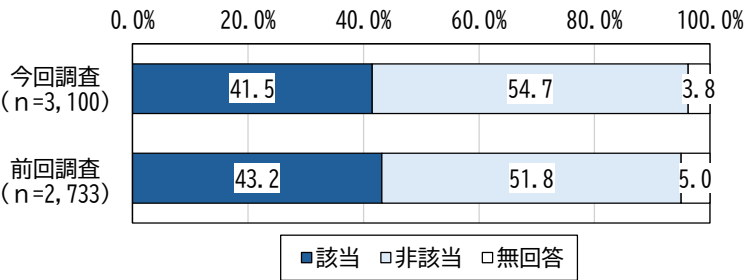
(6) 認知機能の低下

■次の設問で該当する選択肢が回答された場合

問番号	設問	選択肢
問4(1)	物忘れ	「1. はい」
問4(2)	電話をかけられる	「2. いいえ」
問4(3)	日にちがわからない	「1. はい」

- 認知機能の低下の「該当」の割合は41.5%となっています。
- 年齢別にみると、「該当」は“後期高齢者”(46.9%)が“前期高齢者”(33.4%)に比べて13.5ポイント高くなっています。
- 要介護度別にみると、「該当」の割合は“要支援1・2”(55.5%)、“事業対象者”(54.4%)が5割半ばとなり、“認定なし”(38.0%)に比べて高くなっています。
- 日常生活圏域別にみると、“上陽地区”では「該当」(35.0%)が他の圏域に比べて低くなっています。

図表107 認知機能の低下



図表108 性別、年齢、要介護度、日常生活圏域別 認知機能の低下

		単位：%			
		調査数	該当	非該当	無回答
全 体		3,100	41.5	54.7	3.8
性別	男性	1,272	41.5	54.7	3.8
	女性	1,825	41.5	54.6	3.8
年齢	前期高齢者	1,237	33.4	64.8	1.9
	後期高齢者	1,860	46.9	48.0	5.1
要介護度	認定なし	2,461	38.0	58.5	3.6
	事業対象者	79	54.4	43.0	2.5
	要支援1・2	557	55.5	39.5	5.0
日常生活圏域	八女地区	1,677	41.8	54.5	3.7
	上陽地区	140	35.0	58.6	6.4
	黒木地区	602	39.2	58.1	2.7
	立花地区	478	45.6	49.4	5.0
	星野地区	150	40.0	56.0	4.0
	矢部地区	50	44.0	54.0	2.0

(7) うつ傾向

■次の設問のいずれか1問で該当する選択肢が回答された場合

問番号	設問	選択肢
問8(3)	ゆううつな気持ち	「1. はい」
問8(4)	心から楽しめない	「1. はい」

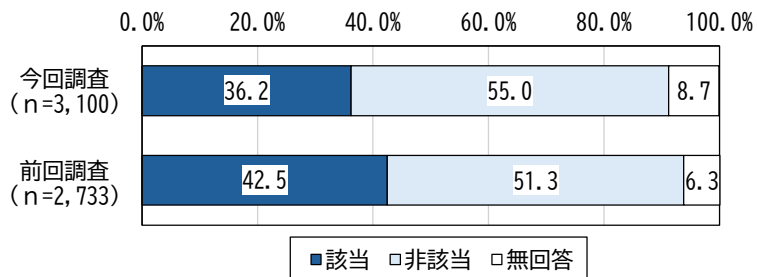
○うつ傾向の「該当」の割合は36.2%となっています。

○「該当」の割合は、前回調査に比べて6.3ポイント減少しています。

○要介護度別にみると、「該当」の割合は要介護度が上がるにつれて高くなり、“要支援1・2”(49.0%)では約5割となっています。

○日常生活圏域別にみると、“八女地区”では「該当」(39.2%)の割合が、他の圏域に比べて高くなっています。

図表109 うつ傾向



図表110 性別、年齢、要介護度、日常生活圏域別 うつ傾向

単位：%

		調査数	(該当 1点以上)	非該当	無回答
全 体		3,100	36.2	55.0	8.7
性 別	男性	1,272	34.9	56.9	8.2
	女性	1,825	37.1	53.8	9.1
年 齢	前期高齢者	1,237	35.2	59.9	4.9
	後期高齢者	1,860	36.9	51.9	11.2
要 介 護 度	認定なし	2,461	33.3	59.0	7.8
	事業対象者	79	36.7	53.2	10.1
	要支援1・2	557	49.0	38.2	12.7
日 常 生 活 圏 域	八女地区	1,677	39.2	53.5	7.3
	上陽地区	140	30.7	60.0	9.3
	黒木地区	602	31.7	57.8	10.5
	立花地区	478	35.1	54.4	10.5
	星野地区	150	30.0	59.3	10.7
	矢部地区	50	34.0	56.0	10.0

2. 老研式活動能力指標

(1) 手段的自立度 (IADL)

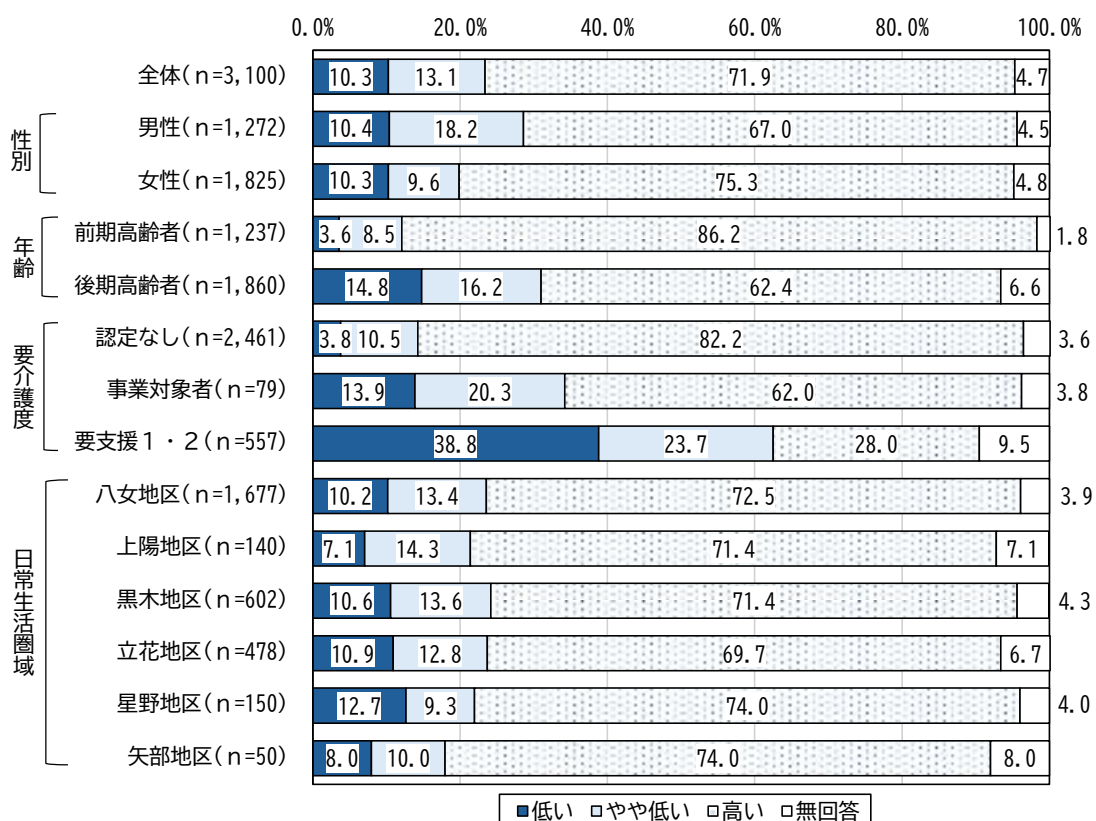
■ 次の5設問の合計点数で評価

5点：高い 4点：やや低い 0～3点：低い

問番号	設問	配点	選択肢
問4(4)	外出	1	「1.できるししている」または「2.できるけどしていない」
		0	「3.できない」
問4(5)	買物	1	「1.できるししている」または「2.できるけどしていない」
		0	「3.できない」
問4(6)	食事の用意	1	「1.できるししている」または「2.できるけどしていない」
		0	「3.できない」
問4(7)	支払い	1	「1.できるししている」または「2.できるけどしていない」
		0	「3.できない」
問4(8)	預貯金	1	「1.できるししている」または「2.できるけどしていない」
		0	「3.できない」

- 全体でみると「低い」及び「やや低い」を合わせた『低い』の割合は23.4%となっています。
- 性別にみると、『低い』の割合は“男性”(28.6%)が“女性”(19.9%)に比べて8.7ポイント高くなっています。
- 年齢別にみると、『低い』の割合は“後期高齢者”(31.0%)が“前期高齢者”(12.1%)に比べて18.9ポイント高くなっています。
- 要介護度別にみると、“要支援1・2”では『低い』(62.5%)の割合が、他の介護度に比べて高くなっています。
- 日常生活圏域別にみると、『低い』の割合は“黒木地区”(24.2%)が最も高くなっています。

図表111 性別、年齢、要介護度、日常生活圏域別 手段的自立度 (IADL)



(2) 知的能動性

■次の4設問の合計点数で評価

4点：高い 0～3点：低い

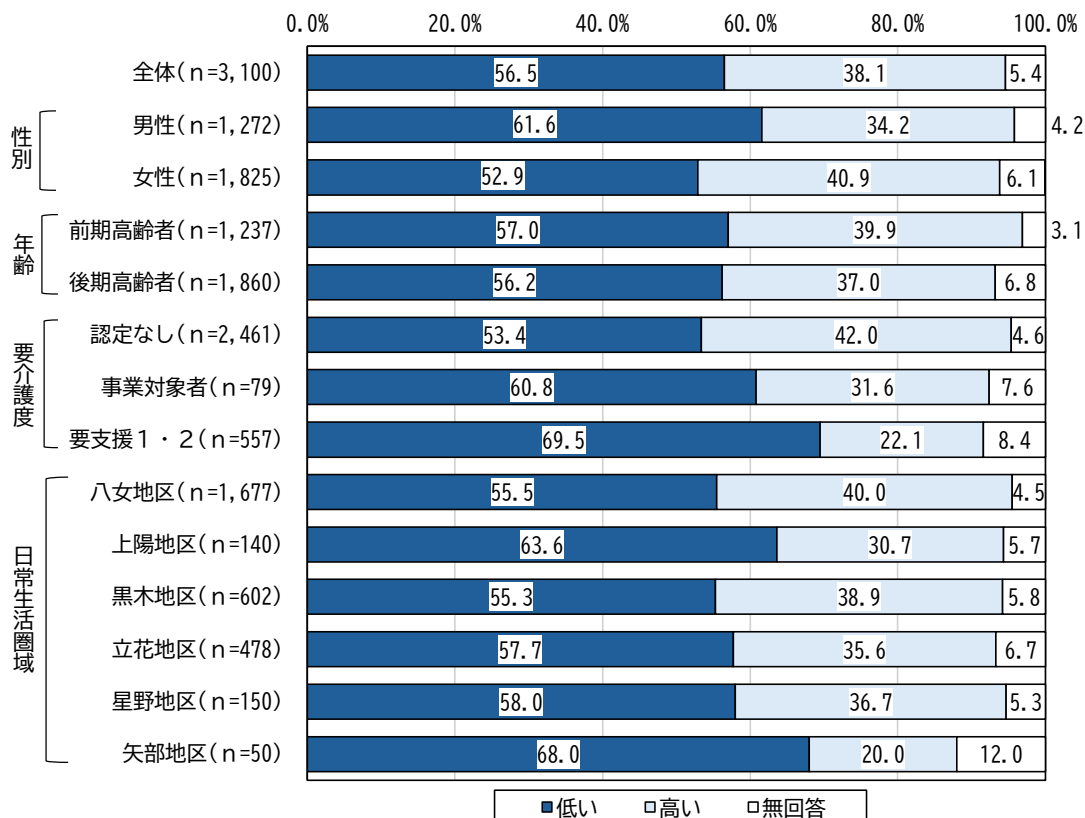
問番号	設問	配点	選択肢
問4(9)	年金書類の記入	1	「1.はい」
		0	「2.いいえ」
問4(10)	新聞を読む	1	「1.はい」
		0	「2.いいえ」
問4(11)	本や雑誌を読む	1	「1.はい」
		0	「2.いいえ」
問4(12)	健康への関心	1	「1.はい」
		0	「2.いいえ」

○全体でみると、「低い」の割合は56.5%となっています。

○要介護度別にみると、「低い」の割合は、要介護度が上がるにつれて約8ポイントずつ高くなり、“要支援1・2”(69.5%)では約7割となっています。

○日常生活圏域別にみると、「低い」の割合は“矢部地区”(68.0%)、“上陽地区”(63.6%)で6割強～7割弱となり、他の圏域に比べて高くなっています。

図表112 性別、年齢、要介護度、日常生活圏域別 知的能動性



第3章 生活機能評価

(3) 社会的役割

■次の4設問の合計点数で評価

4点：高い 0～3点：低い

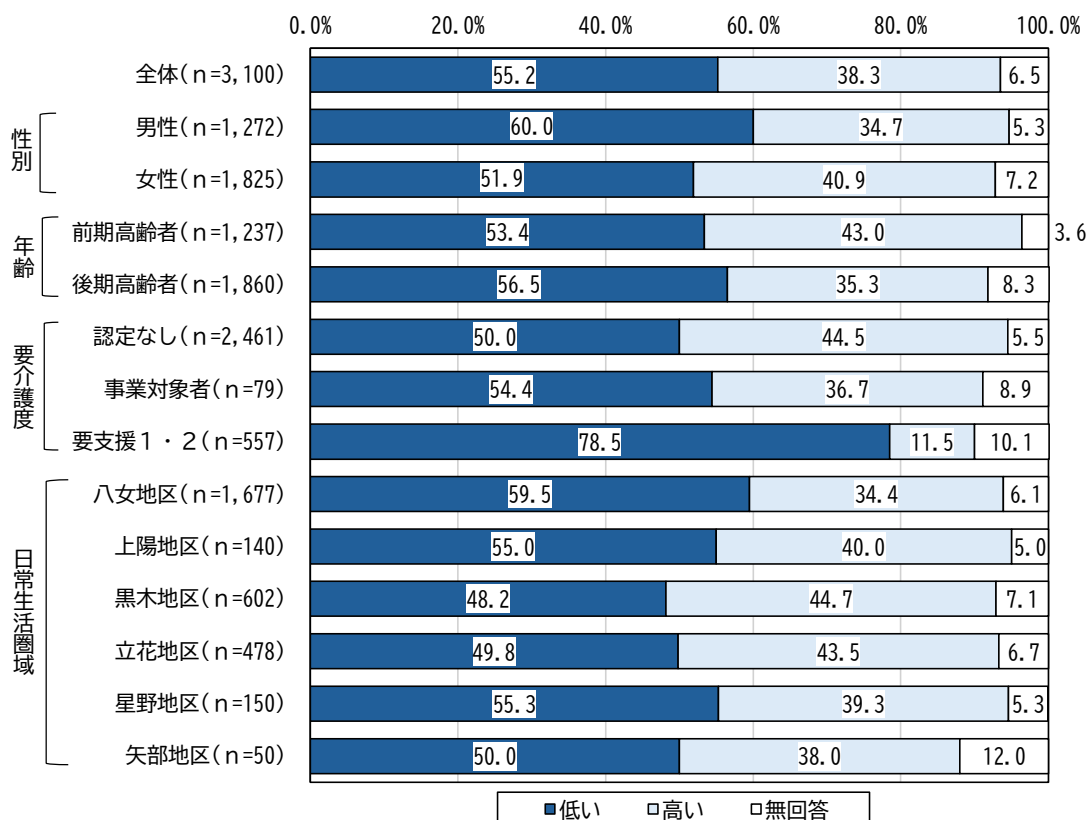
問番号	設問	配点	選択肢
問4(13)	友人の家訪問	1	「1.はい」
		0	「2.いいえ」
問4(14)	友人からの相談	1	「1.はい」
		0	「2.いいえ」
問4(15)	病人の見舞い	1	「1.はい」
		0	「2.いいえ」
問4(16)	若者への話しかけ	1	「1.はい」
		0	「2.いいえ」

○全体でみると、「低い」の割合は55.2%となっています。

○要介護度別にみると、“要支援1・2”では「低い」(78.5%)の割合が8割弱となり、他の介護度に比べて高くなっています。

○日常生活圏域別にみると、“八女地区”では「低い」(59.5%)の割合が約6割となり、他の圏域に比べて高くなっています。

図表113 性別、年齢、要介護度、日常生活圏域別 社会的役割



3. 社会参加率及び孤独感尺度からみる生活機能評価

(1) 社会参加率からみる生活機能評価

○社会参加率別にみると、“参加している”より“参加していない”の方が、すべての生活機能評価で「該当」の割合が高くなっています。「閉じこもり傾向」では“参加している”(10.1%)より“参加していない”(28.3%)の方が18.2ポイント高く、最も差があります。

図表114 社会参加率別 生活機能評価該当者

単位：％

	調査数	運動器機能の低下	転倒リスク	閉じこもり傾向	低栄養	口腔機能低下	認知機能の低下	うつ傾向	手段的自立度(IADL)	知的能動性	社会的役割
全体	3,100	23.6	40.5	21.9	1.4	26.0	41.5	36.2	23.4	56.5	55.2
参加していない	1,508	29.3	43.2	28.3	1.7	27.9	43.2	39.7	28.3	60.9	62.3
参加している	1,239	13.9	34.7	10.1	1.0	22.0	38.3	31.6	16.1	52.5	47.1

(2) 孤独感尺度からみる生活機能評価

○孤独感尺度別にみると、孤独感尺度が下がるにつれて、ほとんどの生活機能評価で「該当」の割合も下がる傾向にあります。特に「うつ傾向」では、“決してない(3点)”(15.9%)と“常にある(10～12点)”(82.4%)を比べると、66.5ポイントもの差があります。

図表115 孤独感尺度別 生活機能評価該当者

単位：％

	調査数	運動器機能の低下	転倒リスク	閉じこもり傾向	低栄養	口腔機能低下	認知機能の低下	うつ傾向	手段的自立度(IADL)	知的能動性	社会的役割
全体	3,100	23.6	40.5	21.9	1.4	26.0	41.5	36.2	23.4	56.5	55.2
常にある(10～12点)	119	50.4	47.1	40.3	1.7	51.3	65.5	82.4	46.2	73.1	84.9
時々ある(7～9点)	1,023	28.7	47.3	27.2	1.9	30.9	49.7	51.9	27.3	63.5	71.2
ほとんどない(4～6点)	1,390	18.8	35.0	17.1	1.4	21.8	36.0	27.2	19.2	53.2	47.3
決してない(3点)	358	14.5	34.9	13.4	0.8	17.9	34.4	15.9	18.1	45.5	30.4

参考資料

1. 調査票

0000

八女市 高齢者の生活についてのアンケート

（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

～ご協力をお願い～

日頃から八女市の高齢者福祉・介護保険事業にご理解ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、本市では、令和9年度から11年度までの高齢者福祉事業及び介護保険事業を円滑に実施するため、令和8年度中に「第10期八女市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の策定を行います。

▶ そこで、計画を策定するに先立ち「高齢者の生活についてのアンケート」（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）を実施いたします。

この調査は、皆様の日常生活（体を動かすこと、食べること、健康など）や社会参加の状況（地域での活動、助け合いなど）をお伺いし、地域が抱える課題や現状を把握することなどを目的に実施し、計画に反映させていただきます。

つきましては、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和8年2月 八女市長

記入にあたってのお願い

1. 回答内容は、あて名のご本人についてお答えください。
*ご家族や介護者が、ご本人の代わりに回答したり、一緒に回答してもかまいません。
2. 回答は、選択肢の中から、あてはまる番号を○で囲んでください。
なお、質問によっては複数を選択するものがあります。
- ▶ 3. 回答が「その他」にあてはまる場合は、その番号を○で囲み、
（ ）内にできるだけ具体的な内容を記入してください。
4. 調査票記入後は、3つ折りにし同封の返信用封筒に入れて、
2月28日(土)までに投函してください。

この調査票に関するご質問は、下記までお問い合わせください。

八女市 健康福祉部 介護長寿課 介護サービス係

電話:0943-23-2545 FAX:0943-30-1505

矢印で折り曲げて返信用封筒に入れてください

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護及び活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。
 なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと判断させていただきます。

【個人情報の保護及び活用目的について】

- この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、八女市による介護保険事業計画策定の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、市役所内で適切に管理いたします。
- ただし、介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する市外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析するなど、個人が識別されない形で利用することがあります。

調査対象のご本人（あて名の方）が何らかの事情により不在で回答できない場合には、その理由を下の枠内から選び、調査を終了してください。（1つに○）

- | | |
|-----------|----------------------|
| 1. 病院に入院中 | 2. 特別養護老人ホーム等の施設に入所中 |
| 3. 転居・転出 | 4. その他() |

→ 調査終了

記入日	令和 年 月 日
調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。	
1. あて名のご本人が記入 2. ご家族が記入 (あて名のご本人からみた続柄)) 3. その他	

問1 あなたのご家族や生活状況について

(1)ご本人の家族構成をお教えてください(1つに○)

1. 1人暮らし
2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)
3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)
4. 息子・娘との2世帯
5. その他()

(2)あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか(1つに○)

1. 介護・介助は必要ない
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
3. 現在、何らかの介護を受けている
(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)



【(2)で「2」もしくは「3」の方のみ】

① 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか(いくつでも)

1. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)
のうそっちゅう のうしゅつけつ のうこうそく
2. 心臓病
3. がん(悪性新生物)
4. 呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等)
はいきしゅ
5. 関節の病気(リウマチ等)
6. 認知症(アルツハイマー病等)
にんちしょう
7. パーキンソン病
8. 糖尿病
どうようびょう
9. 腎疾患(透析)
じんしつかん
10. 視覚・聴覚障害
しかく ちょうかくしょうがい
11. 骨折・転倒
こっせつ てんとう
12. 脊椎損傷
せきついそんしょう
13. 高齢による衰弱
すいじやく
14. その他()
15. 不明

【(2)で「3. 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】

② 主にどなたの介護・介助を受けていますか(いくつでも)

1. 配偶者(夫・妻)
2. 息子
3. 娘
4. 子の配偶者
5. 孫
6. 兄弟・姉妹
7. 介護サービスのヘルパー
8. その他()

(3)現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか(1つに○)

1. 大変苦しい 2. やや苦しい 3. ふつう
4. ややゆとりがある 5. 大変ゆとりがある

(4)お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか(1つに○)

1. 持家(一戸建て) 2. 持家(集合住宅)
こうえいちんたいじゅうたく みんかんちんたいじゅうたく
3. 公営賃貸住宅 4. 民間賃貸住宅(一戸建て)
みんかんちんたいじゅうたく
5. 民間賃貸住宅(集合住宅) 6. 借家
7. その他

問2 からだを動かすことについて

(1)階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか(1つに○)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(2)椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか(1つに○)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(3)15分位続けて歩いていますか(1つに○)

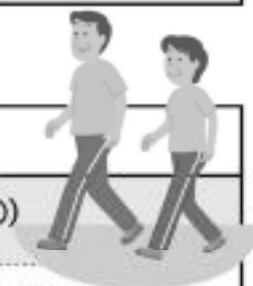
1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(4)過去1年間に転んだ経験がありますか(1つに○)

1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない

(5)転倒に対する不安は大きいですか(1つに○)

1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない



問3 食べることについて



(1)身長・体重を教えてください

身長 cm

体重 kg

(2)半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか(1つに○)

1. はい 2. いいえ

(3)お茶や汁物等でむせることがありますか(1つに○)

1. はい 2. いいえ

(4)口の渇きが気になりますか(1つに○)

1. はい 2. いいえ

(5)歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか(1つに○)

1. はい 2. いいえ

(6)歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください(1つに○)
(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です)

1. 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用
2. 自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし
3. 自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用
4. 自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし



① 噛み合わせは良いですか(1つに○)

1. はい 2. いいえ

【(6)で「1. 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」
「3. 自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】

② 毎日入れ歯の手入れをしていますか(1つに○)

1. はい 2. いいえ

(7)6 か月間で 2～3kg 以上の体重減少がありましたか(1つに○)

1. はい 2. いいえ

(8)どなたかと食事をとにもする機会がありますか(1つに○)

1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある
4. 年に何度かある 5. ほとんどない

問4 毎日の生活について



(1)物忘れが多いと感じますか(1つに○)

1. はい 2. いいえ

(2)自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか(1つに○)

1. はい 2. いいえ

(3)今日が何月何日かわからない時がありますか(1つに○)

1. はい 2. いいえ

(4)自家用車を運転して、またはバスや電車を使って1人で外出していますか(1つに○)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(5)自分で食品・日用品の買物をしていますか(1つに○)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

【(5)で「1. できるし、している」の方のみ】

① おもにどこで日用品の買物をしていますか(1つに○)

1. 八女地区(旧八女市) 2. 上陽地区 3. 黒木地区 4. 立花地区
5. 星野地区 6. 矢部地区 7. その他()

(6)自分で食事の用意をしていますか(1つに○)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(7)自分で請求書の支払いをしていますか(1つに○)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(8)自分で預貯金の出し入れをしていますか(1つに○)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(9)年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか(1つに○)	
1. はい	2. いいえ
(10)新聞を読んでいますか(1つに○)	
1. はい	2. いいえ
(11)本や雑誌を読んでいますか(1つに○)	
1. はい	2. いいえ
(12)健康についての記事や番組に関心がありますか(1つに○)	
1. はい	2. いいえ
(13)友人の家を訪ねていますか(1つに○)	
1. はい	2. いいえ
(14)家族や友人の相談にのっていますか(1つに○)	
1. はい	2. いいえ
(15)病人を見舞うことができますか(1つに○)	
1. はい	2. いいえ
(16)若い人に自分から話しかけることがありますか(1つに○)	
1. はい	2. いいえ
(17)趣味はありますか(1つに○)	
(「1.趣味あり」の方は()内に趣味を記入ください)	
1. 趣味あり	→()
2. 思いつかない	
(18)生きがいがありますか(1つに○)	
(「1.生きがいあり」の方は()内に生きがいを記入ください)	
1. 生きがいあり	→()
2. 思いつかない	

問5 地域での活動について

(1)以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

※① - ⑧それぞれに回答してください(それぞれ1つに○)

	週4回 以上	週2 ~3回	週1回	月1 ~3回	年に数回	参加して いない
① ボランティアの グループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係の グループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係の グループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養 サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ (ふれあいいきい きサロンなど)介 護予防のための 通いの場	1	2	3	4	5	6
⑥ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

(2)地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか(1つに○)

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 是非参加したい | 2. 参加してもよい |
| 3. 参加したくない | 4. 既に参加している |

(3)地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか(1つに○)

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 是非参加したい | 2. 参加してもよい |
| 3. 参加したくない | 4. 既に参加している |

問6 就労について



(1)現在のあなたの就労状態はどれですか(いくつでも)

- | | | |
|--------------------|---------|--------------|
| 1. 職に就いたことがない | 2. 引退した | 3. 常勤(フルタイム) |
| 4. 非常勤(パート・アルバイト等) | 5. 自営業 | 6. 求職中 |
| 7. その他 | | |

【(1)において「2. 引退した」の方のみ】

① あなたはいつ引退しましたか(1つに○) ☐内に年次を記入

- | | | |
|---|---|---|
| 1. 昭和 <input type="text"/> <input type="text"/> 年 | 2. 平成 <input type="text"/> <input type="text"/> 年 | 3. 令和 <input type="text"/> <input type="text"/> 年 |
|---|---|---|

問7 たすけあいについて

あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

(1)あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(いくつでも)

- | | | |
|-------------------------|-----------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣の人 | 6. 友人 |
| 7. その他() 8. そのような人はいない | | |

(2)反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(いくつでも)

- | | | |
|-------------------------|-----------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣の人 | 6. 友人 |
| 7. その他() 8. そのような人はいない | | |

(3)あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(いくつでも)

- | | | |
|-------------------------|-----------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣の人 | 6. 友人 |
| 7. その他() 8. そのような人はいない | | |

(4)反対に、あなたが看病や世話をしあげる人(いくつでも)

- | | | |
|-------------------------|-----------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣の人 | 6. 友人 |
| 7. その他() 8. そのような人はいない | | |

(5)家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください (いくつでも)			
1. 自治会・町内会・老人クラブ	2. 社会福祉協議会・民生委員		
3. ケアマネジャー	4. 医師・歯科医師・看護師		
5. 地域包括支援センター・役所・役場	6. その他		
7. そのような人はいない			
(6)友人・知人と会う頻度はどれくらいですか(1つに○)			
1. 毎日ある	2. 週に何度かある	3. 月に何度かある	
4. 年に何度かある	5. ほとんどない		
(7)この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか(1つに○) (同じ人には何度会っても1人と数えることとします)			
1. 0人(いない)	2. 1~2人	3. 3~5人	
4. 6~9人	5. 10人以上		
(8)よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか(いくつでも)			
1. 近所・同じ地域の人	2. 幼なじみ	3. 学生時代の友人	
4. 仕事での同僚・元同僚	5. 趣味や関心が同じ友人		
6. ボランティア等の活動での友人	7. その他	8. いない	
(9)あなたは、自分には人との付き合いがないと感じることがありますか(1つに○)			
1. 決してない	2. ほとんどない	3. 時々ある	4. 常にある
(10)あなたは、自分は取り残されていると感じることがありますか(1つに○)			
1. 決してない	2. ほとんどない	3. 時々ある	4. 常にある
(11)あなたは、自分は他の人たちから孤立していると感じることがありますか (1つに○)			
1. 決してない	2. ほとんどない	3. 時々ある	4. 常にある

問8 健康について

(1)現在のあなたの健康状態はいかがですか(1つに○)

1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない

(2)あなたは、現在どの程度幸せですか(1つに○)

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)



(3)この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか(1つに○)

1. はい 2. いいえ

(4)この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか(1つに○)

1. はい 2. いいえ

(5)お酒は飲みますか(1つに○)

1. ほぼ毎日飲む 2. 時々飲む 3. ほとんど飲まない
4. もともと飲まない

(6)タバコは吸っていますか(1つに○)

1. ほぼ毎日吸っている 2. 時々吸っている 3. 吸っていたがやめた
4. もともと吸っていない



(7)現在治療中、または後遺症のある病気はありますか(いくつでも)		
1. ない	2. 高血圧	3. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) のうそっちゅう のうしゅっけつ・のうこうそく
4. 心臓病	5. 糖尿病 とうようびょう	6. 高脂血症(脂質異常) こうしけっしょう ししついいじょう
7. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等) 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気		
9. 腎臓・前立腺の病気 じんぞう ぜんりつせん	10. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等) きんこっかく びょうき こつ そ しょう かんせつしょう	
11. 外傷(転倒・骨折等) がいしょう てんとう こっせつ	12. がん(悪性新生物)	
13. 血液・免疫の病気 めんえき	14. うつ病	
15. 認知症(アルツハイマー病等) にんちしょう	16. パーキンソン病	
17. 目の病気	18. 耳の病気	19. その他()

問9 認知症について

(1)ご本人に認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか (1つに○)		
1. はい	2. いいえ	
(2)認知症に関する相談窓口を知っていますか(1つに○)		
1. はい	2. いいえ	
(3)もしあなたが、自分のことを「認知症かもしれない」と思ったり、周りの人から受診を勧められたりしたら、医療機関を受診すると思いますか(1つに○)		
1. 受診すると思う	2. 受診しないと思う	3. まだわからない
(4)もしあなたが、認知症になったとしたら、家族以外の人に認知症であることを伝えようと思いますか(いくつでも)		
1. 友人に伝えようと思う	2. 近隣の人に伝えようと思う	
3. 職場の人に伝えようと思う	4. 伝えようとは思わない	
5. まだわからない		

(5)自らの考えや想いを伝えられなくなったときに備えて、「大切にしていること」や「望む医療やケア(介護など)」について、エンディングノートなどに記録したり、家族や大切な人と話し合っておいたりすることは大切だと思いますか(それぞれ1つに○)

自分のこと	家族などのこと
1. 大切だと思うし、話し合っている	1. 大切だと思うし、話し合っている
2. 大切だと思うが、話し合っていない	2. 大切だと思うが、話し合っていない
3. 大切だと思わないが、話し合っている	3. 大切だと思わないが、話し合っている
4. 大切だと思わないし、話し合っていない	4. 大切だと思わないし、話し合っていない
5. わからない	5. わからない

(6)八女市が実施する認知症に関する取り組みについて、以下の中から、知っているもの、聞いたことがあるものを教えてください(いくつでも)

1. 八女市認知症高齢者等 SOS ネットワークシステム
2. 八女市認知症ケアパス「認知症サポートブック」
3. 八女市認知症サポーター
4. もの忘れ予防検診
5. オレンジ講座(ラジオ講座)
6. 認知症カフェ
7. その他()
8. 知っているものはない



問 10 生活支援サービスについて

(1)あなたが、在宅で生活をするために必要と思われる生活支援サービスは何ですか(○は3つまで)

1. 食事・清掃・洗濯などの家事の支援
2. 24時間いつでも電話相談できる窓口
3. 買い物の代行
4. 生活空間の簡単な修理や修繕(電球の取り換えや家具の移動・修理等)
5. 外出時の送迎
6. 外出時の付き添い
7. 定期的な電話による安否確認
8. 弁当による食事の支援
9. その他()
10. 特にない



問 11 相談機関について

(1)「地域包括支援センター」を知っていますか(1つに○)

1. 知っており、利用している、または利用したことがある
2. 知っているが、利用したことがない
3. 聞いたことはあるが、詳しくは知らない
4. 知らない

(2)「地域包括支援センター」では、高齢者に対する総合的な相談を受け付けています。どのような相談をしてみたいと思いますか(いくつでも)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 介護保険制度の相談 | 2. 高齢者福祉サービスの利用相談 |
| 3. 介護保険サービスの利用相談 | 4. 健康や病気に関する相談 |
| 5. 介護予防に関する相談 | 6. 日常生活に関する相談 |
| 7. 権利擁護に関する相談 | 8. 成年後見制度の利用に関する相談 |
| 9. 虐待に関する相談 | 10. 家族等の介護の相談 |
| 11. その他() | 12. 特にない |

問 12 高齢者保健福祉全般について

最後に、八女市の介護保険制度や高齢者福祉制度について、ご意見ご要望などありましたら、ご自由にご記入ください

■■■■以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました■■■■

八女市
高齢者に関するアンケート調査
(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)
結果報告書

令和8年5月

発 行：八女市 健康福祉部 介護長寿課
〒834-8585 福岡県八女市本町 647 番地

TEL：0943-23-2545
FAX：0943-30-1505
